震災の被害甚大
遭難二千八百廿一人
被害家屋は一萬七百九十六戶
內務省公報

【東京四日發】三日午後十一時現在

死者	千五百卅五人
燒死者	三百三十八人
行方不明	九百四十八人
計	二千八百廿一人
家屋流失	二千九百六十三戶
倒潰	千二百七十九戶
燒失	二百十一戶
浸水	六千三百四十三戶
計	一萬七百九十六戶

各地別被害狀況

【東京四日發】內務省公表（三日午後十一時現在）震災地被害狀況左の如し

岩手縣

死者	千三百八十名
負傷者	二百七十六名
行方不明	六百九十六名
家屋流失	二千四百五十三戶
同倒潰	九百七十一戶
同燒失	二百十一戶
同浸水	五千〇四十四戶

宮城縣

死者	百三十六名
負傷者	二十五名
行方不明	二百二十七名
家屋流失	四百四十戶
同倒潰	二百八十三戶
同浸水	千二百二十九戶
船舶流失	千百四十四隻

青森縣

死者	八名
負傷者	三十七名
行方不明	二十一名
家屋流失	五十九戶
同倒潰	十三戶
船舶流失	三百七十隻
同破損	八十四隻

北海道

死者	十一名
行方不明	四名
家屋流失	十一戶
同倒潰	十二戶
同浸水	七十戶
船舶流失	十四隻

其他被害相當ある見込み

罹災民救濟に各方面活躍
大藏省で諸税を減免

【東京四日發】大藏省では東北震災の被害狀況調査のため三日より谷口書記官を現地に急行せしめ一週間の豫定で詳細なる實地踏査を行はせる事となつたが、被害狀況に關しては刻々電報で報告を行はせると共にその歸京を待つて納税の猶豫、租税の減免に就き適當なる方法を講ずる筈である、傳へらるゝところに依れば被害の程度は頗る大きい模樣であるから本議會に法律案を提出して納税の猶豫並に地租、所得税、營業收益税、相續税等の減免を行はざるを得ざる事になるだらうと見られて居る

救恤品急送

【東京四日發】內務省社會局は岩手縣よりの要求に依り東京府、警視廳、同潤會等よりテント百張、毛布、寢具、タオル約一萬人分、澤庵五百樽、米一千石を被害地に急送する事になつた

【東京四日發】海軍省は三陸地方の地震救恤に驅逐艦を派遣してゐるが、更に海軍部內の豫備艦出金五萬圓を以て食糧被服を購入橫須賀より驅逐艦に搭載急送するに決し四日その準備手配を進める事になつた

農林省救濟策

【東京四日發】三陸震災地方に對し農林省では調査員を特派し救濟の方法を講ずる事となつたが救濟の方法は今回の被害地が殆ど漁村なるに鑑み主として該方面の施設復興に向け調査完了次第內務省と協議の上復舊に要する低資の融通補助金の交附並に漁船其他漁具購入資金の融通を爲す意向であり、極力救濟に努める事となつた

復舊工事補助

【東京四日發】內務省土木局では三陸地方慘害復舊工事並に罹災民救助のため今議會通過の八年度時局匡救土木事業費の配給に際し金額を增大し特に災害を蒙つた釜石宮古等には修築工事補助費を明年度追加豫算に計上することになつた

兩院に報告

【東京四日發】政府は四日午前臨時閣議を開き山本內相より三陸地方の被害狀況並に救護應急對策等詳細報告したる後政府は衆貴兩院の本會議で右狀況を報告する事となつた

火災保險金支拂はず 約款によつて

【東京四日發】三陸地方の地震に伴ひ同地方の一部に出火を見たが火災保險會社としては保險約款に從つてその火災が地震に直接原因すると間接に原因する場合とを問はず保險契約者には氣の毒だが絕對に保險金を支拂はない由である

往年の大震災を思はす慘狀！
一報ごとに慘禍判明

【東京四日發】震火災及び津浪の慘害の情報は一報每にその痛ましい慘禍を露し殊に岩手縣下閉伊郡田老村では四百七十七名、同縣氣仙郡唐丹村では三百七十名の慘死の悲報があるなど酸鼻を極め釜石町の被害と共に岩手縣下の慘憺な狀況は甚だしく午後十時現在迄に死者一千百六十九名を算してゐる、宮城縣下は百三十六名の死者を出し青森、北海道方面は前記兩縣に比し被害程度やゝ輕いがそれでも青森縣下では八名、北海道で十一名の死者があるなど往年の三陸大强震、震の關東大震火を再び目前にした觀がある、津浪民の大部分は濁水と共に齎らしい災禍の跡の我家に歸り救護班と共に後始末に着手してゐるが慘害地が邊鄙な地方なため救護の手が屆かず折柄の寒氣と暗黑の內に饑餓と不安に襲はれ第一夜を迎へ何れも戰き震へてゐる

不安去らぬ釜石町 徹宵し警戒

【釜石四日發】三日夜の釜石町は妙に靜まりかへつて不氣味なやうだ、今夜十時頃に大津浪が押し寄せると市民は不安にかられてゐる、其の筋ではあまり潮が引いてゐるので今夜九時頃より十時迄警戒を要すると警報を發したので市民は徹宵して警戒に當つた、全町五千戶の內一千戶は津浪で形を失ひ町の燈火は心細いやうに瞬いて知るべの安否をきつかひ仙人峠を越えて來る人は約五百人に及び絡繹と續く仙人峠に立てば釜石の町は昨夜の慘劇を忘れたうつくしさだ、町に入ると目拔通りの無數の家屋が潰し燒跡には死者の臭ひがすると鼻を衝く若い女達が燒跡を掘返して泣いて居る樣てが悲慘の極だ

潮湯溫泉全滅

【高田三日發】岩手縣高田町にある日本百景の一で有名な潮湯溫泉浩養館主福田千代（三〇）方では親子三人悉く壓死し同旅館は完全に倒潰、名物の松原も津浪に浚はれたかと思はれたがこれだけはやつと形を殘した、氣仙町長部海岸は被害最も酷く櫻井鼎三（二）の一家四人は壓死又熊谷巖（六）の一家四人も壓死し同村五十七戶は全部倒潰し死者は二十八名に上つた、同地は一面の泥海と化し小舟が田畑の上に散在する有樣、食糧はやつと饑を免れた山間の部落より徵收し間に合せてゐるが人手が足らず何とも手が附けられぬ

津浪で忽ち生地獄
火の手を顧る違もなく逃げた 避難した釜石町民談

【盛岡三日發】釜石の大津浪に辛うじて生殘り午前八時釜石を發し仙人峠を徒步で越えて午後六時過ぎ盛岡に辿り着いた一避難者は次の如く語る

地震が起つたので外へ飛び出して濱を眺め出て警戒したが直には津浪の來る樣子もないので安心してゐると突然

濱が山のやうに盛り上り物凄い青光りを發した、間もなく「津浪だ！津浪だ！」との聲が起りわれ先に山の手に逃げ出し親は子を呼び子は親を呼ぶ文字通りの阿鼻叫喚の巷と化した、裏山は急坂なので一步上り一步滑るといふ始末、濱は押し寄せて來る、そのうちに海岸方面から火を發し警鐘が鳴り出す町內の電燈は消えて暗闇の中に火勢物凄く廣がり始まる、しかし津浪に怖れた市民は火を顧る違なくたゞ息をきらして急坂を無我夢中で攀上る許りで消防手も燃えるに任せる外なかつた、かうして集つた人々はまんじりともせず二、三十分おきに押寄せる津浪にたゞ戰いて

夜を徹した、かくて漸く五時半頃からぼつ〳〵山を下り始め消防に努め出したがその時は多田越村まで火が廻り山火事まで起して手の施しやうがなく街路には流れ出た家財や死骸が累々として居り、信用組合の大金庫も街上に流し出されてゐる有樣であつた

荒野と化し僅か三戶を殘す
岩手縣下閉伊郡田老村

【東京四日發】三陸北海道の震火災及び津浪の慘害は一報每に甚だしく全く豫想外である、岩手縣下閉伊郡田老村の如きは戶數六百中殘つたものは僅かに小學校、役場村民住家三戶で全部流失し全く荒野と化した、死傷者は村民三千名中海に浚はれたもの、山中に逃げ込んだもの等行方不明二千に達しうち死亡したと思はれるもの六百名に及び家屋の下に死體が累々と重なり、折から起つた火災に丸燒けとなつたもの、又壓死したまゝ白骨となつた者も多數ありまさに慘憺の極みである

一家全滅が一村五戶 九戶郡種市村

【久慈四日發】九戶郡種市村の津濱は九戶郡中最も甚だしく流失家屋五十三戶、倒潰家屋九戶、死亡者九十九名に上つたが死體はやつと二十八發見されただけであり一家全滅の悲運に逢つたものも五戶に及んでゐる

春風に半旗悲しく
勇士の英靈喪の凱旋

故陸軍步兵少佐野村浩氏以下九勇士の遺骨は四日出帆うすりい丸で半旗悲しく春風に吹かれ戰友安部大尉以下七名にしつかり護られながら故山に還つて行つた、これよりさき埠頭待合所においては午前八時半より市役所主催のもとに慰靈祭が嚴かに執行された、式典は永井民政署長、森本法院長、山西滿鐵理事をはじめ市中官民多數の燒香參拜あり、終つて遺骨は戰友の手でうすりい丸甲板上の祭壇に移される、斯て吹奏される「國の鎭め」の曲も哀しく九勇士の英靈は市民と最後の別れをなした（寫眞は乘船する遺骨）

模擬店を設け傷病兵慰問
牛込の衞戍病院內で陸軍記念日の當日に

【東京四日發】滿洲上海兩事變以來目覺しい銃後の活動を續けてゐる愛國婦人會、將校婦人會の兩團體では來る三月十日の陸軍記念日當日牛込衞戍病院に收容されて市內の華々しい記念日風景に接する事の出來ぬ傷病軍人のため特に同病院內七ケ所に模擬店を設け會員の奧さん御孃さん三十餘名が接待役となり、おでん、おすしの饗應で一日を樂しく過ごさせる事になつたが、當日は荒木陸相夫人、武藤大將夫人等も接待役の一人として立ち働く事になつてゐる

檄を飛ばし
滿鐵社員が獻金 陸海軍國防充實費へ

非常時日本を守れ——滿鐵脫退後の國防充實のために再び獻金運動が起り外地においても朝鮮軍、關東軍および關東廳においてそれぞれ獻金を開始したので、滿鐵でもこれと步調を合せて國防資金の獻金をなすこととなり、四日石本總務部長以下部長級十二名の發起人連名にて廣く社內に檄を飛ばすところがあつた、獻金の條件は左の如くである

一、醵出者　贊成者に限るも事務員、技術員、囑託以上の方は是非贊同を願ひたし

二、醵出率　金額は醵出者の隨意なるもなるべく左記標準に依りたし

▲箇所長並本俸一五〇圓以上者は每月本俸の千分の十二▲月俸社員一五〇圓未滿者及囑託は每月本俸の千分の十（囑託は月手當の十五分の十を以て其の本俸とす）▲雇、傭員は每月本俸（日給二〇日分）の千分の五

三、期間　昭和八年三月より昭和九年二月迄の在職中とす

即ち贊成者に限るが、不贊意を表するものは先づないと見られてゐるので全社員が醵金するとすれば右醵出期間の一箇年間に十一萬九千三百圓となる筈で、更に軍役は千分の二十程度を自發的に醵出すべく鐵道省その他よりの新入社員の分をも合すると十二萬五千圓程度に達する豫想である

なほ右獻金は大藏省に送付し一般會計臨時部雜收入軍事費獻納金の費目中に繰入れ適宜に陸海軍省に分けて海陸の國防費に充當される筈

熱河に入つて喇嘛と提携
本派の調査部長來る

西本願寺の調査部長に任命された堀賢雄師は勃々たる雄心を抱いて四日入港ばいかる丸で來連した、船中語る

自分にとつて十年振りの滿洲だ曾つて自分は喇嘛教を修業する意味で日露役後約四年に亘り喇嘛寺に居つた事がある、それから引きつゞき熱河を步き廻つたが今度は以前と行き方を變へて北の方から入らうと思つてゐるこの旅行は將來我々と喇嘛教との間に更に提携して行きたい意向のあるもので充分調査をなしてくる出來れば北平に出て一度歸京して報告の上對策を作るつもりだ、教義の上では眞言宗が一番喇嘛教に近いが我々のところは一番古くから宗教上の交際をしてゐる、曾て西藏と留學生の交換をした事もあるそれに蒙古人は一體に日本人に好感を持つてゐる大本教が紅卍字會と提携してゐると違つた意味で活躍したい、だけどすぐ飛び出すわけにも行くまいから軍部方面の意見もお聞きしてからの上にする【寫眞は堀師】

滿洲への憧れが爆發する
今夏の旅行シーズン

ジャパン・ツーリスト・ビウロー大連支部副幹事片岡春隆氏は先月中旬旅行會議に出席のため上京中であつたが四日入港ばいかる丸で歸連した、旅行シーズンの寵兒滿洲への憧れが內地人の間にどんな勢ひで沸騰してゐるかにつき語る

何と云つても滿洲ですよ、滿洲へ〳〵、私が一寸行つてゐる間にも滿洲へ行き度いと云ふ意向のある團體や會社、學校さては個人等々、その前景氣の好いのに「今年は殺到する」と豫感しました、先づ五月五日頃東京の紳士連の團體二百五十名が朝鮮經由やつて來ますし、九州について調査すると中等學校以上七百のうち百校は來滿するとして五十名平均の五千の學生が九州から丈でも來る事になる、しかも博覽會の開會が旅行シーズンだから正に押すな押すなの盛況を呈するだらうと思つてゐる宿屋がキット拂底しますよ、折角學生諸君に來て貰つて宿屋が無くては大變ですから今からそんな事まで考へておく必要がありますよ

割腹二人男は一週間の輕傷

【東京四日發】時局に憤激し三日午前十時首相官邸及び陸相官邸で死を以て大官を激勵すとて割腹を企てた大阪の國粹社會黨元總務廳吉男（二八）同黨員南畑義正（二三）の兩名は赤坂前田病院で應急手當後麴町署で取調べの後午後八時兩名は下谷龍泉寺町日延病院に入院したが兩名共全治一週間の輕傷である

敎授時間で男女區別 ダンス教授所

大連市內のダンス教授所では時間的に男女の區別なく教授してゐるがこれでは營業ダンスホールと混同する嫌ひあり一面風紀上兎角芳しからぬ風說も流布されてゐるので關東廳警務局ではこの際教授時間を男女を以て區別するやう大連署に命令するところあり、よつて同署保安係では目下各教師に就き希望を聽取してゐるが結局兩三日中に舞踏教師命令規則中、教授時間を女は午後五時まで男は午後五時以後と改正實施することになる模樣である

滿鐵新社員第三班來る

滿鐵鐵道部新採用社員第三班五十七家族は四日入港ばいかる丸で賑やかに吉田政治郞氏に引率されて憧れの滿洲にその一步を印した、第三班は仙臺と札幌鐵道局より選拔されたもので主として車掌、工場員、運輸事務員等、大部分は本社に殘り四家族のみ奧地に向ふ

于靜遠氏赴日

故于冲漢氏令息于靜遠氏は鞍山における振興公司總裁の重職を引繼いだがその挨拶を兼ね于冲漢氏永眠の際における隣邦日本が示した厚意に對し日本朝野に謝意を表すべく滿鐵囑託小山貞知氏帶同約三週間の豫定で內地に向つた尙令弟靜純氏は陸軍士官學校に入學の希望で同樣一行に加はり渡日した

講習生と職員を動員し模擬演習
時局に遞信局が奮起

遞信局では非常時局に鑑み五日午前七時三十分より遞信講習生ならびに大連遞信部內職員約五百名の動員を行ひ中央公園より白雲山麓にかけ綜合模擬演習を行ふ

當日は近藤講習所長統裁官となり全員を學生軍と義勇軍に編成し午前八時五十分より中央公園忠靈塔上方の密林地帶で遭遇戰を展開し同九時三十分中止、更に第二次演習は學生軍の退却により義勇軍の追擊となり白雲山麓空地に於て壯烈な白兵戰を演じ同十一時終了の豫定である

社會館で軍人家族傷病慰安

帝國軍人後援會の大連および沙河口兩地方委員部ならびに大連軍人後援會では來る十日の陸軍記念日をトし軍人遺族、出征軍人家族、傷病兵に對する後援心を强調喚起するため當日を特に「軍人遺族ならびに出征軍人、家族、傷兵慰安デー」となし大連民政署管內に於ける有資格者を市社會館に招待、午後三時半より日露戰役ならびに滿洲事變の追想談且つ餘興として浪花節、琵琶、奇術等で慰藉する

天氣予報 五日

北西の風（晴）一時曇

各地溫度 四日午前十一時

大連	零下一〇	營口	零下一三
旅順	同 八	奉天	同 一三
新義州	同 九	新京	同 一六

けふの小洋相場（正午） 金百圓は一二八圓八五錢

善鬼惡鬼 (5)

平山蘆江作　苅谷深隍繪

血ば血を斬る（五）

お瀧は撫でふり能した蛇な棒まきにしてゐた。良人の身に變があるといはれたので、襟つきの袷衣た、前帶でとめた寢間着のまゝであつた。

かうした姿で、土手の上で重太郎樣、重太郎樣さ、よびつゞけながら、暫しばらくうろついてゐる中に、逃ひ合せたのは雜の脆切棒樣、木刀を背中に打ち込んだ渡りもの、折助だつた。

「よう、これは〳〵」

女の前へ立ちふさがつて

「誰れを尋ねるんだか知られえがおいらも手傳つて進ぜやう」と云つた。

折助は、お瀧を、近頃この邊に現れる實女だと思つたのだ。

「御親切にありがたうございます。年の頃三十くらゐ、總髪に束ねて、紋付の羽織を着た武家です。土手の下へ落ちたかと思ふのですが、女の身では下りられません、お前樣むから下りて見て下さらぬか」

「ははは、大きく出たな。下りて見て下さらぬか、は面白い。よいわ、一番親切ぶりを見せてやるかな。これ、女中衆、その代り、お禮心は弾んで居るだらうな」

「禮は好きなやうにさらしてやる。早く〳〵、下りて下さい」

「はい〳〵、それさへ聞けば、火の中でも飛び込んでやらうといふ親切ものさ」

折助はそろ〳〵と土手を下りた。

お瀧は月影にすかしながら、下を見下した。水際は杭、雜草、石ころなどころ〳〵に影をつくつて錯綜してゐる。それが皆お瀧の目には良人の身體のやうに思はれた。

「姐さん、何もないよ」と、岸から折助がどなる。

それをお瀧があつちへ、こつちへ寄れさ、長い間、追ひまはした。折助も面白半分に、お瀧のいふなり放題になつたが、程なく刀の鞘と脇差一振を拾ひ上げて土手へ上つて來た。

「これです、これはあの人の腰のものに相違ない。腰のものだけがかうして殘つてゐたからは、重太郎どのは川へ落ちて、その儘、死骸になつて、押し流されたのではあるまいか」

さう云つて、刀を抱きしめながら、女は川面を見わたした。

「落ちたのはお前さんのお客かいそれとも好きな男でゞもあるのですかい」

折助が、ニヤ〳〵笑ひながら聞いた。

女は返事もしないで、どん〳〵土手を下りる。

「おい〳〵、どこへ行くんだ。おいらに骨を折らして、おいてきぼりは能いぜ。おい姐さんたら」

折助がうしろからついて來る。

お瀧はうろ〳〵と我家へ戻つて

「五郎兵衛どの、どうしませう、良人の姿がどこにも見えません。五郎兵衛どの〳〵」と呼びまはつた。

が、家の中は藻ぬけの殼で、五郎兵衛の姿はどこにも見えなかつた。

今日限り、拙者儀、當家を退轉いたし候

明和乙酉三月十六日　轟五郎兵衛

轟重太郎殿

同　お瀧どの

血で書いた文字を、行燈のおもてに、お瀧が見つけだしたのは間もなくの事であつた。

土手で良人を見失つたお瀧は、家へ戻つて、更に義弟を見失つたのである。

「私はどうすれば好いのだらう」

氣ぬけのしたやうに、上り口へどうとなつて、刀の鞘と脇差を抱いてゐた。

ゴトリ〳〵

表の腰障子がひらく。

お瀧は氣がつかなかつた。

「御免なせえ」

目尻の下つた顏でのぞき込んだのは先刻の折助であつた。

「入つてもいゝかい」

きよろ〳〵とあたりを見まはしながら、上り口へ腰を下して

「お前さん、獨りなんだね」と云つた。

「たつたひとり」

女は鸚鵡がへしに獨り言を云ふ。

「さうかい。ぢや、あがらしてもらはう」

のこ〳〵と折助は、這ひずり上つた。

女浪曲華千代　六日から大劇

女流浪曲界の美音家として名聲を謳はれてゐる京山華千代一行は既報の如く大連劇場に來演することゝなり、一行は四日門司出帆のあめりか丸に乘船、六日來連し同夜初日の蓋をあけるが、一行の顏觸れは左の如くで、華千代は得意の齋藤内藏之助が期待されてゐる（寫眞は華千代）

京山久代、京山なゝ子、天中軒月坊、京山華若、津田清大線、京山メリ子、一條マリ子、藍亭福松、京山華千代

うわさ話

この間の磐城町の火事場の路上で根岸耕一さんが蒲田から來た某妓にバッタリ會つたところ▲「キドさんが遼東ホテルに泊つていらつしやいます。妾もお會ひしました部屋は五百二十六番です」と火事場のドサクサでそのまゝ詳しいことも聞かず別れたが▲テッキリ城戸所長がこつそりと來連してゐるものと根岸さんが遼東ホテルを調べさせたところ▲ホテルでは「鬼頭さんならお泊りです」との返事人違ひの鬼頭氏も輕筋で面識の人で蒲田藝妓が生んだナンセンスである

本社特選 新棋戰（其一）

平手 香交　七段▲溝呂木光治
平手 番　六段△渡邊東一

【圖は四一玉迄の局面】渡邊氏持駒ナシ

九	八	七	六	五	四	三	二	一	
香	桂		金		王	銀	桂	香	一
	飛		銀			金	角		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	三
									四
							歩		五
		歩							六
歩	歩		歩	歩	歩	歩		歩	七
	角						飛		八
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香	九

▲七六歩　△六二銀
▲二六歩　△三二金
▲二五歩　△四一玉
▲四八銀　△五四歩
▲五六歩　△五三銀
△二四歩　▲同歩

【土居八段講評】溝呂木君の六二銀以下の方針は平手相懸り戰を避け、變化を求めて中央へ横樣を作らうとの心算である、但しその方針なら四一玉は直に五四歩、五六歩、五三銀、四八銀、四四銀、二四歩、同歩、同飛、二三歩、二六飛、三四歩とついて五筋の歩の交換を狙ふべき處である。

【萩原六段解說】溝呂木氏の六二銀は普通三四歩と指すのであるが、それでは常套手段になるので變化を求める意味で六二銀と指したのである、續いて四一玉も何れ指されねばならぬ手なので此處で四一玉と寄つて置いたのである、此の形では中央より銀を出して中飛車模樣に出る手と、八四歩と突いて相懸戰にする手とあるが要するに作戰を秘めて變化を求める意味で、かくの如く指してゐるのであらう、渡邊氏の二四歩は五七銀と對抗する手段もあるが飛車先を切つて先手の得な交換せんと先づ二四歩と指したのである。

在滿邦商救濟融資 二百五十萬圓提案

九日の運用委員會に

在京庵谷代表よりの情報

在滿邦商救濟の低利資金問題に關し庵谷代表よりの情報に依れば預金部運用委員會は九日開催に決定し融資金額は二百五十萬圓、利息は年四分見當で、その內輸入組合振當金額百五十萬圓、金融組合振當金百萬圓、貸出限度は輸入組合員一人當り八千圓、金融組合員三千圓程度で右はハルビン、吉林方面の邦商にも適用さる模樣である

低利融資處分を 輸組側で研究

在滿中小卸商に對する低資融通は愈々預金部運用委員會に附議されることになり、その實現性を多分に期待されるに至つたが、輸入組合ではその資金貸出につき、大體左の如き方針を內定してゐると傳へらる、卽ち貸付限度は一人當り八千圓程度とし、擔保貸と信用貸の二つに分れるが、擔保物件には商品のみならず、土地建物の如きも認め貸用貸は連帶保證制を採るであらう、而して

資金 用途は、獨り仕入金融に止まらず、信用並に擔保物さへ堅實充分なれば或は固定資本に充て、或は流動資金に供し、或は販賣資金に充當するも深くせんさくしないであらう、然し資金は新設される査定委員會如きものゝ手により、各種事情を參酌し組合別に割當分割され、各組合では損失補償限度二割を超えたる損失につき組合自らこれを補塡せざるべからざる關係上、その貸出は組合各個に嚴重なるものがあらう、次に輸入組合では五ケ年据置、十五年濟崩し位の條件を希望しをるも恐らく三年据置

七年 以上十年未滿見當のところで、委員會決定を見るのではないかと觀測さる、因に九日の委員會を通過すれば一括鮮銀支店を通じて組合が貸出を開始し得ることになるべく、而して輸入組合における事務は別に機關を設けず會計勘定を別途にする程度において行はれる模樣である

新設物產紹介所 視察を兼ね來滿

滿洲は吾縣の顧客だと

三日來連の中谷內務部長語る

愛知縣では北滿進出の第一步としてハルビンに物產紹介所を新設大いに商開を開拓することゝなり、これが下調査を兼ね滿鐵方面と連絡を執る爲、同縣內務部長中谷秀氏は名古屋陳列所長菅原省三氏帶同四日入港ばいかる丸で來連した中谷內務部長は四年前福井縣內務部長當時、見本市をもつて來滿した事あり、又菅原氏も三年前來滿した事あり、ともに滿洲には馴染深い、中谷氏は語る

この前滿洲は一通り見たが、今度の目的は昭和八年度からハルビンに物產陳列所を約一萬五千圓を投じ設ける事になつたので調査の爲だ、愛知縣は現在奉天に名古屋市の物產陳列所があり大連に縣の輸出協會の出張所があつて、南滿の方は充分活躍部隊を持つてゐる、それに反し、北滿は今まで足溜りが無かつたのだ、で將來ハルビンを中心として北滿で

愛知商品 の活躍をしようと云ふのだ、單なる陳列なんて事よりも、もつと動的なものにして卸商邊りと直接取引したいと願つてゐる、判然とした統計はないが、大體愛知縣と滿洲の間は年額六七百萬圓の貿易額がある、そのうちには大阪の川口商人の手を經てゐるものもあるから、縣としては得意先の一つだそれに國內の治安でもすつかりよくなつたら、民衆の購買力もふえるだらうと今からそこを狙つてゐる、次に今年も開かれる見本市には大連たし大連で開催される博覽會に對しても、最低三萬圓を支出して

特設館を 作る筈で、縣の官民は一致して期待してゐる、尙物產陳列所には滿鐵邊りの後援で、こちらの事情に精通した人を所長とする筈で、多分その人は滿鐵がお世話して下さる事になつてゐる、この人には取敢ず半歲位愛知の方に行つて貰つて各地の產業狀態を見て貰ふ氣だ菅原氏とは行動を共にして三週間の豫定で歸る（寫眞は中谷內務部長）

今少し關稅を 減率したい

菅原陳列所長談

內務部長中谷秀氏と同行の名古屋商品陳列所長菅原省三氏は語る見本市が近く開かれるのでその方の打合せもある、見本市もこの前の時と比較して大した違ひはない、只少し種類が增えてゐる位だ、愛知縣がこちらに一番力こぶを入れたいのは毛織物だこれは大分入つてゐる樣だ、今少し關稅がどうにかなつて居れば、もつと販路は求められると思ふ、將來は是非關稅制度の確立が願ひたい、滿洲でも奉天に滿蒙毛織が活躍してゐる樣だが共に提携して行きたい、染色等はどうも水の關係か一の宮邊の方が好い樣な氣がする

米國の金輸禁止 實現を見るか（上）

豫想さるゝ現在の狀勢

東發公司　常深隆二

金本位維持困難の現狀

アメリカ財界はフーヴアー大統領が種々の政策や、手段で救濟策を講じたけれども、益々惡化するのみで、今日では、最早金本位制を維持することを條件としての救濟策は悉く盡くされた形である、そこで、この次に來るものは、金輸出禁止ではないかといふ不安は誰もが持つ所であつて

各國 の在米資金はすでに、この不安から引上げられて居り、この共和黨政策の行づまりは、民主黨に依つて打開されるものであるとの觀察から、大統領更迭後の政策に世界財界の注意はそゝがれてゐるのである。然し又一面には一、アメリカの金輸出禁止はアメリカの金保有量の大な

二、國際收支が受取超過にある事
三、將來外國から引出されるの少量なる事
四、アメリカの國際經濟事情は輸出禁止をしたからとて他國に經濟的効果的のものでない
等の理由からそれを否定するある。しかし乍ら、米國の民の多數が、自國經濟事情い情勢にある、卽ち、アメリあながち之を否定する事は

紙幣 所持の不安や…信ずるに至るならば…防止の必要から、又は資金を海外…を所有し、…事となり財界を破綻に導い…をして、之れが救濟のため…出禁止の餘儀ない政策を取…

新株半數民間公募 滿鐵に入報がない だが何れ問題となる

結局五萬人の株主に上らむ

滿鐵の增資新株百二十萬株中六十萬株の民間公募について三日新京の有力筋において重要發表をなし各方面の注目を惹いたが、右に關して滿鐵當局は「全然何も聞いてゐない」と意見の發表を差控へてゐる、しかし新株募集の直前で、いづれはこれが割當が問題となるべきは明かであり、且つ右有力筋が滿鐵以外に滿洲投資會社を新設して、大資本家の投資プールたらしむべきことを慫慂してゐる事實と相俟つて、滿洲への資本投下の形式が論議の的となるべき形勢を思はしむるに至つた、なほ從來滿鐵株は恰も少數財閥の手中にあるごとくいはれてゐたが現在でも株主は一萬六千六百名に達し株式の分散してゐることは日本では他に例がなく、今次の增資後はこの倍の五萬人の多數となるべしと豫想されてゐる

騰勢稍鈍る 大連の小賣相場

二月は前月より低落

大連商工會議所調査による二月末現在の大連小賣物價は調査品目五十六品中前月に比し騰貴四品、低落七品、保合四十五品で平均三厘の低落を示したが、之れを前年同期に對比すれば、一割五分二厘の騰貴となるも、同所基準昭和五年一月末に較ぶれば指數八九・一を示し一割〇九厘の低落である、卽ち品名別に前月に比すれば

大連開催見本市 時期は七月頃か

會場は取引所階上

今年度の滿洲見本市開催豫定につき仄聞するに先づ開市時期は今朝內地に向け出發した中村輸組聯合會常務理事が主要府縣關係方面の意向を聽取綜合歸任後、滿鐵當局と協議の上決定する手筈になつてゐるが、恐らく七月中旬…

豆粕品質再研究 開始に決定

信用確保上重要案として

北滿に於ける 米國投資活動に就て（一）

大連向輸出 土貨に課稅

支那向 郵便小包手續

新社員採用で 滿電末廣氏東上

市況（四日）

特產 銀安と買氣で 大豆續騰

市場電報

株式 東新手堅く 當市も堅り

錢鈔 爲替堅り 當市强保合

上海爲替情報

（明治四十八年十二月十五日第三種郵便物認可）

滿洲日報

後事を何應欽に託し學良愈よ下野か
熱河支那軍總崩れの眞相判り北平の人心俄然動搖

【北平にて風間特派員四日發】熱河における反滿全軍崩壞し熱河から後送されて來た先發負傷兵の一隊が四日北平に到着し、今更急迫せる事態に官民上下一同愕然として色を失つた感がある、熱河省承德に在つた諸機關の幹部は何れも財をまさめてトラックを强制徵發し先を爭つて平津に避難しつゝあり、これら避難大官の家財を運ぶトラックと全く秩序を失つた敗兵及び殺到する一般避難民衆とで承德北平間の街道は車馬絡繹大混雜を呈してゐる、當地官憲は熱河における戰況報道に極端な彈壓を加へてゐるため一般民衆は最近數日來熱河戰況の眞相判らず暗中摸索の態てあつたが、本日沙帽山において反滿軍が潰滅した眞相漸く判明し、民心俄に動搖し始め軍憲の警戒いよ〳〵嚴重となつて來た、學良は最近四圍の情勢日に窮迫せるに鑑み自ら轉身策を講じ蔣介石の支持を表面の口實にして一應平津地方より保定又は河南方面に退かんとしてゐると傳へられてゐたが、この急迫せる事態に遂にやむなく下野を決意したらしく何應欽の來平するを俟つて一切を何應欽に託して下野せんとする氣配濃厚となつて來た、當地在留邦人はすべて安全である

蔣介石北上か

【錦州四日發】蔣介石は熱河に於ける支那軍の敗走に愕然として歩兵五個師、騎兵一個旅、飛行部隊二隊を平津地方に出動せしむるに決し內一個師は平漢線に依り北平の東北通州に輸送され居るといふが蔣介石自身も亦近く北上を決意せりと傳へらる

北平政權を繞つて一大動亂の兆
學良軍の分解免れず

【奉天電話】熱河は皇軍の疾風迅雷的の進擊によつて承德も既に陷ち反滿義勇軍と湯玉麟部下十數萬は雪崩を打つて長城以南に退却しつゝある情勢に、平津間は極度に動搖しこの機に乘じて張家口に形勢を觀望せる馮玉祥は閻錫山と提携し北平政府を樹立せんとし韓復榘亦天津方面に部隊を移動し河北の實權を握らんと畫策の模樣であり、閻錫山は既に石家莊に山西軍を集結しつゝあり、その間新...擁せんと試み、蔣介石直系の二ケ師が北上すれば、河北は國民黨蔣介石の勢力下に歸する傾向である張學良の部下もまたこれにより分解作用を起すべく北支一帶には各軍閥の內訌に一大動亂が豫測されてゐる

熱河の敗兵既に關內に逃げ込む
商震軍の手で武裝解除せん

【山海關四日發】凌源、平泉方面よりの敗兵は承德を經ずして直接...込む模樣で、その先頭は既に長城を越えて關內に殺到しつゝある敗兵の處置に關しては過般宋...の代理として當地方を視察せ...

承德入城
俊敏なる皇軍

【錦州四日發】錦州戰鬪司令所公表＝三月一日早朝朝陽を出發し神速機敏一擧にして凌源を衝いた川原先遣部隊は更に長驅して四日午後二時五十分威風堂々承德に入城した、皇軍が承德に入るには少くとも一週間か十日を要するものと思はれてゐたがたゞ四日間で八十里を突破したことは眞に驚嘆に値するものである

劉宗傑と商震との談合によ...商震軍の手で武裝解除を行ふことになつてゐるが、これ等敗兵が將來の禍の種たる武裝を易々と手放すや否や問題である、十中の九までは如何にうまく行つても灤州から天津一帶に亘り敗兵の大掠奪は免れぬものとして同地方の人心極度に動搖してゐる

承德占據迄の勇躍ぶり

【錦州特電四日發】川原挺進隊は四日午前九時十五分天朝山（承德より約十キロ）に達し、服部部隊の挺進隊は同九時三十分下打虎店（冷口の北約二十キロ）を通過南進中、遙か彼方に長城の勇姿をみとめ將士の意氣衝天

【錦州四日發】四日早朝〇〇根據地を出發した飛行機よりの第二回空中無電報告によれば午前八時廿分我川原挺進快速隊は東杖子（承德東方十二キロ）を前進中にして承德附近の人馬の往來既に跡を絕ち...

【平泉四日發】本日午前八時五十分川原挺進部隊先遣〇〇隊は主力部隊との完全なる後方連絡を取りつゝ轟々たるエンヂンの爆音を揚げ、積雪固く凍れる大街道を今一息とばかりに〇〇を目がけて殺到〇〇郊外の喇嘛廟は眼界に入り將士勇躍する

【錦州特電四日發】四日午前八時當地を發した釘宮中尉機は承德上空の飛行を終へ午後三時十分歸還したが同機は右翼に三發、中心部に一發、尾部に二發の敵彈を受け釘宮中尉の踵にも命中したが幸ひに靴に支へられ貫通するに至らなかつた

【錦州特電四日發】四日當地に歸來せる飛行機の報告によれば正午より零時三十分に至る間の敵狀左のごとし

承德灤平間に約五、六千、灤平西方より四千西方に向ひ退却中、灤平の西端に敵の先頭がある、承德より北方に通ずる道路に約四、五百の敵あり退却中、承德東側に約二、三百の敵あり西方に退却中、承德より南方に通ずる道には敵部隊を認めず、我飛行機は上記の敗匪に對し盛んに爆擊を加へつゝ追擊中なほ當地に歸來せる飛行機の報告によれば午後三時我軍は承德東門より續々入城しつゝありと

敗兵の同士討

【北平四日發】平泉より退却した學良僞勇軍は喜峰口より關內に雪崩込み灤河橋、三屯營方面で撤退軍と學良軍との間に衝突を惹起し同士討混戰中

一萬の敗走兵

【錦州四日發】わが飛行隊は四日午後界嶺口西北二十五キロの双山子乾溝鎭間に約一萬の學良正規軍あるを發見之を〇擊した、敵は多大の死傷を出し雪崩を打つて外嶺口に向け逃走中である

山海關方面支那軍陣地俄に動搖
わが守備隊緊張す

【山海關四日發】四日早朝來支那軍陣地は急にざはつき始めた、傳令は曾て見ぬ頻繁さで往き返つてをり、後方へ更に有力部隊が詰めかけてゐる樣子で、單に軍隊の移動とは思はれない、密偵の報告によれば、熱河から敗兵の一部が灤州方面に到着、日本軍が長城間近くまで迫つてゐることを告げたものて、急に動搖を來たしたといひ、又一說では五日を期して山海關奪回の本格的戰鬪を計畫してゐるのだともいふ、何れにせよたゞならぬ空氣漲り我守備隊は非常な緊張裡に全面的に敵陣を警戒しつゝある

山海關方面の敵
遁走兵每月百名以上

【天津特電四日發】熱河軍の慘敗に北平軍事委員會は極力後方の防備を確實にするため各學良直屬軍に對し嚴防を命ずると共に、萬福麟を灤西後方總指揮に、張作相を熱河後方總指揮に任命したが、學良の肚は熱河喪失の責任を湯玉麟に負はせ自己の恃みとする直屬軍を關內に收容し萬里の長城の警備を固めて、

敗殘軍の關內に雪崩込むを防ぎ努めて察哈爾方面に活路を求めしめて自滅を圖る作戰の樣である更に山海關方面の情況を見るに、同方面に出動して居る舊東北軍の三分二は何れも滿洲國に家族を有する連中で既に故鄕を離れて一年半以上も經過し其間全く消息を絕つて居るので、望鄕の念は全く見込の無い抗日鬪志を失はしめて仕方無く武器の運搬に露命を繫いで居る、特に軍餉の不足は益々彼等の輸與を粗惡にして不平が充滿して居る、彼等兵卒の安い給料は最近は二割引で卅五日拂び四十日拂ひとなり結局一年が九ケ月半位の計算となつて居る、一日の食料は十五仙であるがその錢をはれられる故實際の費用は更に低下して居

逃亡兵は每月一ケ營に百名を下らない、これが補充に幹部は眼を廻して居る始末である、殊に最近は滿洲方面の狀況が彼等の間に知れ渡り、平和な樂土に住む家族を羨望し或は滿洲國境警備隊の給料が好く服裝の整備した有樣を見聞して逃走歸順を欲する者が益々增加し、此等の多くは一日も速かに日滿軍が進攻せば其際滿洲國旗を翳へして歸順せんと欲し國旗を秘かに用意して居る狀態で抗日攻擊は申譯的のものと觀られる、故に士氣も團結力も有つたもので無く

軍艦派遣
◇……海軍省發表

【東京五日發】海軍省公表＝北支及び滿洲國沿岸警備の第二遣外艦隊は軍艦平戶と第十六驅逐隊三隻であつたところ山海關事件直後常盤が增勢せられた、今回日滿軍の熱河兵匪掃蕩に際し特務艦神威二月八日佐世保發、又二月二十一日軍艦多摩は馬公發、第十五驅逐隊の驅逐艦四隻と兵...何れも第二遣外艦隊に增勢せられた、目下寄港に在る常盤を除いて第二遣外艦隊の全部（旗艦平戶以下軍艦驅逐艦十隻及飛行機）は山海關及秦皇島沖合に在つて警備に任じてゐる、以上全部の海軍兵力は艦艇三十八隻、人員約八千人に上つて居り各地兵平穩である

縣軍長驅

隊伍整々赤峰に入る茂木部隊

後方攪亂を企つ

【山海關四日發】某所に達した情報に依れば第五路僞勇軍は目下九門口東北方地帶に在りその數三千餘名であるが最近に至り何柱國より兵器彈藥の補給を受け士氣大いに昂り近く一部を熱河に侵入せしめ日本軍の後方を攪亂すべしと豪語してゐるが熱河の敵主力既に潰え承德も陷落せる今日彼等のこの計畫も時既に遲過ぎたる感がある

萬歲三唱
沈默將軍快笑

【錦州にて板屋特派員四日發】後い春の日も暮れたばかりの四日午後六時ごろ歡聲どつと上つた、それは錦州の戰鬪司令所高等官食堂で熱河の都承德が陷落と聞き武藤司令官をはじめ小磯參謀長、岡村參謀副長、齋藤第一、喜多第二、原田第三各課長その他幕僚三十餘名一齊に祝杯をあげ軍の作戰成功をたゝへ、且つ熱河省攻略が將兵の武勇に科學および新兵器の機能が發揮を加へて作戰豫定よりも遙かに早く承德を占據した將兵の武勳をたゝへてその健鬪を稱るべく勝栗に鯣に冷酒といつた質素のもので祝盃を揚げた、さすが沈默の將軍武藤司令官も兩頰に笑をたゝへてゐた、かくて岡村參謀副長の發聲で萬歲三唱し散會したが作戰の全責任を負うた小磯參謀長に「おめでたう」といへば參謀長は三軍の將帥たる態度に復し「前線は寒さ嚴しく食なく困難してゐるだらう」と將兵の武勳をたゝへいたはると共にこれをねぎらつた

早川部隊の戰傷者

【奉天電話】二十四日に四家子附近における早川部隊の戰傷者左の如し

大尉前澤長三、一等兵永田初太郞、同菊地龜吉、同荻原萬吉、同佐藤德松、同小舟淸太、二等兵吉田梅松、同佐々木常吉

右の負傷の程度は不明なるも前澤...

國難打開決議案趣旨
貴院各派有志會

【東京四日發】...

戰鬪司令所を設く
武藤軍司令官赴錦

【錦州特電四日發】關東軍司令部發表＝武藤關東軍司令官は熱河事件進展に伴ひこれが指導のため小磯參謀長以下の幕僚を隨へ三日早朝新京發、同日午後三時半、錦州驛着同地に戰鬪司令所を開設した

【錦州にて板屋特派員四日發】熱河問題の進展に伴ひ頓に重要性を增した錦州は三日輝ける武藤軍司令官を迎へ喜び湧き返つてゐる、武藤軍司令官は小磯參謀長外幕僚と共に直に自動車にて軍司令所に向ひ、坂田、小林兩參謀らの出迎へを受け別室に入つた

武運長久
陸相軍司令官へ謝電

【東京特電四日發】荒木陸相は熱河討伐の進程著しきものあるに對し特にこのたび武藤關東軍司令官宛左の感謝電を發した

天候地形一切の困難を克服して疾風枯草を掃ふ皇軍の勇奮これ國民讃仰の的たり、こゝに將兵の勞を感謝すると共に最後の成功近きにあるを確信し重ねて武運の長久を祈る、右關係將兵一同に御傳へを請ふ

なほ武藤司令官よりは左の答電があつた

御懇電を謝す、最後の成功に邁進しつゝあり、將士の士氣旺盛、御安心を請ふ

赤峰附近戰死傷勇士

【赤峰四日發】...における我...通り

▲戰死 ...

（地図）皇軍熱河進擊　數字は占據の日
通遼　綏東　開魯　天山　林東　林西　28　28　下洼　27　27　北票　南嶺　錦西　興城　錦　朝陽　3　2　1　1　建平　赤峰　房身　隆化　4　3　平泉　凌源　熱河　灤平　吳公府　沙帽山　喀喇沁　石門　白　綏中　渤海　山海關　秦皇島　灤州　塘沽　天津　北平　古北口　多倫

震災慰問金募集

本月三日午前二時半、宮城、岩手、青森の東北三縣並に北海道の一部に亘り、突如として起つた强震と之に伴ふ大津浪の襲來とは、近來の一大異變として全國民に痛烈なる衝擊を與へたが、その後被害各地よりの報告は一報每に慘禍の範圍を擴大し、遭難人員實に三千を超え、また家屋財物の流亡燒失二萬戶の多きに達することゝ明白となり、そゞろに彼の關東大震火災並に往年の三陸大强震の慘禍を憶はしむるものがある。

これ等同胞の言語に絕する大慘害の報一度傳はるや全國各地の同情は翕然として同地方民に集まり、又畏くも、皇室におかせられては、その被害甚大なるを聽召されて、痛く御軫念、直に側近者より被害狀況等の詳細を御聽取遊ばされると共に、罹災者御救恤の思召にて、近く御內帑金下賜の御沙汰あるべしと洩れ承る。

今回大震災に遭遇したる地方は我等の居住する滿洲とは地を隔つる數千●ロの遠さにあるが、而も嘗つて日本帝國の生命線滿洲を今日の王道樂土たらしむるに與つて最も大なる貢獻を致したものは、實に東北健兒そのものであることを思ふとき、吾等在滿三十萬同胞の、同地方民並に其出身健兒に對する感慨は頗る深きものあり、この際吾々が起つてこれ等の地方民に對して同情慰問の意を表し、併せて邦家のため健鬪する東北健兒をして後顧の憂ひなからしむるやう努めることは、吾々同胞としての義務でもあると信ずる。

是れ我社が在留同胞諸君に檄して、今次東北、北海道等の大震災地方に對する慰問金を普く募集すべく、茲にその趣旨及び要項を發表する所以である。

要項

一金　額　一口三十錢以上たること
一受　附　滿洲日報社事業部
一處理方法　相當額に達するを待ち、成るべく急速に內務大臣に傳達し、最善の處理方法を委託す

昭和八年三月五日

滿洲日報社

社說

熱河全省平定成る
承德の克復

日滿軍が熱河平定の軍事行動を起してより正に十二日目にして首府承德を克復した。敵軍算を亂して古北口に逃走すといふから、國境まで一摺りもなく退却す可く、湯玉麟も恐らく既に北平方面に逃亡したであらう。叛軍匪徒學良軍の混合にして統制なき烏合の衆と云ひながら、僅々十餘日にして全省に充滿せる賊徒を掃蕩し得た事は、皇軍威力の如何に偉熾せるかを實證して餘りあるものである。但し寒威酷烈、風雪瞭々の裡、險路險要を強行突破したその勞苦は推察するに餘りある。國民は多大の感謝を捧げねばならぬ。

熱河全民歡喜

熱河は固より滿洲國の領域であるから、中央政府の制令に服しないものある以上、之れを討伐すべきは當然であるが、他省の政治的形成に稍手間取りたるを奇貨として、湯玉麟が首鼠兩端を持したのが禍根であつた。爲めに他省の叛軍逃入し、匪賊は反日の口實を得て所在に蜂起し、學良軍までも侵入せしめる機會を與へた。爲めに全省住民は、いやが上に塗炭の苦を重ぬるに至つた。王師一度向つて匪賊潰亂し、住民其徳を慕ひ、簞食壺漿して之れを歡迎する有樣は、日々の紙上に現はるゝ所の如くである。軍隊と共に、宣撫員、政治工作員之れに隨ひ、直ちに窮民を賑恤し、自治を恢復せしめてゐる。治安維持の方法が完成さるゝは時日を費さゞる可く、全民は今日より枕を高くして堵に安んずる事が出來る。即ち他省と同樣に王道政治の德澤に浴することを得る。滿洲國全體が此處に平定を告げたわけである。

聯關する問題

滿洲國は之れでかたづいた。あとは荒ごなしの上に研きをかけるだけだ。而して國境に退いた匪軍が今後如何なる態度を執るかが一の問題だ。次第によりては更に支那との問題を生じないとは限らない。又潰走兵並に平津地方駐在支那軍の動搖の爲めに、在留日本臣民が危害を受くるなきや否やの問題もある。支那側にて、よく統制を保つにあらざれば、此處に又難問題を發生しないとは限らない。先年の南京事件には日本が隱忍に過ぎた。滿洲事件の如きも多年隱忍の結果であつた。其後の濟南事件、昨年の上海事件の如き、皆國民政府の計畫的且繼續的侮日政策の結果に外ならぬ。國民政府にして斷然自覺して、根本的に對日政策を改めざる限り、不測の變を生じないとは限らない。日本は始めより、支那の安定改善進歩によりて、共に提攜して東洋の和平を希望するものである。吾人は國民政府に對して、此時を機として對日滿政策を篤と考慮せん事を勸告するものである。

學良自省せよ

熱河省の平定によりて、最も打撃を受くるものは張學良であらねばならぬ。元來張學良は、例の易幟問題の時に、既に深泥に足を踏込んだ。一昨年に至つては、途方もなき迷夢に捉はれて日本勢力に對する實力打倒を企て、甚だしき失敗を招いた。爾來迷夢を醒ますべき機會がいくらでもあつたに拘らず、益々迷夢を追ひて愈々深泥にはまり込んだ。徒らに失地恢復を叫んだ手前、遂に熱河奪取を武力によりて強行せざるを得ざる羽目に陷り、更に癒やすべからざる創痍を被るに至つた。その沒落は愈々時日の問題となつた。此時に當りて尚迷夢より醒むる能はずんば、張氏一人の得失は必ずしも云はず、北支の安寧は爲めに崩壞す可く、全支四億民の安危に關する。吾人は國民政府の甚深なる考慮を求むると同時に、張氏自身の深省を望まざるを得ない。

金禁輸まで行くか
米金融非常時
新舊大統領以下鳩首凝議の
地方銀行動搖防止策

【ニューヨーク三日發】ニューヨーク・デーリー・ニユウス紙ワシントン特派員の所報によると新大統領は就任を前に三日夜ルーズヴエルト、フーヴア新舊大統領、財務長官ミルス氏、聯邦準備局總裁マイヤー氏及びルーズヴエルト氏の財政顧問たるモーレー氏の間に會議が行はれたが右會議において地方銀行動搖防止の對策として兌換停止若しくは金の輸出禁止の可能性について考慮されるところがあつた

銀行救濟策
必要資金の融通

【紐育三日發】現在アメリカに於て何等かの形に於て銀行營業に制限を加へてゐる州は三十州、之にコロンビアを加へて合計三十一州の地方に及んでゐるが政府の救援は愈々具體化する模樣である、即ち復興金融會社として支拂制限をなせる地方の金融機關に對し或一定率の預金拂戻しのため必要なる資金の融通をなさしむる旨發表した

ル氏に御祝電

【東京四日發】米國大統領ルーズヴエルト氏は本四日就任するので天皇陛下には同氏に對し御祝電を御發送遊ばされた

會議又會議
應急金融策

【ワシントン三日發】上院議員グラス氏は三日夜二十分に亘りルーズヴエルト氏と協議し次いで新財務長官ウッディン氏、國務長官ハル氏がルーズヴエルト氏を訪問した、但し右融資には充分な擔保を必要とすることとなつてゐる

【ワシントン四日發】四日午前零時五分財務長官ウッディン氏及び聯邦準備局當局は財政省に參集目下協議中である

【ニューヨーク四日發】ニユーヨーク銀行家の一團は三日深更より聯邦準備銀行に參集準備銀行當局と密議中である

聲明書發表か

【ワシントン四日發】新財務長官ウッディン氏は二日當地財務省で行はれた財務高官の密談の席より本日午前三時退席したが氏は會談に關し聲明書を發表すると漏す

一齊休業す

【プロビテンス（ロードアイランド）四日發】ロードアイランド州各銀行も四日から一齊に休業した

紐育州に波及

【ニューヨーク四日發】米國地方人動搖は遂にニユーヨーク州に波及し州知事シーマン氏は四日早曉に至り六日まで州内銀行の休業を命じた、同時にシカゴを擁するイリノイ州も州内銀行の休業を決定しモラトリアム區域は三十四州に達し殘りは三十四州となつた

外國爲替取引休止

【ロンドン四日發】英國財界は米國銀行界の混亂に鑑み四日ロンドンに於ては外國爲替取引を行はない事に決定した

二月對外貿易
大藏省發表

【東京四日發】大藏省發表＝二月分對外貿易左の通り（單位千圓）

輸出　一一八、八九〇
輸入　一八二、三六八
入超　六三、四七八

前年同期に比し四割八分四、輸入四割二分二増加輸出で増加せる物綿織物（一五、三三五七）小麥粉（二二四〇）絹織物（一、五二五）人絹織物（一、四三三）減少生糸（七、〇〇九）輸入で増加したもの棉花（二六、〇七五）羊毛（七、六八八）鑛（三、六七八）原油重油（一、七一四）、減少硫酸アンモニア（一、一三三）自動車及び同部分品（一、一三九）である

大連市八年度
一般會計豫算
（三）……小川市長の說明

市稅は戸別割を除いた不動產取得稅附加稅および特別稅諸車使用稅等に於て一萬一千九十七圓の減收となるが特別稅貸家稅、特別稅遊興稅に於て二萬三千九百二十四圓の增收となるので差引一萬二千三百二十七圓の增收となり、經常部中戸別割を除く部分に於て六萬五千百五十四圓の減收となる、之れに臨時部の增收額十三萬四千九百二十三圓より差引き戸別割を除く他の歲入全體としては七萬一千七百六十九圓の增收となり、歲入合計と戸別割を除き六十一萬四千七百七十圓となり、之れを歲出合計百三十四萬八千七百九十二圓より差引き其の不足額七十三萬四千二十二圓が卽ち本年度の戸別割總額となるのである、因つて本年度の戸別割總額は前年度豫算に比し十三萬三千二十六圓これを步合にすれば二割二分一厘三毛弱の增徵となる、併し本年度は人口增加の關係上負擔步合總計約四百十五萬點を得る見込みで一點當りは十七錢六厘八毛強となる見込み、之れを前年度の一點當り十四錢九厘七毛に比較し一點當り二錢七厘一毛の負擔增となるのである

◇

要するに昭和八年度一般會計豫算は前記の如く大體に於て前年度豫算を踏襲したが歲出に於て事務整備のため若干の增員を伴ふものと營繕費および衞生費等止むを得ざる經費を計上した事と新規計畫たる中央公園改良費および博覽會繰入金等を計上し歲入に於ては前年度繰越金の減收五萬八千餘圓および不動產取得稅附加稅等の減收のため結局前年度に比し十三萬二十六圓の不足を生じたので之を戸別割の增徵に俟つ事となつたのである

◇

次は昭和八年度大連市特別會計基本財產歲入歲出豫算であるが本會計は至極簡單な豫算で歲入として は預金利子が元金見込額六萬二百圓に對する年五分八厘の利子金三千四百九十一圓餘と博覽會より九月末に繰入れてある五萬一千五百四圓、百八十二日分の年利五分八厘一千四百八十九圓餘の外に基本財產蓄積規則に依り本基本財產に蓄積される昭和七年度一般會計歲計剩餘金の百分の三十たる金六千圓と見積り之れを六月中旬繰入れる事とし以後二百九十日分日步一錢三厘の割合に依る利子金二百二十六圓とを合せて五千二百七圓となり博覽會に繰入れたる元金五萬圓に對する利子一千五百四圓と中央卸賣市場會計に繰入れたる四萬五千圓に對する利子二千七百圓とを繰入金とし、なほ此のほか寄附金として前年度豫算と同額の金二百圓を計上し歲入合計金九千六百十一圓となつて此の額全部を基本財產造成費として歲出に計上した

◇

昭和八年度大連市特別會計恩賜基本財產歲入歲出豫算もまた至極簡單で歲入としては預金利子が元金見込額一萬五千七百四十七圓の年五分八厘、利子金九百十三圓および基本財產蓄積規則により本基本財產に蓄積される昭和七年度一般會計歲計剩餘金の百分の三を金六百圓と見積りこれを六月中旬繰入れる事とし以後二百九十日分日步一錢三厘の利子金二十二圓計九百三十五圓を計上したほか寄附金として前年度豫算と同額二百圓を計上するので歲入合計一千百三十五圓となつてゐる、之れに對し歲出としては表彰費として前年度通り四十五圓を計上しなほ歲入合計より差引いた殘額一千九十圓は之れを恩賜基本財產造成費に計上した次第である

熱河形勢惡化に
蔣公使引揚げ
けふ東京を發し歸國

【東京四日發】駐日支那公使蔣作賓は五日東京發六日午後三時神戸出帆のクリーブランド號で歸國に決した、表面は賜暇歸國であるも熱河形勢惡化せるため事實上の引揚げとならう

國會議事堂で
宣誓式擧行
ル氏大統領に就任

【ワシントン四日發】ルーズヴエルト氏は本日正午愈々第三十二代大統領に就任した、式場たる國會議事堂正面大理石の大階段上のプラットホームは米國々旗を以て飾られ會衆約五萬人である、プラットホーム中央に立つた新大統領は海軍々樂隊の國歌吹奏裡に大審院長ヒューズ氏參列の下に宣誓し聽て力強い聲で就任演說の朗讀を爲した終るや新大統領は周圍の人々よりの祝辭と握手に應へつゝ直に夫人と共に自動車に搭乘參謀總長マック・アーサー將軍を先頭とする大行列車に入つたが此の行列こそ新大統領として初めて白亞館に入る榮ある行列で市民各種の團體其他各方面の代表者が之に參加し歷史的由緒深きペンシルヴアニア街を通つて白亞館に入り茲に全く就任式の盛儀を終るのであつたが沿道兩側には六萬の民衆が歡呼を浴びせ新大統領夫妻は車上より之を顧みながら彼等に應へた

滿洲中央銀行
第一期業績
（上）榮厚總裁演說要旨

【新京電話】去月二十八日滿洲中央銀行第一期株主總會における榮厚總裁の演說大要は左の如くである

滿洲中央銀行第一期株主總會に當り、株主各位に對し經濟金融の狀況及び本行業務の成績に關し御報告申上ぐるは小職の光榮とするところである、我滿洲國は建國第一年であり、萬事草創の際で、世界的經濟の大勢に支配せらるること比較的少く、寧ろ經濟機構の建設、國內的經濟の整備に終始した。この間歐米各國においては、歐洲大戰後の創痍なほ癒えず、歐洲諸國は勿論アメリカにおいてすら戰債問題の解決困難と、未曾有の財政難とにより、未だ財界は好轉せりといふを得ない、世界外紙の傳ふる處に依れば、世界四十八ケ國の昨年上半期貿易總額は、前年同期に比し、三四%の減少を示し、これを一九二九年に比すれば、實に六四%の減少を示してゐるとのことである更に昨年下半期においても英、米、佛等何れも十一月までは何等好轉の道を示して居らぬ、而して物價指數に於て之を見るもイギリスは八、九月に、フランスは七月に、アメリカは八月において、僅かに反撥してゐるが十月には再び軸落し低落を示してゐる、又貨幣制度の點より見ても米、佛、外一二を除く外は著しき金の偏在に惱まされ、何れも金本位制を離脫して屬り未だ復歸の曙光だも認め得ない更に最も我國と密接なる關係にある隣國日本においては世界的の不況の影響を受け、產業界の不振、財政の膨脹、爲替の低落等により、相當經濟的苦難に瀕してゐる、只日本の歐米諸國と異るは、爲替低落の割合に、物價騰貴を招致せざりしため、輸出激增を見、又世界の大勢に反し物價上騰の傾向にあることであり將來物價と購買力とが併行し、貨及び公債市場政策が好結果を齎すにおいては漸次好轉するものと信ずる、以上の如き經濟國際關係において吾國日本財界の同情により、滿洲國は建國當初において、又建國公債募集に際して多大の助力を受け、これにより紊亂の極に達せる財政を整理し得た

滿洲國三千萬民衆は舊軍閥時代における官憲の暴政搾取と極度に紊亂せる幣制及び通貨の暴落とにより、疲弊困憊その極に達してゐた、故に政府當局においても滿洲中央銀行の開設を一日も早からしめ、以て國民をこの塗炭の苦より救はんとしたのである

本行は開業と同時に舊行號の紙幣を引繼ぎ、財政部佈告の公定比率により十五種類の舊紙幣を整理し之を國幣に統一し、その開業當初における發行高は一億四千二百八十四萬七千二百三十三圓六角七分で、本行は貨幣法の定むる處によつて、國幣の發行をなして漸次舊紙幣の引換を行ひ、開業後二ケ年にその引換を了する豫定を以て、既に舊紙幣は五千萬圓を回收してゐる、又補助貨の製作に關しては、從來の雜然たる各種小額通貨を整理するため、新補助貨鑄造の準備を急いで居ります（續く）

爲替管理法
米穀統制法可決
御土產案を一括して議了す
衆議院本會議（四日）

【東京四日發】四日衆議院本會議は午後一時四十二分開會、劈頭昨日の三陸地方に於ける大震火被害に對し秋田議長より見舞の挨拶を述べ次いで山本內相（登壇）被害狀況及び救護、警備の狀況を報告萬遺憾なきを期したいと述べ次に

小山法相　過般長崎縣下に起つた不祥事件に就てはその眞相を明かにするため目下取調中であるが今日までに判明した處を次の本會議で報告したいと述べ日程に入る

一、爲替管理法案　上程委員長より報告あり終つて野中徹也君（國）より原案を政府指定の日銀並に正金銀行に改めんとする修正案を提出し趣旨辯明をなす、次いで入り小笠原三九郞君（政）登壇附帶條項を附して委員長報告に賛成意見を述べ討論を打切り採決の結果野中君提出の修正案は少數で否決し委員長報告通り可決

一、米穀統制法案
一、米穀需給調節特別會計法律案
一、正法律案

を一括上程東委員長より審議の經過報告、由谷義治（國同）君の提出せる修正案の趣旨辯明を爲したる後討論に入り

宮崎一君（政友）本案は農村對策、社會政策兩樣の立場より米穀の數量、市價の調節を圖り有力な統制々度樹立と我が事業資金增資とを目的とするものであるから過渡的法案として附帶決議をなしこれに贊成すると贊意を表す、高橋守平君（民）も希望條項を附し次いで採決の結果由谷君提出の修正案は少數否決し本案は委員長報告通り可決

次いで日程を變更し建議案百件を一括議題とし委員長報告通り全部可決し五時十五分散會

星野商工課長上京

滿鐵經濟調査會某重要問題審議のため尾野商工課長は急電に接し四日朝急遽陸路東上した

關東廳辭令（三日）

關東廳屬兼關東廳通信書記　大內龜太郞
任關東廳理事官
敍高等官七等從七位
七級俸下賜
關東廳理事官　大內龜太郞
長官々房文書課長勤務を命す
關東廳理事官　大內龜太郞
依願免本官
關東廳屬　細川清
任關東廳理事官
敍高等官七等

追加豫算增額要求

【東京四日發】內務省は三陸の震水災被害地に對しての應急措置として救助資金と衣食の急送に依り充分と觀てゐるが今後は港灣、道路、橋梁等の災害復舊工事、浸水後の防疫警察、農漁民の生業資金貸付を必要とし近く大藏省に第二豫備金支出八年度追加豫算の增額を要求するに決した

貴院豫算總會

【東京四日發】貴族院豫算總會は四日午前十時十六分開會、第一分科會主査以下各分科主査より順次報告あり第三分科主査よりの報告後山本內相より三陸地方震災につき報告を爲し十一時四十六分一先づ休憩した

醫師法改正案

【東京四日發】貴族院の醫師法中改正案委員會は午前十一時開會阪本彰之助氏の希望決議を附し本案を全會一致可決し午前十一時五十七分散會した

小觀

……は又餘りにあつけない▲元より正義に向ふ刄なし、公正な目的をもたぬ烏合の匪賊が、王師に對して蟷螂の斧よりも脆さは當然ではある▲さりながら、餘りにあつけないので、皇軍の勞苦を等閑視してはならぬ▲その作戰の周密さ、果敢の行動が、この成果を得させたもので、隨つて風雪を冒して險要を突破した皇軍の、粒々辛苦の狀は從軍記事にも具さに窺はれる▲熱河問題をあれ程氣にしたジユネーヴ方面に、一向音沙汰なきはどうしたわけか▲一旦會議で否認してさへおけば、實際はどうならうと、それは東洋の事だから構はないとは、小國側の腹の底かも知れない▲但しその靜かなる原因の一つとして、支那が靜かにしてゐるからだとの見方もある▲成る程本尊の支那が騷ぎ立てないのによそで騷ぎ立てるわけにもゆくまい▲支那側でも、カラ元氣のために、ジタバタは愈々ダメと覺り、まじめになつて、實行出來る解決方法を考へてゐるのが支那の靜かな理由であらうか▲ルーズヴエルト氏四日から愈々白亞館の主人とはなつた▲アメリカを主とする世界不景氣の恢復策に全力を注ぐ方針を執り、空理を振り廻す滿洲問題などは二の次と見られる▲三陸、北海道地方津浪の被害、死者千五百卅五名に達し、行方不明も相當あるから、實際の死者はもつと多からう▲家屋の流失倒潰燒失亦一萬を超え、損害總額は案外大きい▲差當つての救濟の外、復興に關して、內務、大藏、農林の各省でも協力する▲誠に結構で當然であるが、火災保險金を仕拂はないとは約款によるとはいひながら、被害者には泣き面に蜂、氣の毒至極だ

八面相
投書歡迎　五十行以內　中略はとらず

洋食の實習　聖德小僧

◇今春卒業される生徒の方々をヤマトホテルに御案內なさるとか聞きましたが眞實でせうか？

◇勿論洋食の食べ方についての實地指導と巢立ちのお祝ひを兼ねてなさる事とは思つて居りますが、もつと現實的な方法で食べ方なりお祝ひなりが出來ないものでせうか、例へば材料の買ひ方から造り方、食べ方といつたやうに

◇折角の思ひつきでせうが、これからの女性を通俗小說のバンプ型に仕立てるやうな氣持がしてなりません、あまりに卒業の印象が甘すぎて前途に失敗を招くやうなことになりはしないでせうか

◇獨身の僕は考へさせられますので、彌生高女の先生にお尋ね申します

お答へ　お訊ねの件は決して卒業祝ではなく、第四學年の第三學期の學校行事（家事科の實習に屬す）の一つとして神明、彌生兩高女が恒例にしてゐるものです、本年度は兩校とも既に二月中に終りました、實習ですからホテル側よりも特別の厚意で食費一人前二圓五十錢で本格的な洋食を供されてゐます、この費用は臨時支出でなく三年生の時から積立てた積立金と家事實習費の殘額を充當します、そしてホテル側より一皿毎にその名前、材料、食べ方等の說明がありますのでコースを終るには二時間乃至三時間を要するのです、かゝる實習は到底學校の設備の範圍では出來ません、そしてこの實習は大連の中堅婦人となるべき卒業生に必要であつて決して贅澤でないと思ひます、（大連彌生高女校長細萱庫三）

市況（四日）

株式

內地小靛り
當市强保合

內地主力株小靛りを入れ當市保合

◇定期（單位十錢）

後場

銘柄	當限
五品 寄	一二八六
中	一二八八
引	一二八八

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	二六〇	二六六	二六〇	[illegible]
新豆	一	一	一	一
錢鈔	一	一	一	一
東新	一六九	一六九	一六一	[illegible]

特產

邦商の買に
大豆强調

後場の定期は大豆は邦商の强調を辿り豆粕は漆はず豆油は閑散ながら强含なるは大豆高に靛り商狀を呈す

◇定期後場（銀建）

錢鈔

日米强保合
當市弱保合

日米第四回廿一弗八分の一、第五回同十六分の一を入れ當市弱保合

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一〇一五	一〇一五	一〇〇五	一〇一〇

出來高期近四百四十七萬圓

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	一〇一五	一〇〇〇	一三〇
二時半	一〇一〇	一〇〇〇	一三〇
三時半	一〇一〇	一〇八〇	一三一〇

出來高（銀對金五萬圓、銀對洋六千圓）

商品

麻袋變らず
綿糸强保合

大阪三品後場强保合を報じ麻袋變らず共に出來不申

奧地市況

▲奉天國幣對金票　現物　六一、〇〇
▲奉天國幣　現物　九八、二〇　九七、七〇
先限　一〇一、九〇　一〇二、一〇
▲開原國幣對金　現物　九八、〇〇　九七、七〇
▲新京國幣對金　現物　一〇一、二〇　一〇一、二〇
▲哈爾濱國幣對金　現物　九八、四五　九七、九〇
▲安東鎭平銀　當限　一、二三八〇　一、二三七六
先限　一、三八七　一、三八三
▲公主嶺錢鈔現物

市場電報

現物後場（銀建）

▲包米　出來高　三十七車
混保大豆（袋込）四九五〇　四九八〇
普通大豆（袋込）四九二〇　四九六〇
出來高　八十車
豆粕　出來不申
豆油　一三二五　一三三五
高粱　出來不申
包米　出來不申

公設市場便り（三月四日相場（單位厘））

品目		
鯛（生氷）	六〇〇	四八〇
ほうぼう	同二〇〇	一五〇
たら	同一〇〇	八〇
たこ	同三〇〇	二五〇
ぐち	同二〇〇	八〇
えび	同六〇〇	四〇〇
ひらめ	同二五〇	二〇〇
さら	同六〇〇	三〇〇
ぼら	同五〇〇	三〇〇
かれい	同三〇〇	三〇〇
星がれい	同二五〇	二五〇
さば	同一五〇	一〇〇
わかし	同二〇〇	二〇〇
なまこ	同三五〇	一〇〇
貝ぬき	同四五〇	二〇〇
赤貝	同四八〇	四五〇
かき	同一五〇	一〇〇
まこ	同一五〇	一〇〇

家庭

明日は地久節
國民に示し給ふ婦道の御手本
實行に努めませう

◇…畏くも皇后陛下におかせられては明三月六日をもつて第三十回の御誕生日、國母陛下として第七回目の地久節をお迎へ遊ばされますが、われ〳〵國民にとり眞に御めでたき極みであります。

◇…國母陛下が常に國のいや榮えにさかえ、國民の幸福ならんことを願はせられ、なほまた、日本婦人への婦道を示し給ふ御心のほどは申すも畏いことでありますが、國母陛下には御幼少のころより御慈悲いと深く、御十二、三歳の御頃には鳥類をお飼ひになることを非常にお好みになり、文鳥などがのどかな聲で囀つてゐるとその下で

「いまあげますよ、まつて、いらつしやい」

と人間にでもお話になる樣に、やさしいお心でスリ餌などを御自らお掛りに相成りおあげになつたと承ります。

◇…また、學習院女學部御時代陛下がある年の夏、千葉縣の銚子に御旅行遊ばされた時など、わざ〳〵次の如く日記にお書きとめ遊ばされていらせられると洩れ承ります。

「私達が町に入ると、澤山の人達が、あの暑さの中に、出迎へてゐた、中には小學校の小さい生徒もあつた、出迎へはうれしいけれど、あの夏日の照る中に長い間立つて迎へてくれる人達のことを思ふと、氣の毒に堪へられない」

と、この慈悲を垂れ給ふ御心こそ、我々の國母陛下と仰ぎ奉るにあまりに有難き極みではありませんか。

◇…この有難き國母陛下の今日は御誕生日です、われ〳〵は國母陛下の御仁慈に對へ奉ると共になほ國民へ示し給ふ婦道の御手本の數々を實行しなければならぬのであります、これがまたわれ〳〵の國母陛下に對へ奉る道でありませう【御寫眞は皇后陛下】

徳川時代から明治の始め頃にかけて所謂良妻賢母主義教育が唱道せられてゐたが、明治三十四、五年頃からは「賢母良妻主義」といふ事になつた樣である、此の言葉は時の文相菊池大麓博士が提唱したものだと聞いてゐる、其後「新しい女」一派の出現があり「人間主義」といふのがむやみに流行して所謂女性の完成といふ事を目的とした樣であるが、昨今では再び母性尊重とか母權の擁護とか言ふ樣に母としての完成に還元せられた樣に思はれる。

家庭顧問

暖い室に入るご顏が眞赤に

【問】私は二十歳のいたつて丈夫な女でございますが、この頃外から急に暖かい室内へ入つたりいたしますと顏がまるでお酒でも澤山頂いた樣に眞赤になります、それだのに平常はまるで顏が紫色をしてゐて白粉をつけましてもいやな色になるのです何かよい療法はございませんでせうか(旅順さと子)

皮膚の過敏症です 抵抗を強くなさい

【答】皮膚の過敏症ですから段々年をとつてくれば皮膚の抵抗がましてなほつて來ます、毎日洗面時などに冷水でよく摩擦をするとずつと皮膚の抵抗がつよくなります。夏になつたら漸々冷水浴でもやつて皮膚をおきたへなさい。(辻慶太郎)

何かほかに病氣があるのでせう

(氣に病む女)
【答】帶下は姙娠の兆候にはならないので恐らく何か他に病氣があるのではないでせうか、勿論姙娠すれば幾分帶下が多くはなりますけれども、帶下が多くなつたことが必ずしも姙娠の兆候とは限りません、何れにしても一度專門醫の診察をお受けになるやうおすゝめ致します(岩男其二郎)

姙娠の兆候か斯んな帶下

【問】昨年四月四度目の出產をした母でございます、十二月はじめ月經を見、それぎりで月經はなくて二月一日から五日間程玉子の白味を水で薄めたやうな無色な下りものが月經の樣に澤山下りました。昨年の夏も一度こんな事がありましたが別に苦痛もなく、只今では下りものはありません。姙娠の兆候でせうか、それとも何處か惡いのでせうか。

勉强するご眠くなる學生

【問】一學生ですが近頃勉强をはじめるとすると直ぐ欠伸が出て眠くなり勉强の能率が上りません。といつて遊んでゐる時には別に眠氣も催しません。それで夜も充分睡眠をさる事にしてゐますがどうもねむたくなつて仕樣がありません。何卒眠らないのでせうか、何卒眠くならない法を敎へて下さい(一學生)

室溫を高くせず飽食、暖衣を避けよ

【答】嗜眠症は神經衰弱の徵候の一つにもありますが外に記憶力又は理解力などの減退が伴へば神經衰弱かも知れません。普通は七八時間熟睡すれば健康には差支へない筈です、嗜眠を防ぐには餘り室溫を高くしないこと(F五十五度乃至六十度)飽食、暖衣を避けることが必要です。時々室外に出て手足の運動や深呼吸をなし精神の轉換や血行をよくするとも必要です、勉强するといつてものべつに机にかじりついてゐては能率があがりません。遊ぶ時にはよく遊び、新しい精力と明瞭な頭腦とを以て勉强にかゝつたら注意力を集注してやれば眠氣など起りますまい。服藥は避けた方がよろしく淡茶でも用ゐて腦を一時的に刺戟するのは別に害ありませんがあまり長時間連用したりしますと却て腦をわるくしたり胃を害したりする事があります(土井三郎)

味の素を使ふとき

◇…味の素を入れて味がよくなるといふのは味の素の原料である小麥中の蛋白質(わけてもグルタミン酸とアミノ酸)の作用なのです。此蛋白質は熱に會ふと變質しますから味の素を入れてから長時間煮ては何の役にも立ちません。必ず下し際か火から下してから入れること。なほ少量の鹽を加へると一層よく味が利きます。あたゝめなほす時は又新に加へないとだめです

山葵を利かすには

◇…山葵は葉の附根の際が一番よく利くのですから矢鱈に切捨てたりしないやう、卸す時には葉附の方から卸すやうにします。卸し金はなるべく目の細いのを用ゐ圓を描くやうにまはしながら性急に擦れば粘りが出てよく利きます。これを更にまな板の上にのせて庖丁の背で敏頭性急に叩くと一層辛くなります。

◇…大根も山葵と同樣に性急に擦れば辛味が出ますから辛いものが欲しい時は性急に、あまりひどく辛い大根はゆつくりと卸すやうにすれば辛味が緩和されます。

豆類を煮る時は

◇…豆類を煮る時は先づ豆をよく洗いで淸水にやはらかになるまで浸して置き、その水で煮ます豆の蛋白質は冷水に溶けますから浸し汁を捨てると多分の蛋白質が失はれます、又この蛋白質は熱に會ふと凝固し易いから水から入れて漸次熱を高め弱火ではじめから熱湯に入れたり強い火で煮たりしますと蛋白質が直ぐ固まつて到底軟かく煮えません、砂糖、鹽、醬油等の調味品は氣永く煮ると軟かに煮えますが必ずよく火がとほつてから入れ短時間に煮上げることです。

母性禮讚 (一)

日本橋小學校長　越智末一郎

國母陛下 の御誕辰を祝し奉る爲に内地では全國的に母の日なるものを催し、母性禮讚の一大運動を擧行するとの事であり當地では滿洲社會事業協會、婦人團體聯合會、滿鐵、市役所などが協同主催で母性禮讚運動の擧があると承はつてゐるが洵に結構な事で、國母陛下の御記念日に母性禮讚運動は實に善い企てゞあると思ふ、私は過去十年來口を開けば母について語るといふ程に母の問題には寧ろ神經過敏だと言はれる程に關心を持ち來つた譯で此お催しを心から贊助してゐる次第である

嘗て東京 兒童學會で…生が集まり各自の記憶の一番古いものは何かといふ事を語りあつた、それによると人間の記憶といふものは大體に三四歳位まで遡る事が出來るらしい、そして何れも申したやうに母についての思ひ出が多數を占めてゐる、之れは母に關する記憶といふやうなものが多數を占めてゐる、之れは母の偉大性を語る一證であると思ふ、字源といふ字引を開いて見ると「母」といふ字は女といふ字を上下兩方から合したもので、其中に點々が二つ書いてある、此二つの點が何を意味するかといふに字引は、それは乳房だと云つてゐる、單に乳と云はないで、乳房と云つた事に深長な意味がある乳なら女ばかりが持つてゐるのでない、男にもついてゐる、然るに乳房と言へば子を產んだ婦人に限られてゐるのである。

凡そ乳房 といふものは母親特有の名譽ある表徵である母親が子供に授乳してゐる時、子供は一方を口に銜みながら他方の乳房をかへでの樣な手でシカと擁んでゐる光景を見受ます、これは實に子供が其の乳房に對する貴重な愛着を示すもので、乳房は實に子供の生命であり、子供が母親に對して無限の思慕の情を寄せる所以のものも實に此の乳房に對する愛着の心から來て居るものと言つてよからう、乳房は正に天與の寶冠であつて、世に斯くばかり貴く有難いものはない、然るに近來大都會の婦人などには此の婦人の寶冠たる乳房をなるべく大きくしない樣に、又折角の大きな立派な乳房を成るべく隱す樣な事をして一種特別な婦人美を創造しようと焦つてゐるやうな不心得な者も少からずあるといふ事だが、どうも困つた世の中になつたものだと思ふ。どうか世の母たる人々が其胸間に懸る乳房の美を誇る樣になつて欲しいものだと思ふ、「子を思ふ母の心はやれごろも身にまとひてもいとはざりけり」と云つた樣な心境を世の若きお母さん達がお失ひにならぬ樣望んで止まぬものである。

日本では 昔から女を卑しいものとしてゐた。稍月並式だが「弱きもの汝の名は女なり」とか「ナニ女風情が……」とか「葷酒、女人山門に入るを許さず」或は「女人禁制」などいふ宗敎から來た女人排斥思想も手傳つて女性を賤しんだ事は事實である。然しながら今日では漸次女性を尊重する樣になり、昔の樣に一概に「女、女」とさげすむ事が出來なくなり、女の字の下に子の字をつけて女子とか、女性とかいふ言葉を用ゐる樣になつた。

兒童學が 最近に至つて進步した結果、母の價値が著しく高められ「母性」といふ言葉が頻りに用ゐられる樣になつた、此言葉は二十世紀の祕蹟エレンケー女史が「母性の復活」といふ本を書いたのに始まると思ふが、我國女子敎育の目標の變遷といふ事から見ても此點が著しく判ると思ふ、

ミツタンとポンコ　センソウノマキ
(34)　橋本清史案並繪

キレタパラシユートガ、ニホンゴウノソバヘ、トンデキマシタ。ヤクニタツカモシレナイカラ、ヒロツテオカウト、ポンコハテチノバシマシタ。

カゼニ、フカレテ、トンデキタパラシユートニ、ツカマツタノデ、カラダノ、カルイポンコハ、パラシユートト、イツシヨニ、トバサレテシマヒマシタ。

ダンダン、アガツテ、ユキマス。「ミツタン!ミツタン!」ト、タスケテ、モトメテキマスガ、プロペラーノ、オトデ、キコエナイノデス。

ヤウヤク、カナシイ、ポンコノコエヲ、ミツタンガ、キキツケタトキニハ、モウ、ダイブン、トホクヘ、ポンコハ、フキトバサレテヰマシタ。

我らの生命線 滿洲の衞生々活 (中)

醫學博士　松浦有志太郎

滿洲の土地風土氣候等の自然は信頼すべき專門家が提唱せらるゝ如く、甚だ勝れたる健康地でありまして、肺結核療養地としては日本内地よりも遙かに好適地である事は疑ひなきところと信じます。この健康地をば恰も恐るべき不健康地であるが如く思はしむるに至りしは全く從來の在滿同胞の衞生生活振りに衞生上正しからざるところ多きが爲であらうと思ひます、而してその正しからざる衞生々活は、いつも多くはその正しからざる經濟生活卽ちゼイタク濫費の生活に原因してゐるのでありまして、これは併しながら又正しき衞生々活に關する知識の缺乏からこの如き不經濟なる生活をなすに至るものでありますから正しき衞生々活に關する知識を先づ會得して、これを實行に移しさへすれば正しき道德生活も、正しき經濟生活も求めず責めずして自から達する事であらうと思ひます…修養と、養生と、儉約と、名は三つであつてありますけれども其實體は一つであつて離れないものであります、故に衞生々活の不合理をさへ先づ正しくするならば、すべての方面が期せずして正しく強くなるのであります

滿洲における室内衞生の不合理

冬期における密閉生活と、高溫生活が衞生上甚だ不良のものである事は、今更申す迄もない事でありますが、遺憾ながら滿洲におきましては此の衞生知識が甚だ等閑に附せられて、學校、役所、病院、倶樂部、私宅、列車内等において隨分と多くこの高溫及び密閉生活が行はれてゐるのを見るのであります。これは第一は衞生知識の缺乏から無暗に寒さを恐れる事、第二は石炭の濫費を何んとも思はぬゼイタク心の增長、又は見榮心からも來てゐるのであらうと思ひます(假くしておきたいが御客樣があつた時ケチだと思はれる)

◇……◇

一體室溫は攝氏十五度(華氏六十度)と規定されてありますが、これは最高限度と認むべきもので、下はまだ下つて攝氏十度に致しましても慣れゝばそれで十分で氣持ちよく仕事の能率も一番よく擧るのであります、その他夜間就寢中又は健康增進のため呼吸器病者の爲にはまだ〳〵室溫は下げて何度、何十度と下げても差支なく、却つて歡迎さるゝ所であります

◇……◇

然るに滿洲の上記各所におきましては華氏七十五度位は通例で八十度も珍しからず、甚だしきは八十五度九十度近くに上ぼしてゐる所さへもある位で、おまけに戸や窓は二重で密閉してあり、實に恐るべき不衞生狀態でありまして、滿洲は全く人工的に不健康地を製造されてゐると云ふも過言ではないと信じます、肺結核患者の發生甚だ多いのも主として此の石炭ゼイタクに基因する事と思ひます

◇……◇

これに反して支那人のおんごる住宅はその衣服と共に理想的安價の防寒をなし、通風も十分にして最も衞生に適してゐるのであります若しも日本人が此の支那の防寒原則をよく諒解してこれに學び習ふならば、我同胞の健康狀態は大に改善される事が出來やうと思ひます

二月 衛生ごよみ

かぜ 惡寒は風邪を引く前兆ですから無理をしないようにし、風邪を引いたら大蒜を擂り卸してオブラートに包んで服み一睡みして汗を取る様にすると治ります

ぜん息 ぜん息や子供の百日咳は灰燼にしたにんにくに味噌をつけて喰べると奇妙に效きます。去年の暮からヂフテリーが非常に流行してゐますから子供の咽喉や鼻に異狀があつたらにんにく療法を施すと共に醫師に診て貰ふ必要があります。

腹痛 普通腹いたは不消化が原因となるものですが冷えて痛む場合もあります。いづれの場合でもにんにくを用ひるとピタリと痛みを止めます。其他冬の色々な病氣ににんにくの效用はよく知られてゐますが臭いのと辛いので女子供や神經質の人は到底用ひられません併し、文化の今日態々臭いにんにくを喰べるのは野蠻な話で完全に無臭で生にんにくより何倍も效くオセロが發明されてゐますから、にんにく療法は至極便利になりました。

寒さに弱い人は 榮養と内分泌が足りない證據

▽…胃腸の賦活とホルモン
▽…促進が耐寒征病の基礎

何枚重ね着をしても、寒さに慄え身體の平たくなる程夜具を重ね、寢爐を兩傍に入れても小便ばかり催して、夜分熟睡出來ない人がよくあります。――風邪、喘息など常に病魔から解放される事の出來ないのは斯うした寒がりの人々に多く見受ける所です。嚴冬の頃、暖かいとは云へないまでも普通の防寒衣服で、寒さが凌げない身體には、外部からの防寒では及ばない生理的缺陷があると見なければなりません。

寒さに、甚だしく抵抗力のない人は生理的に調べて見ますと殆んど大部分は榮養の缺乏を來してゐます。

榮養とは、脂肪、蛋白、含水炭素、ビタミン、鹽分、酵素など普通に知られた

★…**熱量**（カロリー）に變化される物質を始め、燐素、有機燐素、アルカロイド、カルシウム等腦や神經系の養素にいたるまで、凡そ人間の生存發育の原動力を離ず爲に必要な一切の要素を指すもので、之は日常食物を胃腸が消化し吸收する事に依つて得られるのです。

ところが、胃腸に故障があると折角食物（榮養素の豐富な）が攝取されても、完全な

★…**消化** 吸收が出來ず必要とするだけの榮養が取れないから榮養缺乏となるのです。

金に屈托のない富有階級に榮養不良者が却つて多いのは滋養食を喰べないからでなく喰べた滋養食が弱い胃腸を單に通過するだけで、身にも皮にもならない事が原因するのであります。

榮養の缺乏と共に身體を衰弱させるのはホルモン分泌の不振の證據です。ホルモンとは

★…**甲狀**腺、胸腺、松果腺、副腎、膵臟、肝臟、睾丸卵巢等の內分泌機構から分泌される不可思議な液體で、是が血行に混じ循環することによつて精力が發生するのであります。

若年で早老狀態を呈したり、抗病、耐寒力が極めて稀薄な人は此のホルモン分泌が意の如くならない人に限られてゐます。

胃腸の賦活とホルモンの促進が耐寒、治病、不老強精の基調となる事は前記の如くでありますが、之を實現するには何が一番適當でせうか？

恐らくそれは一年中で今が最も理想的な快適期と言はれる『にんにく療法』であります。

病體をポカく溫めながら強化する―― にんにくの藥

にんにくを一度でも生食した經驗ある人は、腹の中が燒けて終ひそうなあの強烈な保溫力を御存知でせう。あればにんにくの主成分をなす硫化アルリールといふ揮發油性の主成分が胃腸で發溫作用を起す爲ですが、鼻をつく惡臭で二度と喰べる氣にはなれますまい。

にんにくが燐素、アルカロイド、ビタミン、鹽分、有機燐素、酵素など現代醫藥中の有名榮養素を綜羅して含有するに拘らず一般から嫌はれてゐたのは一に惡臭の甚だしい爲でした。

×

然るにオセロ榮養化學研究所といふ我國唯一の專門的にんにく研究機關で多年研鑽の結果、人爲的には困難視されて居たにんにくの惡臭抑除法が發見され、生にんにくより、遙か效目の優れた『オセロ』と稱する無臭にんにく劑が創製され、臭ひの爲敬遠されて居たにんにく療法は俄然、醫藥界と云はず、民間と云はず異常なセンセーションを捲起すに到りました。

×

病體をにんにく特有の保溫力でポカく溫め乍ら胃腸を強化しホルモン分泌の激增を促して胃腸疾患、便祕、下痢、感冒、結核咳息、精力缺乏、神經過勞などの病氣症狀を一掃するオセロの藥能は今や風靡的な早效劑として好評嘖々たるものがあります。

オセロは一二〇粒一圓廿錢、二二五粒二圓、四五〇粒三圓五十錢、德用五圓、十圓、直送希望者は藥價だけ東京銀座一ノ七オセロ洋行（振替東京七五〇〇三番）へ送金すれば送料無料で送藥されます。

試用藥と說明書贈呈！
全國的に有名なオセロが絕對に惡臭なくしかも效目が生にんにくに遙か勝る點について實際にお試めし願ふ爲オセロ洋行より試用藥と說明書を無料で急送いたします。御希望者は今直ぐ御申込み下さい。

衛生口錠

一金貳拾萬圓也提供

（カオール定價拾錢包 貳百萬個にて）

カオール發賣卅五週年記念事業として愛用者諸君と協力し一大『國民保健運動』用の爲

カオール拾錢包を洩れなく進呈致します

此の運動に御參加の御愛用者は

一、カオールの効能書を御熟讀の上、定價廿錢以上のカオールに添付の効能書を 東京市日本橋區水天宮前本舗 株式會社安藤井筒堂藥品部保健運動係宛お送り下さい
（開き封にして二錢切手貼付、住所氏名、明記のこと郵税未納、不足は受付ません）

二、すると本舗は直ちにカオール十錢包をお送り致します

三、其カオールを受取つた方は先づ親しい方々へ數粒づゝ差上げて
イ、病氣にかゝらぬやう
ロ、病氣の主なるものは口より入ること
ハ、口より入る病を防ぐために汽車、電車、その他人込に居る時、外出の時飲食の後にカオールを口中にする事
等、其他保健 衛生に御氣付の點を御說明願ひます

斯く皆樣の御盡力に依り一般保健衞生の思想が高まり、人生最大の幸福を得られる譯です是非御協賛を願ひます

カオールの配劑と其効用

製劑顧問 ドクトル 松尾道

一、口中殺菌劑を配合す
從つて空氣又は飲食物と共に口腔より侵入し來る黴菌、例へばチブス、コレラ、流感、結核菌等その他の病菌病毒を口中に於て完全に殺菌し、依つてこれ等傳染病を豫防す。

二、健胃整腸劑を配合す
從つて胃を健全にし、且その消化力を亢進し食慾を增進せしめ下痢、腸カタル等に整腸劑は殺菌劑と相協力してこれを治療す。

三、興奮劑及强壯劑を配合す
從つて心身の疲勞沈衰したる時には各機能を興奮せしめ氣力を回復旺盛にし。健胃劑と相まつて肉體の强壯を計らしむ。

四、清凉劑及美音劑を配合す
從つてその特有の芳香により口中の惡臭、惡穢を除き、祛痰劑は咽喉の乾燥を潤し、音聲を美化し從つて精神を爽快ならしむ。

◎故に皆樣の保健の爲に
◇惡疫流行の時 ◇飲食の後
◇他人に接する時 ◇汽車電車に乘時
◇執務勉强の時 ◇遠足運動の時
◇口中の臭き時 ◇酒肴を召上る時
◇禁煙を望む時 ◇音聲を使ふ時
◇氣分惡しき時 ◇疲勞したる時

カオールの二三粒を口中されたし、本劑を口に含めば、マスク、ウガヒの必要なきと同時に心身を爽快にし、胃腸を健全になすの効あり

◎本日より直ちにカオールの御常用をおすゝめ致します

▶定價と容量◀

品名	定價	容量
袋入	（十錢）	百粒
同	（二十錢）	二百五十粒
ポケット容器付	（三十錢）	三百粒
丁字形容器付	（三十錢）	三百粒
御勾玉容器付	（五十錢）	五百粒
鞘形容器付	（五十錢）	五百粒
德用瓶入	（五十錢）	八百粒
同	（一圓）	二千二百粒

本舗 東京市日本橋區水天宮前 株式會社 安藤井筒堂藥品部

新發賣 光輝茶金石製 美術容器

五百粒入 金五十錢

東北震災後報

海岸に漂着してる食物を拾つて喰ふ
生き殘つたものは飢餓に瀕す
悲慘な唐丹村を訪ふ

【釜石四日發】釜石署管内の死者三百五十名を出し罹災者最も多かつた氣仙郡唐丹村を見んと四日朝唐丹村大字本郷に入ると半倒潰の家屋から老人が身體を起し「よく來て呉れた」と記者に泣き縋る、この老人は娘が津浪に浚はれたのである、約百戸の部落二戸だけ殘し荒野と化した、一家全滅の家が十五戸あり、彼處此處死體が轉がつてゐるのも悲慘だ、約七百の部落民中生存者は二百六十名に過ぎない、死體は大半行方不明だ、更に小白濱部落に入ると信用組合、岩手銀行支店等目慶い建物は跡形も無い、此處は水面と五十尺の大津浪が同部落の三分の二を見舞つたのである、負傷者は釜石病院に收容してゐるが醫療品が缺乏し、食物が配給されぬものは海岸に漂着してゐる食物を拾つてゐると云ふ悲慘な有樣で生き殘つてゐる者は全く飢餓に瀕してゐる

内務省救濟對策
四日の閣議に報告

【東京四日發】内務省は三陸地方の震害救濟對策のため、三日午後八時半飛行機で現地被害狀況の視察を遂げ歸京した石井事務官の報告を得て、警保局を中心に土木、社會、衞生各局において罹災民救助保護並に震災復興對策につき協議の結果、四日の閣議に内務大臣から報告すべき實地調査報告書を警保局で左の通り決定した

一、地方税減免に關する件　國税の納税減免に伴ひ地方税の減免も行ふこと

一、衣食住の物資供給に關する件　被害地關係の地方長官を督勵して救助基金を支出せしむると同時に、全國各府縣公共團體主體に義捐金の募集を行ひ糧食衣服の給與罹災民の救助保護に全力を盡すこと

一、治安維持に關する件　死者の收容、負傷者、病者の保護手當等罹災民の救助は關係縣警察部で軍隊、青年團、醫療班、赤十字社等協力して行ひ又暴利取締流言取締等治安維持に萬遺漏なきを期すること

一、復興復舊工事　家屋倒潰道路河川の災害復舊工事を急速に施行するは勿論、宮古、釜石各港灣の改築工事等についても災害復舊費國庫補助をなすと共に府縣支辨に依り改築を行ふこと

一、防疫に關する件　關係府縣知事の電請あり次第、防疫並に防疫官吏の増員を即時許可して被害地の防疫衞生萬遺算なきを期すること

兵士家族無事

【盛岡四日發】三陸震災に際し〇〇兵家族皆無事と岩手縣知事より發表された

救援派遣の艦船配備

【東京四日發】横須賀及び大湊より三陸地方震災救援のため派遣された驅逐艦その他艦船の配備狀況は左の如し

釜石　野風、波風
鮫角　帆風、沼風
久慈　太刀風
大槌　羽風
宮古　秋風
山田　雷

畏き邊りより御救恤金御下賜
宮内省職員も寄贈

【東京四日發】三陸地方激震被害に對し畏き邊りでは大金侍從を御差遣遊ばされる外特に多額の御救恤金を御下賜になるので宮内省四千の職員一同は他省に率先俸給中より義捐金を集めて贈ると共に衣類も寄贈することになつた、尚畏き邊りでは宮城、岩手、青森三縣下の社會事業團體に對しても救援事業の補助として御賜金の御沙汰ある模樣である

首相以下義捐金釀出

【東京四日發】政府は四日午後二時院内に臨時次官會議を開催三陸地方に於ける地震救濟對策に就いて租税の減免米穀の無償貸付低資の融通等につき種々協議し更に義捐金物資に就いては同地の慘害に鑑み總理三百圓各閣僚百圓宛を醵金し各省官吏も從來の例に依り俸給月額の五分以下醵金して罹災者救助資金に充てることに決定した

大公使見舞

【東京四日發】駐日各國大公使は四日正午内田外相を訪ひ三陸の震災見舞を述べた

成層圏

指紋て親子を鑑別

法醫學上、血液型が遺傳性を持ち親子鑑別の重要な役割を演じてゐることは既に知られてゐるが指紋もまた遺傳性を持つて現れてゐることが金澤醫科大學法醫學教授古畑博士によつて研究發表された、博士は指紋の出現が生物學的法則に從つてゐるとすれば、指紋の地理的分布にも必ず特殊の關係を示さればならぬとの見解によつて調査研究を重ねた結果、指紋にも明かに地方的差異が認められ、しかも身長、頭型、血液型の各分布とも一致したものゝあることが知られ、人類學上にも興味多い一劃期を作つた、我國法醫學界の大發見でもあり、一劃期を作るものと學界から期待されてゐる

賭博の記錄破り

東京城東區砂町署では數日前から南砂町二の二二五田中清次(三八)外三百數十名を檢擧取調べを進めてゐるが右は近來まれに見る大規模なチーハー賭博が昨年末から開帳され、一月の如きは數日間晝夜に亘つて開帳したことが發覺したもので、まだ續々召喚して居り全部取調を受けるのは四百名に上る見込みである、當局では大東京多數賭博の記錄破りであると此處數日中に取調完了と共に一件書類を東京地方裁判所へ送るが書類のみでも數萬枚に達する膨大なるものである

貧乏を裝ふ資産家

東京の白木屋大塚分店でアルミニユームの辨當箱、鎌倉ハム、牛罐詰各一個、ズックの運動靴一足、學生靴一足、學生カバンを萬引した男を巣鴨署員が逮捕、取調べてみると小石川區柳町伊藤方同居人伊藤喜四郎(五二)といひ昨年八月以來失業、生活に窮して妻子三名を郷里に歸し自分は三女くにゑ(一五)(某小學校二年生)と親戚の前記伊藤方に厄介になつてゐたが四、五日前からその娘が病氣になり大塚病院に入院施療を受けてゐるので慨れになり病院から薬を貰つての歸途、フラフラと惡氣を出したものと申し立てた、これを聞いて署員も大いに同情し調査して見ると失業など眞ッ赤な嘘で實はこの男、地所家作を持つてゐる資産家だが非常な守錢奴で金を出すのが惜さに萬引したもので、施療患者になりすまし着物までボロボロのものを着てゐたといふ飛んだ喰はせ者

北海道に怪猫奇譚

雪の北海道、怪猫奇譚……去る日稚内村に住む瀧口久吉(六七)といふ老獨身者の家が數日前から開かないのでコヂあけて見ると、久吉爺さんは飼つてゐた黒猫に大切な處をはじめ全身を食ひ荒され、紅に染まつて死んでゐる、その側に口のあたりを眞赤にして黒猫が眠んでゐた、怪猫は久吉爺さんが心臟痲痺で頓死後食物を與へるものがないところから飢ゑに狂つて主人を食ひ荒したもの

支那宿の臨檢で意外の大捕物
學良の手先を又發見

滿洲國擾亂の重大使命を張學良より授けられて密かに滿洲潜入を企てた東北偽勇軍の一味十四名は大連水上署の手で逮捕し、恐るべき彼等の大陰謀を未然に防止するを得たが、其後張學良の憎むべき魔手は依然として種々なる形で滿洲國に伸ばされ、不逞の徒の滿洲潜入を防ぐべくわけて滿洲の玄關口大連に於ける警戒は嚴重を極めてゐる折柄四日午後十時ころ市内奧町派出所員權野巡査が管内支那宿の臨檢を行つたところ、奧町某旅館に擧動不審の怪支那人四名投宿してゐるを突き止め特別警邏班の應援を得て踏み込み難なく取押へて取調べたところ、最初彼等は傲慢なる態度で係官に對し「我々は滿洲國遊擊軍總司令丁強氏より學良軍擾亂の重大使命を帶び五日出帆の船で天津に密行する途中である」と申し立て、滿洲國の證明を示せと問ひ詰められ途中證明書を所持することは危險であるから天津へ郵送してあると曖昧な陳述を行ふので峻烈な追究を行つた結果、四名中重だつた男は遂に包み切れず最近まで張學良の軍團長を勤めてゐた旨の重大なる自白をなし、偽勇軍の嫌疑ますます濃厚となつたので同署では俄然緊張し日本橋、敷島廣場の各派出所の應援を得て同夜十一時自動車で本署に連行留置し五日早朝取調べることゝなつた、即ち彼等はさきに水上署で逮捕された偽勇軍と一脈關聯ありと見られ、連絡を絶たれて陰謀の目的を達せず空しく天津へ引揚げる處であつたらしく、これを端緒に又も學良一味の陰謀が暴露するものと見られてゐる

張學良へ密通する國賊？毒瓦斯屋
主は即ち島德さん

【大阪四日發】大阪憲兵隊特高課中林中尉、課員松本軍曹は午前十時頃財界の巨頭大阪市東區高麗橋筋四丁目島德藏氏邸に到り長時間に亘り何事か調べる處あつた、右は同氏とその弟島定次郎を繞る奇怪な噂、即ち數日前神戸港より支那廣東行船で毒瓦斯の原料となるべき鹽を多量に密輸したもので同船は鹽を既に陸揚げしてゐる模樣である、尚は後援注文もあり買入に就き島氏より資金が提供されたといはれて居り此の點に更に奇怪な事件も潜んでゐると云ふ、嫌疑が濃厚となつたのは平時取引のないものが莫大な鹽を不當な價格で取引したに依るものであると、右に就て島氏は語る

私は調べを受けた事はない又そんな年寄な事はした覺えがない子分が多いから一々其の所買を知らず妙な噂を立てられて弱つてゐる

國賊を倒せ
國粹大衆黨騒ぐ

【大阪四日發】毒瓦斯原料密輸事件に關聯し島德藏氏が奇怪な嫌疑を受けて居ることを知つた國粹大衆黨は北支の切迫せる時局、日本國難來の聲あり國民が皇軍の支援に努めてゐる今日財界の巨頭が此の軍の武器を奪つて敵に與へる如き行爲を爲すは怪しからぬとし午後七時同黨川崎總務指揮の下に黨員十數名島邸に到り島氏に面會を求めたが拒絶されたので、いきり立つた黨員は「張學良の便衣隊島德藏」と大書せる大幟を門柱に括り付け「奸賊島德藏學良に毒瓦斯原料十萬噸を送る、起て國民」等と記せるビラを撒布して引揚げた

東京市疑獄で統計課長留置

【東京四日發】東京市疑獄に關連し三日午前十時より警視廳搜査課の取調を受けてゐた東京市統計課長古山利雄(三三)氏は公金横領の嫌疑濃厚で遂に同夜は留置された

卓球大會
けふ社員倶樂部

第四回滿鐵卓球選手權大會は滿鐵社員倶樂部主催、三月五日(日曜)午前九時より社員倶樂部大ホールにおいて開催するが滿鐵および傍系會社の精鋭を網羅したるものにて本選手權大會は全滿大會の觀あり盛況を豫想されてゐる、試合オーダー次の如し

▲個人試合(男子)
●不戰一勝者●
丸太(瓦斯)　横尾(滿電)
越山(瓦斯)　井上(中試)
橋本(工場)　土肥(瓦斯)
相島(埠頭)　岩崎(滿電)
田中(工場)　吉丸弟(中試)

▲個人試合(女子)
加藤倖(瓦斯)　小川(用度)
●不戰一勝者●
小宮山(本社)　上野(理試)
森永(理試)　池田(本社)
井上(本社)　植益(理試)

▲團體試合
豫備戰(總務部　消費2―築港
統計1　地方部
鐵經(審査)　吾妻
電話交換　用度
消費1　滿電
中試　旅館事務所
埠頭倉庫檢査　統計2
工場　瓦斯

フォード日本工場學良へ軍用車供給
積込船の航海阻止

【東京特電四日發】張學良の軍用トラック百臺はフォード會社神奈川工場にて製作され二日大同海運チャーター春丸に積載唐津港を出帆したが、日本海員組合では國民としての見地より同船乘組船員に對し「斷然航海を拒絶せよ」と無電を發したところ同船員一同から「軍需品か否か判明せず、取調べを待つ」との返電あり、四日更らに

積込の際すでに問題になつた軍需品であり積込を拒絶するが當然なり、日支および國際關係の實情に鑑み日本船および日本船員としての立場を守り速に高級船員と協議の上、天津着までに最後の方針をされ

と指令を發した、六日天津着までに船長が如何なる處置をとるかは此際頗る重大視されてゐる

文子歸京し問題解消か
楠黨の友情で

【東京四日發】結婚解消問題のヒロイン小野文子(二三)は三日午前六時三十分叔父島原武雄氏と共に東京驛着、人目を避けて父純一氏の知人牛込區内某氏宅に身を隱したが文子が父純一氏等に話した家出の眞相は結婚の當夜突然身體に生理的異狀を起したので俄に恐怖心に驅られ夫堀口氏に不快の念を抱かしめたところから前後を忘却して無意識に熱海ホテルを飛出してしまつたものである

一方純一氏の知人である某憲兵分隊長の親戚に身を隱してゐる堀口氏も全く自分が異性に對する無理解から問題を起したことを痛く後悔してゐる、小野家では堀口氏の諒解を求め改めて解消の話を戻すことになつた、倘文子が無事歸京することが出來たのは實家の女優鏡鎌の友情と要領の宜い手配に依つたもので關係者一同はこれに對し非常な感謝を捧つてゐる

出迎へませう名譽の戰傷勇士

五日午前八時四十分大連着

白衣の勇士大連驛到着

旅順において靜養中であつた古くは北滿から近くは熱河における戰鬪に不幸戰傷を負ひたるもの或は從軍中不測の病に冒された勇士等十八名は四日午後三時半大連着列車にて到着、この日は特に學生團體多く一般市民も悪道路にもめげず驛頭に殺到、市長代理間野助役、森本法院長、石井署長、山西滿鐵理事等多數知名士も顏を見せ、白衣の勇士等が靜かにプラットホームに立つた時、思ひなしか感激の涙が浮ぶ、一行は衞戍病院分院差廻しの自動車を驅つて關東倉庫に收容された、尚五日午前八時四十分着臨時列車で到着する〇〇名の傷病勇士等と共に六日出帆ばいかる丸で内地に歸還する

滿洲國歌をレコードに

滿洲建國一周年を記念するため國務總理鄭孝胥氏が作歌し同國文教部において選曲したる「滿洲國歌」は擧てその普及を圖るためレコード化を計畫して居たが今回東京日本ポリドール・レコード株式會社の手によりて製作し大々的に賣出される事になつた、同社の製品は總て純國産で而も優秀品として舶來品を凌駕するものといはれて居るだけに一般の好評を博するだらうと見られて居る

社會政策講習會

東京協調會社會政策學院では來る四月四日より七月十五日まで第三十一回講習會を開設するので之れが講習生の募集かたを大連民政署に依頼して來たが資格は年齡二十歳以上中等學校、高等女學校卒業または之れと同等以上の學力ありと認むべき者で講習科目は哲學、法政經濟、社會學、財政學其他二十五科目、講習料は全期間を通じ十五圓である、希望者は十五日まで民政署地方課に申込まれたしと

マイクを通じ母への感謝
◇地久節に母の會

明六日の地久節には大連に於いて母の會を催しラヂオ放送を行つて母への感謝の意を表するが、大連に於いては昨年までは母の會は皇太后陛下の御誕生日たる六月二十五日に行つてゐたが、本年は日本内地からの申し出によつて内地同樣母の會を地久節に行ふことゝなつた、大連では準備整はなかつた爲め取敢ずラヂオ放送だけを行ふことゝしたが母の會はこのほかに世界共通に行はれる五月第二日曜のマザースデイがあり大連においても母の會を一定する必要あり近く社會婦人團體會議を催した上滿洲における母の會を前記三日のうち孰かに決し、來年より盛大なる母の會を年中行事とする筈である

股火は毒

四日午後四時五十分頃市内沙河口元町百廿二番地滿鐵々道工場臨時雇津山元吉(四二)方から煙を吐いてゐるを附近の者が發見、大連消防署員の出動で大事に至らず消止めたが、座敷の眞ン中に津山が腹部を黑焦げに燒けて無殘死亡してゐた、原因は七輪股火でガス中毒

今日の運動

▲午前九時より星ケ浦水明莊リンクにおいてスケート納會
▲滿電ラグビー　午後二時から大連グラウンドにて對大連商業

安樂椅子

似た者夫婦といふが、滿鐵の新設二機關の首腦者である宇佐美、伊澤の鐵路總局正副局長と、佐藤、田邊の鐵道建設局正副局長ほど酷似したものもあるまい

◇

宇佐美局長も伊澤次長も久しく鐵道省の飯を食つてから滿鐵に入つた人で、緻密な頭腦から眞族的な趣味までそつくりであり從つて仕事にかけては一倍の利け者揃ひ

◇

これに反して佐藤局長と田邊次長は、滿鐵子養の社員だが、いづれも久しく沿線にくすぶつてゐて、本社にはほとんど名前も顏も知られなかつた田舎士、しかも土木屋專門なので滿鐵には珍しい野人でヌーボーと來てゐる

◇

流行の洋服をかつちり着こなした宇佐美さんと、だぶだぶの洋服に特大の靴をバッタンバッタン引きずる佐藤さんとが並んで歩く姿を見て、若い滿鐵マンが「事務屋と技術屋のサンプルが歩いてゐる」と感心した

海と空と（129）

高杉晋一郎作　橋本清史畫

明暗（十七）

十一時を過ぎてゐたが、まだ客は相當立てこんでゐた。

駱山は入つて來ると一通り店中を見渡してから、一番隅のボックスが空いてゐるのを見て、そこへ入り込んだ。

ボールはわざと直ぐ立つて駱山の卓子へ行つた。

「いらつしやい。今日はお一人？」

「うん、一人だ」

駱山はろくろくボールの顔を見もしないで答へた。もう何處かで幾らか飲んで來てゐるらしかつた。一寸顏色が變にも見えたが、それもさう思へばの程度だつた。

「御注文は？」

「ジン」

「ジン？」

矢張一寸いつもと違ふとボールは思つた。駱山はいつもウヰスキーで、ジンなど飲むことは滅多になかつた。常客の注文の癖と云ふものは一寸注意の屆く女給には直ぐ覺えられるものである。

ジンの盃を運んで、心中で二三度躊躇してから、彼女はそこへ腰を下した。

「何處で飲んで來たの？」

駱山はじろつとボールを見た。變な眼だつた。

「飲んで來たやうに見えるか？」

「そりや分るわ」

「………」

いつものやうに輕口も叩いて來ずむつつりそのまゝ默り込んだ。

「外、まだ降つてる？」

「止んだ」

「さう」

丁度向ふの先刻の卓子からボールを呼ぶ聲がしたのを幸ひに彼女は立上つた。矢張變だと思つた。然し亂暴しさうな樣子でもない。

彼女は暫く呼ばれた卓子で相手をしてゐたが、流石に氣にかゝるので、ひよいと何氣なく立つて、今度は駱山のボックスから四番目の卓子へ行つて、そこで喋つてゐた八重子の傍にかけた。

「ようよう、マドモアゼルボール」

そんな事を云つてそこの藝術家風の若い男は、早速盃をさしたりした。ボールは機嫌よくそれを受けながら、默つて部屋の中央の柱鏡に眼を遣つた。それは曾て義が見つけたあの大きな四角柱の腰全部へ箝めこんである鏡で、そこから丁度、隅のボックスが見える筈であつた事を、ボールは覺えてゐた。

果して駱山の姿はそつくりその鏡に寫つてゐた。彼は獨りで、部屋の客の顏を物色しながら、ちびちび盃を舐めてゐた。此方から見えれば向ふからも見える筈なので、ボールは餘り見ないやうにしながら、八重子と青年の話の間へ巧に茶々を入れたりして、時々ちらちらと注意した。

彼女は電話の主を誰だらうと思つて見た。きれぎれではあつたし何にせよ電話の聲は通常の聲と全然違ふ人もある事だし、唯太い聲とだけ分つたが……だがその聲の眞劍だつた調子を思ひ出すと、彼女は八重子の卓子からもう離れなかつた。

さうして時間が經つた。

十二時近くなるとぼちぼち客が歸り始めた。それでもまだ殘つてゐる連中は、今度は腰を据ゑて飲む連中で、歸る客の歸つた後、また暫く客出入が絶えて來た。駱山の卓子へは他の女給が坐り込んで話してゐた。

何かお冷でも命じたらしい。駱山の相手をしてゐた女給が奧へ立つた時だつた。ボールは再び鏡へ視線を送つて、ぎよつと胸を衝かれた。正確に眞横から映つて來る卓子の下で、駱山の手が黒いものをまさぐつてゐた。何かそれを手探りで調べて見て一渡り撫で廻してから、安心したやうに再びそれをズボンの後ポケットへ返さうとした時、それが電燈の影に當つて輝いたピストルであるのが見えた。

ボールはさつと立上つた。

同時に駱山も立上つた。

第十八回 滿日特選碁戰

先　中村勇太郎（三段）
　　坂口常治郎（初段）

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ

一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

—【3】—

●四一トの九　○四二ホの九
●四三への九　○四四ホの十
●四五ロの十四　○四六ロの十
●四七ホの十六　○四八ニの十六
●四九への十六　○五〇ヨの十八
●五一タの十八　○五二カの十九
●五三レの十四　○五四レの七
●五五レの六　○五六タの七
●五七ヨの六　○五八ヌの十七
●五九ホの十八　○六〇ニの十八

對局者の感想

白曰く　四十六は方向を誤つてゐます、兎に角れの四に綿込んでみるのでした

黒曰く　黒の四十七、四十九もつまらなかつたやうです、五十八の點に拓いてゐる方が優つてゐました

白曰く　五十、五十二の手でもへれの四に綿込むのでした、如何に變化しても白が惡くなかつたと思ひます、黒に五十五、五十七と圍はしたのは大變な失態でした

けふの放送　大連 JQAK　三月五日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前十時　新譜レコード（ビクター）
▲午前十一時五分　熱河戰況實感放送（奉天より中繼）
▲午後零時十分　ニュース
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時　一、ニュース（以下内地中繼）
▲俚謠（六時三十分）（一）「湯河原小唄」三味線濱路、唄榮子、同壽惠子、同由良子、同〆奴、同恒吉、小鼓のんき、大鼓おかめ、太鼓小三郎（二）「藤本小唄」唄濱路三味線、恒吉、同由良子、同榮子、同おかめ、同小三郎
▲映畫物語（六時五十分）中村磐波、伴奏指揮島田晴譽
▲人形淨瑠璃（七時三十五分大阪文樂座より中繼）「壇の浦兜軍記阿古屋琴責の段」畠山重忠竹本文字太夫、遊君阿古屋同南部太夫、岩永澤左衛門同鏡太夫、榛澤六郎同陸路太夫、三味線野澤勝平、ツレ彈鶴澤友二、胡弓同綱治（以下大連放送局より八時三十一分）
▲ニュース
▲氣象通報

あと千年もたてば 北極や南極の氷もとけ

地球はたいへん暖かくなります

もう一千年ほどたてば地球はもつと〳〵よい氣候になつて住みよくなるとアメリカの名高い氣象學者ウヰルソン博士が發表しました、それによりますと地球は何べんも冷たくなつたり溫かくなつたりしてゐる、今は恰度何萬年か前に地上一切のものが凍つてしまつた氷河時代の終らうとする頃でこれからだん〳〵と暖かくなつてくる、もう千年もすれば北極や南極の氷も次第に解けてしまふから氣象を左右する氷河もなくなつて大風なんかは決して吹かなくなるだらうし、お天氣もグツと良くなつて曇日も斷くなるといふのですがもう一千年もたてば人間はうんと賢くなつて、自由にお天氣を變へるやうな素晴らしい發明をしてゐるかも知れません

童話 飯進上と兵隊さん

土川卓郎

李さんのお家は寺児溝の石油タンクの向ふ側にある穴のやうな小屋でした、病氣のお母さんと今年五つになる妹の梅さんがゐるのです李さんのお家はもと安東で、お父さんが居た時は少しの畑をたがやして毎日幸福に暮してゐましたが恐ろしい馬賊のためお父さんは殺され、少しあつたお家のお道具もとられてしまひ、親切な日本の兵隊さんのお世話で三人はやつと大連までやつて來たのでした、しかしお母さんは心配がもとで病氣になり起きることができなくなりましたが、この可哀さうな李さんに同情する者は一人もなく、たゞ飯進上に出ることだけを近所の人が教へて呉れました、李さんは仲間の飯進上のやうに盜むことはできませんでした。

或る日、李さんがお家に歸らうとして、横町を曲つたとたん大きい籠にたくさんの品物を乘せた雜貨屋の自轉車が勢ひよく走つて來ても少しで李さんとぶつゝかるところでした「おい危い！」と荒々しくどなつて行つてしまひました李さんがそこを歩き出さうとした時足もとに玉子が一つ藁に入つて落ちてゐました。

「おーーい」と自轉車の後を追ひましたが自轉車の影は見えませんでした。

李さんはお父さんがよく卵をかへしてゐたのを思ひ出して梅さんと二人で朝と晩と交替で、一生懸命に溫めました。

すると二十日過ぎ頃それは〳〵可愛らしい黄色い毛色をしたひよこが殻を破つてピヨ〳〵と出て來ました、李さんのお家は急に明るくなりました、李さんは今までより一層飯進上にはげまなければなりませんでした。

或る日、李さんが病院のゴミ箱をあさらうと來た時白い服に赤十字のしるしを入れた兵隊さんが病室にゐるのを見ました。見たやうな兵隊さんだと立ちどまつてよく考へました。

さうだ！私達が安東でおそろしい馬賊にとらへられたとき一番先にかけつけて私たちを助けてくれた男ましい兵隊さんだ……とやつと李さんは思ひ出しました。

「兵隊さん！」大きい聲でよびましたが兵隊さんは氣がつきません李さんが右手を振つたのでやつと兵隊さんは氣つきました、暫くして小窓をあけ紙包を投げ、急いで窓を閉めました、李さんは悲しさうにお室を見てゐましたが兵隊さんの投げて呉れた紙包を開けて見ますと食パンの小片が入つてゐました。

李さんにとつては大變な御馳走でした、李さんは歸る途中兵隊さんの事ばかり考へてゐました、馬賊征伐の時彈丸があたつたのではないかと思ふとたまらなく心配になりました。

翌日また病院に來て窓から背のびしてお室を覗いて見ますと兵隊さんはベットに腰かけて煙草をふかしてゐました、李さんは今にも病院の中に驅込んで行きたかつたのですがどうしても中に入れて呉れません、李さんは仕方なく家に歸りました、家の近くまで來ると妹の梅さんが息をはづませながら飛んで來て。

「兄さん玉子を！」

「え？玉子？」

「大きいのよ」

大切にその玉子を抱いて李さんは翌日病院にやつて來ました。

「兵隊さん！」

大きい聲でよびましたが兵隊さんは見えません、仕方がないので病院の廻りをぐるぐると廻りましたそのとき煙草の吸殻を捨てやうと兵隊さんは窓を開けました。

「兵隊さん！」李さんはすべてを忘れて大きな聲で呼びながら窓のところまで立つて行きました、そして何度も何度も助けて貰つたお禮をいつて持つて來た卵を上げました、兵隊さんはキヨトンとした顔をしてゐましたが「有難う」と一寸頭を下げました、李さんは兵隊さんが受取つて呉れた事が何より嬉しく、新らしい卵を毎日々々病院に持つて行きました。

……★……

それからしばらく日がたつて、李さんがいつものやうに玉子を持つて病院へ來ると兵隊さんたちは軍服を着て列んでゐましたが驛へと行きました、驛には小學校の坊ちやんや中學校の兄さんたちが日の丸の旗や、滿洲國の旗を持つて並んでゐました。

さうだ！僕たちが苦しんだやうに苦しんでゐる正しい人たちを助けるため土匪を征伐に又奧地に行くのだ。

李さんは兵隊さんの乘つた汽車のところに行かうとしましたが「おい、どこにゆくのだ」といかめしい巡査に叱られてどうしてもホームは行けません。

汽車は「バンザイ」の聲に送られて動き出しました、李さんは汽車について赤と青のシグナルのあるところまでどん〳〵走つて來て「兵隊さん萬歲」と叫びました。

兵隊さんもこの李さんに旗を振りました。

「兵隊さん萬歲！」

汽車は白い煙を吐いて消えてしまひました、李さんは大きい聲でもう一度。

「兵隊さん萬歲！」

コドモマンガ 試驗！

試驗まぢかく もう死劍だ

エート エヂソンはなにを發明したっけ

玉子もってきてあげたわ

玉子の發明者は……いやちがった エヂソンはなにを……

イターイ ソソッカシイ 電氣ダ

なあーんだ わかったよ 電氣を發明したんだって ハハハハ

オキヤクサマガイラッシヤッタカラ イスヲモッテイラッシヤイ

ハイ

ドッコイショ！メンドウクサイカラ 一バンカルイ イスヲモッテユコウ

ドウゾオカケクダサイ

エー？！

幸

イタリー皇帝 皇室費をご儉約

國民と苦しみを共に

イタリー皇帝ビトリオ・エマニユエル三世陛下はまことに御質素なお慎深いお方です、今歐洲ではどの國も何もしないでブラ〳〵してゐる人が非常に多くなつてゐますが、おそれおほくも陛下には眞つ先に皇室の費用を大へんご儉約になつて正式なお出ましは外國のおつきあひのみに止めその上大切なお飼ひ馬まで十頭を殘して他はみなお拂ひ下げになつてしまひました、ムツソリーニ首相は陛下の御不自由な有樣を拜して皇室費をおふやしになるやう申出ましたところ人々が不況に苦しんでゐるのだから自分もその苦しみをともにしたいと仰せられてお許しになりませんでした、これを傳へきいたイタリー人は涙を流して感激しますく〳〵力をあはせてお國のために働いてゐるさうです

世界一のホテル

ロシアにできる

どこの國でも外國人の旅行者を接待するのに頭を痛めるものとみえて、今ロシアのレニングラードでは素晴らしく立派な歐洲一の大ホテルを建築中です、このホテルは客室が千幾つもあつてしかもみんな南向きで陽あたりがよいやうにつくられてゐます、さうしてホテルのお玄關からすぐお船にゆけるやう大きなトンネルもつけることになつてゐます、首都のモスクワにもこれと同じ大ホテルをつくる計畫で物資缺乏でなやんでゐるロシアがこんなに大奮發をするのも外國人の旅行者を集めるために一生懸命になつてゐるとがわかります

三千五百年前に齒のお醫者

三千五百年も大昔エヂプトやアッシリアには齒醫者があつた――とハーバード齒科醫學校の教授が面白い新學說を發表して興味を惹いてゐます、そのお話によると―アッシリア國の古都ナインブエーの廢墟から粘土板でつくつたその頃のカルテ（容態書）が發見されて王樣の齒を拔かれればならないと書いてあります、この頃の齒科醫は齒の治療といふよりも裝飾に重きを置いて宮廷の婦人などはダイヤモンドや黃金をつけた美しい齒を自慢にしてゐました

ヤサシイ マングワノ カキカタ

關セイ坊

ボツチヤン ヤ チヤウチヤン タチノ カイテ ミタイ ヤウナ ヱ ヲ ヤサシク ミナサン ニ カケル ヤウ ニ コレカラ ダンダン ニ カイテ ユキタイ ト オモヒマス。

ハジメ ニ ウンドウ ヲ シテヰル イロイロ ノ カタチ ヲ カキマシタ。

ツギ ハ ドウブツ デス。

ソレカラ ハ チヤツプリン ヤ オサルサン。

ハナ ヤ キシヤ ヤ グンカン ソシテ ヲトコ ノ ヒト ヲンナ ノ ヒト ナド ノ ヤサシイ マングワ ノ カキカタ ヲ ゴラン ニ イレマセウ。

○……○

ヱ ノ ウヘ ノ ハウ ハ ホネ バカリ ノ カンタン ナ セン デ カイタ ノ デス ガ ナニ ヲ シテ ヰル カ カカナクテ モ オワカリデセウ。コウイフ カキカタ モ オモシロイ モノ デス。

ウヘ ノ ヱ ニ ニク ヲ ツケタ ノ ガ シタ ノ ヱ デス。

シタ ノ ヱ ノ ムヅカシイ カタ ハ ウヘ ノ ヱ ヲ ミテ イロイロ クフウ シテ オモシロイ ヱ ヲ カイテ ミテ クダサイ。

セキセンセイ

ケフ カラ ヤサシイ マングワ ノ カキカタ ヲ オシヘテクダサル セキ セイバウセンセイ ハ モウ ミナサン ガ ゴゾンジ ノ ヤウ ニ、ミナサン ノ オトモダチ「マンニチ ニチヨウフロク」ガ デキタ トキ カラ オモシロイ コドモ ノ マングワ ヲ タクサン カイテ クダサイマシタ、コレカラ ミナサン ニ カケル ヤサシイ ヱヲ オシヘテクダサルサウデスカラ、タノシミニ マッテヰテクダサイ

いま日本は大切な時だ お互ひ心を引締めよ

正しい心とたゞしい行ひは必らず最後に勝つ

三月十日はおめでたい陸軍記念日です、日露戰爭が始まるまへ外國人は「日本がロシアと戰爭するのは大人と子供が角力するようなものだ」といつて笑ひました、しかし忠君愛國の日本軍は今私達の住んでゐる滿洲の平野を舞臺に大人のロシア軍をみごと打破つて大勝利を博しました

★……★

旅順敗れ、遼陽陷ち、沙河に敗北して散々な目にあひながら北へ北へと逃げ込んだロシア軍は四十萬の大兵を奉天に集めて最後の一戰を試みやうとしました、大山大將を總司令官とする二十七萬の日本軍は五十里の長い\〜戰陣をしいて二月二十六日から總攻擊令が下りました、敵味方七十萬の大軍が勝敗を決する有史以來の大戰爭です、敵の大將クロパトキンは開戰以來敗つゞけの恥を恢復しやうと必死になつて戰ひましたが忠君愛國の血にもえる日本軍にどうして叶ふことが出來ませう、川村大將の右翼軍と乃木、奧、野津といふ將軍らの左翼軍はぐるりと敵の逃げ道を斷つて完全に袋の中の鼠のやうに取圍んでしまひました、さうして三月九日には奉天の南五マイルの運河を挾んではなぐ\しい決戰の末つひに十日の拂曉ロシア軍を散々に叩きつけて芽出たく奉天を占領してしまひました、わが軍の死傷者七萬、敵の死傷九萬、二萬二千人の捕虜と五十門の大砲を分捕つて日本の大勝利となりました

★……★

これは明治三十八年の出來ごとです、かういふ大切な戰爭なので日本軍が奉天を占領した三月十日を陸軍記念日としてお祝するこことになつてゐます、この大會戰は五月二十七日の日本海會戰とゝもに日本の二大會戰で、もしこの戰爭のどちらか一つ負けでもしてゐたらわが國は今日のやうに盛んな國にはならなかつたでせう、幸ひにも天皇さまの御稜威とわが忠勇義烈な兵士の奮鬪によつて美事大敵を屠つて强國日本の礎をつくることが出來たのであります、しかしその時流した尊い勇士の血潮はこの滿洲の土に浸みわたつていつまでも\〜私達の足のふみしめ方を見守つてゐるやうです

★……★

それから二十九年のながい年月が流れてそこに新しい滿洲國といふ國がうち樹てられました、日本はこの新しい弟の國をどこまでも立派に育てなければならない責任があります、そのために日本はジュネーヴの國際聯盟で四十幾ケ國の勸告書を叩きつけて名譽の孤立國となりました、孤立といふのは一人ぼつちといふことです、然し日本が世界の孤立國とならうとも、經濟封鎖をされようとも、平氣で飽くまでも强くよいと信ずる正義の道に突進すればよいのです、正しい心、正しい行ひはどんなに孤立でも必ず最後の勝利を占めるからです、皆さん、考へて見ると日本は今ほんとうに大切な時です、併し非常な國難に臨んでゐます、これは私達日本の力を試すよい機會だともいへます、私達は擧國一致非常な覺悟と決心を以てこの未曾有の國難をみごとに突破せなければなりません、やがて日本から滿洲國から輝かしい平和の光が世界を照らすことゝなるでせう

三月十日はおめでたい 陸軍記念日です

これはおもしろい 兵隊さんのうつり變り

さ てこれから陸軍記念日に因んで日本武士がどんなに變り變つて今日の兵隊さんになつたか面白いお話をいたしませう、一番上の大きなお寫眞は滿洲事變のとき重機關銃で構へてゐる日本兵の勇ましい姿です、その次の右側に白い着物で弓を持つてゐるのは上古時代の武裝です、神武天皇が御東征になるときの繪をみたことがあるでせう、この頃にはもう鐵の兜や鎧が出來てゐました、弓は丸い木をまげて糸を張り矢先には石や銅や鐵をつけた色々なものがありました、毛皮そのまゝの靴をはいて上着とズボンにわかれてゐるなど一番古い頃の武裝が洋服をつけた今日の兵隊さんに一番よく似てゐるのは面白いではありませんか

そ の次の寫眞は立派な鎧や兜をつけて弓を射やうとしてゐます、勇ましいでせう、神武天皇の御即位から奈良朝、平安朝のはなやかな長い二千年もの年月が流れて源頼朝が一の谷で平家を破り、鎌倉に都をおいて武家政治の基礎をつくつたゞけあつて武士が非常な勢力を現した頃でしたから勇敢で一番よく働いた時代です、だからなか\〜綺麗な甲冑をつけてゐるでせう、その下に左にナギナタを持つて立つてゐるのは矢張りその時代の兵卒の寫眞です、大將は重い鎧をつけてゐますが、鎧が重くては華々しい戰爭が出來ないので兵卒はこんなに輕さうな武裝をしてゐます、烏帽子の下から鐵板で顔を包んでゐるのも珍しいでせう

次 はその右側のコワイ顔をした鎧武者をご覽なさい、お化のやうな鐵のお面に眼の穴をあけ、まツ白な髯をつけて見るからに恐ろしいつら構へです、應仁の亂で幕をあけて百年もつゞいた戰國時代の大將の服裝です、織田信長と今川義元とが雨のふる夜華々しく戰つた桶狹間の戰ひや川中島で上杉謙信と武田信玄の兩大將が一騎討をやつた戰爭つゞきの世の中でしたから大將の武裝までが顔を包むやうになつてゐます、鎌倉時代と總きが違つてゐることがハッキリと判りませう

今 度は右側の寫眞をみて下さい、上の方の細長い寫眞で鐵砲を持つてゐるのは矢張り戰國時代の兵卒の寫眞です、恰度その頃西洋ではコロンブスのアメリカ發見「四百四十年昔」で航海熱がさかんとなり、どんどんさまだ知られなかつた東洋方面にまで出かけてきました、たま\〜種ケ島に難船したポルトガル人が鐵砲を持つてゐたので、殿さまが澤山のお金を出してそれを買ひとりました、恰度今から三百九十年前のことです、これが初めになつてさし\〜鐵砲を輸入したので弓や刀でばかり戰つてゐた古い戰術は役にたゝなくなつてしまひました、さうしてお金持で鐵砲を持つ殿さまには叶はなくなつたので、流石に永い戰國の亂も案外はやくかたづいて豐臣が起り、德川がたつことになりました

今 度は丸い繪を見て下さい長い羽織を着て大小を二本さしてふところ手して活動寫眞によく出てくるお武士です、德川幕府になつて長い間の天下泰平になれて武士は自分の本分を忘れたやうに柔弱に流れてしまひました、元祿時代といつて一番華美な時代をみなさんは知つてゐるでせう、恰度大石良雄らの四十七士が主君の仇を報じた頃です

一 番左の下の寫眞は明治維新の官兵さんです、王政復古とゝもに舊來の習慣でも惡いことや不便なことはどん\〜改めるといふ氣風がさかんだつたので德川時代の武士とは見違へるやうになりました、まつ黑な三蓋羽織をつけて脚絆をつけ、草鞋をはいていかにも身輕な服裝です、鐵砲が一般の武器となつたゝめ重い甲冑はもう役にたゝなくなつてしまひました、その後明治五年十二月、明治天皇の詔があつて國民皆兵となり明治六年から徵兵檢査による新らしい今日の軍隊が日本に出來ました、その頃は鎭臺さんといつてすつかり洋服になり、西洋式な訓練を行ひ遂に世界中どこの國にも敗けない强い陸軍となりました

さ て斯うして古い歷史をふり返つてみますと今日の兵隊さんが上古の武士に似てゐたり、或は鐵兜や鎧のやうな防彈具を身につけるやうになつたのも昔に還つてゆくやうで面白いではありませんか

こどもの考へもの 第卅六回

人間を惱ます 夏出るいやなムシ

寫眞をごらんなさい、これはまた人にくらべてなんと大きな蟲でせう、實物はこんなに大きなものではありません、夏になると出て來て人間をこまらせる、いやなものです、サテ何でせう。おわかりになつたら來る三月十二日までにハガキで大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてお答へください、二十名に限りご褒美を差上げます

第卅四回の答 ジヨウマへ

第三十四回の考へものはジヨウマへ（カギでもよし）でした、相變らず當つた方が多いので、いつものやうに籤をひいて左の二十名にご褒美をあげることにいたしましたから大連市内の方は當籤通知のハガキが届き次第、本社においでになつてそれと引換へにご褒美をお受けとりください、沿線の方には直接お送りいたします

當籤者

▲大連山崎忠明▲同藤崎淑子▲同千本木芳子▲同石田順子▲同市來勉▲同北治子▲同岡崎繁男▲同荒木正實▲同小泉光次郎▲同寺島アキヨ▲同河口邦雄▲同神上眞逸▲奉天阪本尙生▲大石橋池田ミヨコ▲鐵嶺垣本榮子▲鞍山鈴木秀男▲旅順芦澤高治▲普蘭店八幡満都子▲新京四元フミ子▲新京多田武雄

なほ當籤者の方は是非ご褒美の中にある森永のミルクキヤラメルとチヨコレートの空箱をお菓子やさんの支那事變の「戰傷兵士を勞はりませう」と書いた箱の中にお入れください

熱河の上空征服

わが空軍の活躍目覺し

寫眞の說明

㊀風船を飛ばして上空の風向や風速を測定します
㊁飛行機に油を補給する補給車に揮發油を注入
㊂まさに裝備を終らうとしてゐる八九式機關銃
㊃出動を目前に控へて爆彈裝備中のところ
㊄いよ〳〵出動も近づき發動機の點檢
㊅重大任務につかんとする重爆擊機陣
㊆〇〇附近敵陣地の垂直寫眞を調製中の寫眞班
㊇〇〇方面における敵陣地に向つて出動したわが重爆擊機
㊈空から見た赤峰市街

落語 牛嫁

月の家圓鏡

さて〳〵人間はタチが悪い 牛の長便にちり立たす

お話も年々古くなりましてお聞きなさるお客樣方も又あの話か、あの話しに取付かれてゐるのではないかなどゝ申しますが、話に取付かれる譯はありません、然し間が惡いと一つ話しに出會ひます、先づ何にしても新しい事をお話したいものといろ〳〵苦勞してゐますが、智慧の無い上に不勉強ですから變つた事を申し上げることが出來ません、然し成るべく新しい味を出したいと小さな顏を痛めて居ります。

獸物の中でも牛は力が強く長い間の勞働に堪へます、昔は高輪の牛町に仙波太郎兵衛さんといふ方が大層牛を飼つて置きまして、これに荷をつけては運搬させましたノソリ〳〵と歩いてダラ〳〵〳〵涎を滴し重い荷を曳いて參りますそれにあの又獸物の小便をする間は却々時を要します、あの間飛行機ならば東京から靜岡位は行きます、高輪は十八丁ある、その間小便をしてゐる、風の吹く時なぞはこれがために塵も立ちません。

然し彼奴なか〳〵利巧で、今日は仕事に出たくないと思ふと、なんにも喰べません、喰べなければ疲れるから牛方も曳出さない、牛の方は謀計成就した、いよ〳〵仕事に出ぬと決つたならば藁と豆糟を喰べやうと恁う思つてゐる、スルト牛方は牛の心理狀態をよく知つてゐますから、この畜生今日はサボルなと思ひ、バタ〳〵〳〵小屋の戶を閉めて齒磨を水に溶しそれを戶に注ぎます。

牛「あゝ雨が降つて來たナ、夜上りだから長くは保つまいと思つたがさう〳〵降つて來たか、雨ならば仕事は出來ない、降れば休むと決つてゐる、それでは藁を食べてもよからう」

と茲で朝飯をすませる、それを見て牛方は戶を開けます、表は日が當つてゐる

牛方「さア畜生出ろ、橫着者め」

と叱りつける、牛は案に相違して

牛「これはしまつた、さて〳〵人間は性質が惡い」

と愚痴を云ひ〳〵重い荷を搬びます、物を喰べた以上は働くものと覺悟してゐる、シテ見れば人間より責任は重んじます、人間は働かないで食べることを考へてゐます、今の財產家は何もせずに甘い物を喰べて生きてゐる。シテ見ると責任觀念は牛にも劣つて居ります、所であの獸物は又不思議で水にも強い、海の中を渡つて步きます、東京震災の時には深川糧秣廠に飼つて置いた牛が火に追はれて海へ入り、その底をノソリ〳〵と步きながら上總の木更津へ上り四邊をキヨロ〳〵見廻して

牛「變な所へ出たナ、此處は何處だらう、サア判らねえ、俺のうしは何處だらう」

なぞと探してゐたさうです、ノロ〳〵としてゐるやうですが忍耐力は強い、それに又力もあります、神田明神樣の祭りの時は山車を曳いて九段坂を登ります、紅白の綱を捻つて鼻つ尖に結び付け角を振立て下目をつかつて前脚に力を入れるとあの高い目方の重い山車を曳上げます、牛は囃子が好きだから葛西の青年團が太鼓を拍ち笛を吹いて景氣をつける、牛はこれを聞きながら嬉しさうに九段坂を上ります、先年淺草橋を萬世橋まで搬ぶ時にこれを車につけ囃子をして牛十三頭に曳かせた、鐵の橋を牛が搬びました、大した力があるもので、又あの牛ほど無駄の無いものは無い、肉は食料となり乳は飲料となり、皮は武具になり又馬具になり、鞭になる、其他血は肥料になり腸は燒鳥になり、その上角は裝飾品となり爪は櫛などに化けます、骨は箸になつて象牙とごまかす、恁う勘定して來ると牛ほど大した獸物は無い、舌なぞは尤も美味で安い洋食屋では使ひません、タンシチウなぞと云つて贅澤な喰物、

古新聞は喰べにくい物だ 親の乳を呑むに苦情ない

○「オイどうした、大層顏色がよくないれ、病氣かな」

△「ウン、別段病氣といふ譯でもない、病氣ならば三井病院へ出懸けるが、身體には異狀は無いが日増に衰弱してどうも勇氣がなくなつた」

○「ヘエー、病氣でなくどうして衰弱する」

△「食料缺乏の爲、早く云へば滋養が不足した」

△「胃が惡い爲に食べられないのか」

△「イヤさうでは無い、胃は頗る健全、健全だけに一層苦痛を感じる」

○「それは妙だナ、なんで食べずに居るのだ」

△「食べずにゐたくは無いが、據ろなく食べられない」

○「それはどういふ譯だれ」

△「君も知つての通り、會社は馘になつて一年あまり遊んでゐる、それが爲に貧乏になつて此の十日許り水ばかり飲んでゐる、何ぞ食べる物はないかといろ〳〵探したが古新聞が五六枚あつた、それを食べて見たがあれは食べにくいものだ」

○「さうだらう、新聞は讀むもので食べるものでは無い、然し君も智慧が無いれ、堂々たる男子が食へないとは無氣力だナ、と云つて君を助ける程の僕に餘裕も無い」

△「どうすれば宜からうか、此の儘にもう三週間も過ぎれば命は無い、あゝ何時の世から動物は食物を要するやうになつたかナ、之さへ無くば生存競爭も無からう、もう百年も經つと空氣ばかり吸つて生きてゐるやうになるであらう」

○「君も頭が古いれ、空氣だつて無代價ではないよ、宜い空氣を吸ひに行くには金がかゝる、シテ見ればこの世の中に無代價のものは一つもない、時に君にいゝ事を敎へやう、生きてゐられる手段、これは食物ではない、飲むものだがれ」

△「ヘエー、鹽水かれ、あれはいけない、二三度遣つて見たが甘くないものだ」

○「滿洲の魚ではあるまいし鹽水で生きてゐるとは云はない、恁うしたまへ、此後に牧場があるれ」

△「ウン大分牛が居る」

○「彼處へ行つて乳を呑むが宜い一日に一升も呑んだら生きてゐるだらう」

△「それは生きて居る、然し乳を買つて呑むほどの餘裕があれば米を買つて食べます」

○「錢を出して呑めとは云はない只呑む工夫がある」

△「ヘエー、それはどうするんだえ」

○「今れ、あの牧場の前を通つてチラリと見たが、彼處の主人は門徒信者であらう、蓮如上人のおふみさまを讀んでゐた」

△「ウンさうだ、あれは眞宗の凝りかたまり、乳で儲けては門跡樣へ皆な上げてしまう」

○「その眞宗の信仰心へ附込むのだ」

△「ヘエーどんな事をするれ」

○「今日にも君があの牧場に行つて主人に會ひ、俺お話し申すことがございます、兩三日續けて母の夢を見ました、處が母が申しますには、世に居つた頃の罪によつて畜生道に落ち、今は裏の牧場で乳を搾られてゐる、どうかお前に會ひたいが訪れて來てくれと云ひました、そこで私が出て來ましたが母に會はして下さいと恁ういふ、先方が佛敎の信者だから因果の說を信じて居るだらう、それは氣の毒な事だ、さア〳〵阿母さんに會ふが宜いと牛の居る處へ伴れて行く、そこで君が澤山乳の出さうな牛を見立てゝ、阿母さんでございますかと恁ういつてそれへ縋り付きさうして乳を呑む、子が親の乳を呑むのだ、苦情を云ふものはなからう」

△「成程、これは名案だ、それではこれから出懸けやう」

醜い奴があるもので、ヒヨロ〳〵しながら牧場に出て來ました。

定九郎は天城山で猪になり 私の母は此方の牧場で牛に

天氣が好いから牛は外へ出て居ります。

△「大層居るな、一頭千圓つゝとしても一萬五、六千圓取てゐるぜ」

主人「ヤアこれは……ヘヱ今日は……」

デコ山「御主人にお話し申す事があつて出ましたが」

主「それはどんな事です」

デ「どうぞお聞き下さいまし、この兩三日續けて母の夢を見ます」

主「成程」

デ「母は世にありました時に殺生をいたしました、その罪によつて只今は畜生道に落ちて居ります」

主「ヤレ〳〵それはお氣の毒なことだ、地獄といふ處は事實あります、無いなぞとは生學者の云ふ事だ」

デ「左樣でございます、母は此方の牧場で乳を搾られてゐると申しましたが」

主「ヘエーこの中の牛にあなたの阿母さんが居りますか、然しそいつは許じいナ、この牛は外國種で皆ゼルシーですが」

デ「それはなんでございます、母は日本、父は居士」

主「國姓爺のやうですナ」

デ「日本人ではございますが、畜生道に落ちることになるとそれは外國にも參ります、母の話によりますと、燕尾服を着てシルクハットを冠つた者は畜生道に落ちるとペンニンテーになるさうでございます、定九郎なぞも天城山で猪になつてゐるさうで」

主「ヘエーそんなものですかれ」

デ「さういふ譯ですから私の母も此方の牛の中に入つて居ります、是非會はして頂きたいもので」

主「さうですか、これが阿母さんといふことが判るかれ」

デ「それは判ります、大分出て居ります、これは皆畜生道に落ちた人達、赤い牛は以前は皆娼妓、赤い裲襠を被て多くの男を騙しましたから赤牛になつて居ります、白い牛は以前は神官、神樣をだしに使つて金儲けをして贅澤をしたその罰で、黑い牛は皆盜人でございます、彼奴等は年中黑い羽織を被て居ります、エートどれが母親か皆顏が一つで、それに一つ處へ角が生えてゐる、あゝあれだ〳〵」

ヒヨロ〳〵と赤牛の側に行き

デ「阿母さん、暫くお目にかゝりません、人と畜生と品は異れどお達者で結構でございます、ヘエ、ハヽ、左樣でございますか、御主人、母が乳が張つて困るから呑めと申しますが呑んでも宜しうございますか」

主「あゝ宜いとも、何も功德の爲だ、呑むでお遣んなさい」

デ「それでは阿母さん乳を呑みますよ」

縋り付いてデコ山がチウ〳〵乳を呑みました牛は吃驚してゐます

デ「もう宜うございませう、エッ又明日來てくれ、御主人、明日も來てくれと申しますが……」

主「あゝ來て遣つて下さい、嘸阿母さんは喜ぶだらう」

デ「有難うございます、左樣なら又明日參ります……有難い〳〵」

齋藤は智者だナ、乳を呑む手段を敎へてくれた、先づ之で當分命を繫ぐことも出來る、然し流動物ばかりでは腹がダブ〳〵する、これは恐れ入つたナ、とは云へ呑まずに居れば死んでしまう、當分乳の御厄介になるか」

ひどい奴があるもので、又翌日出て來まして

デ「阿母さん、御機嫌宜しく、草を食べてお在なさるナ、鼻へ輪を通されてお辛いことでございませう、へエ、又乳が張つたから呑んでくれと、左樣ならば頂戴いたします、今日は大分乳が良いやうでございます、ヘエー芋を食べたせゐだと、有難うございます、私もあなたの乳を呑む爲に大分肥つて來たやうでございます有難い〳〵快い心地だ、どうも御主人、毎度御厄介になりまして濟みません、あなたが大事にして下さるので阿母さんも喜んで居ります、今度の世には人になつてお禮に上るさうでございます」

主「お前さんの阿母さんが牛になつて、しかもわたしの牧場に居やうとは思はなかつた」

デ「不思議でございますなア、又夕方に上ります、デハ阿母さん、後程參つて又乳を呑んで上げますよ」

牛「モー」

デ「左樣ですか、モー一度參れと當分每日上ります、左樣なら」

デコ山は喜んでゐます、夕方に又やつて來た、牛は殘らず小屋の中に入つてゐます

テ「もうお部屋に引取りましたかオヤ〳〵阿母さんが見えなくなつたナ、御主人、母が此處に居りませんが、部屋を變へましたかナ」

主「イヤ、阿母さんはもうこの牧場に居ない、買手が付いてれ、是非讓つてくれと云はれてわたしも考へた、何にしろ阿母さんはもう年も老つてゐるし、大分近頃乳の出も惡くなつた、それで他家へ讓りましたよ」

デ「それは困つたナ、何處へ參りましたナ」

主「先は長野縣だがれ、上田の在ですよ」

デ「それは大變だ、信州まで每日乳を呑みに行くことは出來ない、何とか言ひ置いて參りましたか」

主「何も云はなかつた」

「ヘエーお前さんの親類が まだ、こゝにをりますか……」

デ「年を老つたゝめに毫碌しましたれ、何にしてもこれは困つたナモシ御主人、いよ〳〵不思議です此方の牧場にもう一頭私の緣者が居ります、それは先達母から話しがございました」

主「ヘエー、お前さんの親類がまだ此處に居ますか」

デ「居りますよ、あの黑牛が私と切つても切れない緣のあるものでどういふ譯か私の親類は畜生道に落ちて苦勞をして居ります」

主「商態だれえ、あの黑牛もお前さんの親類かえ」

デ「左樣でございます」

主「あれも年寄だぜ」

デ「左樣でございます、亡なつた時が六十三でございましたが、牛になつても年を老つて居ります……どうも暫くお目にかゝりません、イエ、あなたが此處に居ることは判つて居りましたが、牛になつてお在なすつた爲に心付きませんさ阿母さんからの知らせでやう〳〵判りました。ヘエ、あなたも乳が張りますか、頂戴いたしませう」

デコ山は黑牛に寄りましたが

デ「これは妙だ、あなたには乳がございませんナ、どうなさいました、どこへ乳を落しました、御主人、この牛には乳がございません」

主「それは乳は出ませんよ、種牛だから牡だ」

デ「ヘエー牡でございますか、成程牡では乳が出ない」

主「それはお前さんの何だね」

デ「親父でございます」

主「阿父さんかえ」

デ「情ない姿になりましたが、然し考へて見ると人間より安樂でございます、草や藁を食べて生きてゐまして、それに衣類なぞは買ひません、年中一つ衣類、夏になれば毛が薄くなつて暑さを凌ぐやうになり、冬になると濃まかくなつて綿の入つた衣類を着けてゐると同じこと、第一毛の物を着てゐますから衛生に宜しい、今度は關稅が高くなつたに就て洋服屋は盆て儲ける處を高くいたしましたが、さうなると買ふ者が無い、毛織物を身に着けずとも生きてゐることは出來ます、處が牛は關稅が高くなつてもビクともしません、とは云へ阿父さんでは乳は出ますまい他にまだ親類が居ますがれ、ア、あれだ〳〵、あの赤い毛の牛は切つても切れぬ私には緣がある」

主「さうかれ、あれはまだ若いよ神戸から曳いて來たものだ、性質は宜いナ」

デ「左樣でございますか、柔順しさうな面をしてゐます、それに私を見ると羞つかしさうに顏を俛げてゐます」

主「又乳を呑むかれ」

デ「是非頂戴いたします」

デコ山が側へ寄るとこの牛は顏を振りました。

デ「柔順しくなさい、牛になつたを羞しがつてゐるナ」

主「それはお前さんの何だえ」

デ「許嫁の花嫁でございます」

（終）

家庭マンガ 親心

マリチャンモ四月カラ学校ダカラ オ洋服ヲ買ッテキマシタ

アーラステキダワ……チョットキテゴランナサイ

オイチニサンシ オイチニサンシ

ソウソウ モットカッパツニシナイト ワラワレマスヨ ソウソウ

カアチャン オナカスイチャッタワ

アラ夕飯ヲワスレテイマシタ

非常時日本 一年まへの回顧

團琢磨氏暗殺さる
（三月五日）

三井財閥の大黑柱團琢磨氏は五日朝東京三井銀行正門を出るところを白色テロ菱沼五郎のために暗殺された、さきに井上藏相の遭難あり時局重大の秋に臨んで世相の惡化を極度に憂慮させる

皇軍寧古塔入城
（同　六日）

叛將丁超、王德林一味を掃蕩中の天野○團主力は威容堂々正義の戈をかざして長驅し六日午後寧古塔に入城し滿鮮住民から非常な感謝をうけた

永久抗日に決す
（同　七日）

洛陽において讀開中であつた支那側の第二次全體會議は七日滿場一致で長期抗日の宣言を通過した即ち

全國軍隊は對日長期抵抗の決心をもつて軍令を統一指揮の迅速を期すべし、今日は國民の生存を爭ふ秋にして國內相爭ふ時にあらず、上海における一時的總退却あるも抗日は永久に絕つべからず

溥儀氏新京に入る
（同　八日）

榮光に輝く新滿洲國の元首として三千萬民衆に迎へられた溥儀氏は八日午後首都新京に到着、舊臣、滿蒙民族の感激あふるゝ歡迎のうちに執政府に入つた、かつて全支に君臨した宣統帝が二十幾年の今日清朝發祥の地に還つたのである

晴れの建國式擧行
（同　九日）

東洋の樂土、新しい滿洲國の建國式は九日首都新京において嚴かに擧行された、日本側からは本庄關東軍司令官、內田滿鐵總裁を初め內外顯官多數列席のうへ國璽捧呈式を行ひ、ついで民族協和を祝福する新五色旗の掲揚をなしたのち、張景惠氏の發聲で萬歲を三唱して盛大な祝宴に移つた

緊張の陸軍記念日
（同　十日）

めでたき陸軍記念日は國家非常時の折柄とて全國民に多大の感銘を與へた、戶山學校においては聖上陛下の臨幸を仰いで各宮殿下以下犬養首相各閣僚三千名の參列あり、鹵獲武器、勇士の遺品など親く天覽あらせられたまた奉天、遼陽を始め各地の邦人も事變に刺戟され緊張の氣が全滿洲にみなぎつた

新國家法令發布
（同十一日）

新國家の基礎となるべき政府組織法、人權保障法、國務院、參議府兩官制の諸法制が十一日發布されてこれと同時に大赦と貧民急賑の二敎令が發せられた、王道政治を國是とする滿洲國の基礎はこゝに磐石の如く定められたのである

今週の献立

中村迪子

	朝	晝	晩
日	パン、半熟卵、紅茶、林檎	稻荷すし、とろゝ昆布清汁、奈良漬	卵豆腐と芹の吸物、比目魚の刺身、卸し芋とかにの三杯酢
月	切干のみそ汁、あさり佃煮	がんもどきのうま煮、海苔のつくだ煮	ローストビーフ（キヤベツ、馬鈴薯附合せ）、椎茸と三つ葉清汁、うどと若布のぬた
火	キヤベツのみそ汁、ざぜん豆	玉子燒、福神漬	チヤップスイ、シユーマイ、ほうれん草したし
水	若布の味噌汁、明太魚卵	豆腐の田樂、もやし胡麻よごし	ほうれん草スープ、まぐろ山かけ、鰯卵の花和へ
木	豆腐の味噌汁、燒海苔	昆布卷、さつま芋うま煮	茶碗蒸し（かしわ、百合根、銀杏、椎茸、かまぼこ、芹）、ぶりの照燒、大根膾
金	大根の味噌汁、納豆	燒いか、うづら豆	ビフテキ、蛤の潮汁、野菜サラダ
土	さつま汁、鹽昆布	五目すし、牛片と三葉の清汁	ちり鍋（鯛、白たき、三つ葉、うど、銀杏）、ゆばと野菜のうま煮

滿洲日報
三月四日發行
（昭和八年十二月廿五日第三種郵便物認可）

承德城頭日章旗飜り 十數萬の市民狂喜す
敵の正規軍は古北口へ潰走
川原部隊けさ入城

【奉天電話】平泉占領後息つく暇もなく折柄の大吹雪を衝いて輝く日章旗を先頭に遠く萬里の長城を南に望んで突進したわが川原先遣部隊は算を亂して總退却する敵正規軍に猛追撃を加へつゝ山河を越えて追撃、四日午前八時二十分承德東方三里の東杖子に迫り、更に一氣に承德城麓に肉薄し午前十一時半一部隊は承德に入城した、城頭には日章旗高く掲げられ十數萬の城内民衆は歡喜して皇軍を迎へた、これよりさきわが○○飛行場を出發した○○機○○臺は四日早朝一路承德の上空に飛翔したが、折しも湯玉麟の兵營から盛んに發砲して皇軍に應戰しつゝあるのを認めたので地上の川原先遣部隊と呼應して上空より爆彈を投下し先遣部隊の入城を容易ならしめた、同○○機の齎せる情報によれば承德に蟠居してゐた正規軍は午前十一時頃より古北口へ向け雪崩れを打つて退却を開始し、承德より古北口にいたる街道にはこれら亂して逃げ延びる敵の人馬が蜿蜒として續き宛然蟻の大行列をみるが如き光景を呈してゐたさ、湯玉麟は既に飛行機で北平に逃亡したるもの、如くである

【新京電話】關東軍司令部發表＝川原挺進隊は疾風の如き勢ひをもつて前進を續け四日午前八時二十分東杖子（承德東方約三里）を通過中にてその附近に敵影を見ず

【錦州にて山代特派員四日發】飛行機の偵察報告によれば○部隊先遣部隊たる川原部隊は四日朝午前七時承德東方五里の老爺廟附近を進撃中であつたが、午前八時二十分には既に承德東方四里のところまで前進して居り、承德入城も最早數時間の後と見られてゐる

【平泉四日發】川原挺身快足隊は本日午前九時十五分承德の東方二里半（十キロ）の三叉土へ進入した、承德附近には敵の大兵なく承德攻略も目睫の間に迫る

【平泉四日發】我川原先遣部隊は昨夕刻完全に平泉を占領し、休む間もなく今曉再び追擊を開始したが今朝八時廿分頃既に○○を去る東方三里の地點の東杖子に進出した

茂木部隊

臺も近く到着の筈

【奉天電話】赤峰入城以來部隊整頓中であつた茂木部隊は四日○○へ向つて南下した

松田部隊建平入城

【建平四日發】○○團の松田部隊は昨日午後九時威風堂々市民の歡迎を受けながら建平に入城した

山西軍出動 一旅は多倫へ

【奉天電話】張家口に到着した山西軍は騎兵一旅歩兵一旅の二旅團でこの中騎兵一旅は直に多倫に向つて前進した

山海關前面の敵 攻擊を開始す
熱河方面牽制のため

【奉天電話】山海關に居る前面の反滿軍は熱河方面に日本軍牽制のため攻擊を開始する等大いに緊張してゐる

【山海關四日發】山海關の前面たる石河右岸地區に集結せる敵は、近來頓に緊張し熱河の日滿軍牽制のため近く何等かの行動を起すべき形勢にあり、之がため我軍でも緊張の色を見せて居る

學良軍自動車 裝甲作業

【奉天電話】張學良は嚢てアメリカに注文中であつた自動車二百臺の中五十臺は去る二月十日北平に到着目下裝甲作業中で殘餘百五十

皇軍入城の承德（上は行宮避暑山莊 下は行宮の門邸）

日米戰爭の假定を 覆す時代來らん
米新大統領の極東政策

【東京四日發】アメリカ第三十二代の新大統領ルーズヴェルト氏の就任式は愈々四日ワシントンで擧行されることゝなつた、今後四年間民主黨の治政を見ることゝなつたが新政府が極東問題につき如何なる政策を實行するかは外務當局でも多大の注目を拂つてゐるが、新政府が進歩的態度で極東問題解決に重きを置き、日米戰爭の假定を覆へす時代の來るべきを期待し、新政府の極東政策の前途を左の如く樂觀してゐる

一、滿洲國に對しては當分靜觀的なるべきも、事實上の政府承認主義に傾きスチムソン主義の抽象論を露出しないであらう

一、支那に對する過去における過度の援支政策の弊を認め、着實なる對支政策を執るであらう

一、聯盟は歐洲政爭の集合に過ぎぬと非難してゐるから、日支紛爭についても聯盟との協力に深入りせず寧ろ日支間の實際關係事に重點を置くだらう

一、軍縮問題については實際的見地に立ち一九三六年度のワシントン條約改定に際しても實際的協調主義を執るであらう

一、ハル氏を國務長官にせるにより察知し得る如く、關税政策については定率互惠關税政策により太平洋貿易の圓滿發達に貢獻せんとして、米露通商開始の機運は增大しよう【寫眞はルーズヴェルト氏】

學良沒落近し 保定以南に退き
後圖を策する肚か

【新京特電】天津よりの來電によれば、天津方面における反張空氣は、熱河問題を中心として學良が北支に在る限り北支は常に亂れ、從つて絕えず東北方より脅威を受けるとて著しく惡化し、熱河の連敗と共に反張輿論も昂まつて來たので、學良もこれをきつかけとして轉身の道を考慮しつゝあり、又表面蔣介石と提攜してゐると見せながら一應平津地方より保定、或はその以南に身を退きその上で後圖を策せんとする模樣ではしてゐる、學良自身にも既に熱河放棄の已むを得ざるを知り、身の沒落を豫想してゐる如くであるが、體面の關係上盛んに抗日强硬態度を持し、熱河問題に關しては支那には八十萬の精鋭なる軍隊あり、熱河において支那軍が着々日本軍を破り成功を收めつゝあるが未だ總攻擊命令を發するにいたらず命令一度發ぜらるゝや日本軍驅逐は勿論のこと東三省の失地恢復は難事前のことである等々宣傳してゐる、しかし事實は學良の宣傳とは正反對に皇軍は無人の野を行くが如く、四日午前八時承德東方三里東杖子に到着したとの報あり、阿片王湯玉麟の沒落と共に學良の運命は風前の灯の如く逃亡用の三十六人乘りの飛行機の使用時期も既に目前に迫つてゐる

斷末魔の張學良
頻に虛構の宣傳をやる
民衆は毫も信ぜず

【新京電話】張學良の宣傳政策は既に周知のところであり、支那本國における民衆すら既に信ずるものないが、學良は熱河放棄を前に最後のもがきを續け頻に逆宣傳を試みてゐる

一、日本は目下盛んに滿洲に兵を動かしてゐるが、日本大衆は既に軍の行動に反感をもち民心は完全に離れてゐる

一、日本は强制的に滿洲人を徵兵し戰場に送りつゝあり

一、滿洲國要人は今後理由なく殺害されるに至るであらう

等々虛構の宣傳をなし、民心を迷

聯盟は日和見
アメリカの態度を見た上で
熱河問題を取扱ふか

【ジユネーヴ四日發】熱河討伐の進展はジユネーヴにも續々と報道せられてゐるが、聯盟方面では未だ一向之を問題とする模樣が見えない、之は第一に支那が靜かにしてゐる事、第二には四日ルーズヴエルト新大統領が就任し米政府が代つた上でアメリカが如何なる態度を示すかを確めてからといふ日和見の理由からだ、從つて聯盟ではルーズヴエルトの教書を見、且つ諮問委員會參加に對するアメリカの確たる態度を見た上でといふ態度だ、卽ち熱河問題は當然新設の二十一國委員會の權限範圍内の事項だから之に對するアメリカの態度がはつきりした上でなければ動き出さぬといふのが目下の聯盟の態度である

熱河郵政接收方針
接收先發隊錦州を出發

【錦州三日發】熱河討伐進捗と共に滿洲國交通部では愈々從來名義上の接收のみで、郵政電政管理局管理下にあつた熱河省郵政電政の實質的接收に關手實施することゝなつた、卽ち熱河全省郵政電政全部を奉天郵政管理局管下に置くこととし、電政に關しては先殺來奉天電政局員來錦し、本部を錦州電話局に置き、第一班承德、灤平、豐寧、第二班赤峰、圍場、第三班新開、綏中、建平、北票とし三日午後一時廿五分先發隊二十二名それぞれ決死の覺悟で同地に向つて出發した、電政局では先づ前述三班の任地の各有線電信を修理の上更に重要都市に補助的に無線電信を裝備し電信網の完備を圖る筈である、郵政局でも第一期計畫として北票、朝陽、凌源、平泉、承德、隆化、建平、赤峰、開魯、綏東附近の各局を接收し、更に第二計畫として豐寧、圍場、林西、林東、經棚の各局を接收する、從來熱河の郵便は大部分人夫送りで非常な危險を見たものであるが、これが改革には將來自動車網の發達と共に自動車による遞送は錦州郵便局に本部を置くと、郵政局監察官以下大いに力んでゐる、何れにせよ文化に遠ざかつてゐた熱河に劃期時代的改革の行はれて急速に文明機關の設置されるのも遠い將來ではない

板挾みの 蔣介石
北上を勸めらる

【奉天電話】張學良は熱河の敗戰に極度に狼狽し種々なる方法をもつて蔣介石の北上をすゝめ南京の軍事委員會孫科一派の立法院側も抗日の目的をもつて蔣の北上を促し、一方蔣反對一派も蔣の北上によつて勢力失墜をはかるべくこれと反對の意味において北上をすゝめてゐるのでその板挾みとなつた蔣介石は大いに困窮してゐる

【南京四日發】南京政府では既報の如く中央軍一部の北上を命じたが南京、漢口兩地の飛行隊に對しても出動準備命令を發し平漢沿線各要所にはガソリンの準備を命じた

聯盟脫退 御諮詢手續
六日閣議で審議

【東京四日發】政府は聯盟脫退に關する樞府に對する御諮詢の手續を執るため來る六日午後三時より官邸で臨時閣議を開き審議することゝなつた

一木前宮相 に近く授爵

【東京四日發】湯淺宮相は一木前宮相授爵問題で三日午後官邸に齋藤首相を訪問し諒解を求めたが、齋藤首相もこれに同意したので一木前宮相は近く男爵を授けらるゝことに内定した

人事

▲石川鐵雄氏（滿鐵經調副委員長）十月以來病氣引籠中の處快方に向つたので近日中に出社する筈

▲草薙權三氏（關東廳理事官）大連民政署財務課長より今回本廳經理課へ轉任したるにつきその挨拶のため四日市内各方面歴訪

▲中谷秀氏（愛知縣内務部長）四日入港ばいかる丸にて來連

▲菅原省三氏（名古屋商品陳列所長）同上

▲堀賢雄師（西本願寺調査課長）同上

▲長田雅和氏（二等軍醫正）同上

▲戶倉睦夫氏（一等軍醫）同上

▲片岡春隆氏（ツーリストビユーロー支部員）同上轉連

▲武部治右衛門氏（滿鐵商事部長）四日出帆うすりい丸で内地へ

▲星野龍男氏（同商工課長）同上

▲于靜遠氏（振興公司總裁）同上

▲于靜純氏（故于沖漢氏令息）同上

▲小山貞知氏（滿鐵囑託）同上

▲齋藤輝宇良氏（外務事務官）同上

▲市川數造氏（日滿倉庫會社社長）同上

▲末瀬許氏（滿電庶務課長）同上

▲淺村善吉氏（前マンチユリアデリーニウス社長）同上

▲南莞爾氏（東洋生命保險副社長）四日午前八時列車で大連着ヤマトホテル投宿

▲松室重生氏（同支部人）同上

蛇角

◇大河の流れは堰止むべからず、況んや決河の勢ひの皇軍をや。

◇その皇軍の承德入城、意外に早く實現、蓬聯して居たさはいへ痛快々々。

◇斯くて、滿洲國掃匪事業の完成近し、萬歲！日滿兩國。

◇地震、津浪の東北異變、家郷を捨て、熱河に奮戰する東北健兒たち想ふ。

◇七十の老母、令弟の生死を案じて熱河に向ふ石本老の心事悲壯。

◇またダンスが悲脈一ッ。ダンス聽者への警醒策として。

◇ダンス七歲にして時間を同じうすべからず、と聯盟への嚴達も、時にとつての效験の一ッ。

東天紅 (12)
田中純作
林一三畵

インチキ漢（一）

「怪しからんター……とは一體……」
「兎に角、今からすぐ、赤坂の新喜川に來て呉れ給へ」
「しかし、何だい、その怪しからん正體は？變な因縁なぞ附けちや困るぜ」
「いゝよ。兎に角、今夜は、綺麗に首を洗つて來て呉れ給へ。君の返答によつては……」
「厭だ、厭だ。世の中が物騷なんだから、變な脅かしつこはなしにしようぜ」
「はツ、はツ、はツ、はツ」と、阪口の聲が、受話機の中で笑つた。
「變に困惑して居るところを見ると、こいつ、愈々怪しいかな」
「しかし、何だい？諦しさ言ふのは」
「はツ、はツ――あんまり心配して、蟲でも起すといけないから、それでは、名前だけ云つて置かう――君、大貫昌子と云ふ女を知つてるだらう？」
「うむ。それが？」

「それが――はないだらう。それだけ云へば、ぎきんと來て居るだが」
「何アんだ」
厩造は云つたが、どうして、阪口が、昌子を知つてるのだらうと思ふと、彼にも少なからず好奇心が湧いた。
「では、これからすぐ、そつちへ行くから」
「それ見ろ。やつぱり、心配してゐるぢやないか」
電話を切ると、厩造はすぐボーイを呼んだ。それ、丁度、日暮れ時の雜沓ざかりで、巨大なビルヂイングから吐き出される群衆が、停車場前の廣場を、蟻のやうにうごめいて居る時刻だつたが、厩造はすぐに、圓タクを拾ふことが出來た。
「赤坂。五十錢」
さう云つて彼が乘り込むと、車は、鋪道の群衆を掻き分けながら、お濠端の方へ向つて駛り出した。

家庭

明日は地久節
國民に示し給ふ婦道の御手本
實行に努めませう

◇…畏くも皇后陛下におかせられては明三月六日をもつて第三十回の御誕生日、國母陛下として第七回目の地久節をお迎へ遊ばされますが、われ〳〵國民にとり眞に御めでたき極みであります。

◇…國母陛下が常に國のいや榮えにさかえ、國民の幸福ならんことを願はせられ、なほまた、日本婦人への婦道を示し給ふ御心のほどは申すも畏いことでありますが、國母陛下には御幼少のころより御慈悲いと深く、御十二、三歳の御頃には鳥類をお飼ひになることを非常にお好みになり、文鳥などがのどかな聲で轉つてゐるとその下で

「いまあげますよ、まつていらつしやい」

と人間にでもお話になる樣に、やさしいお心でスリ餌などを御自らお揩りに相成りおあげになつたと承ります。

◇…また、學習院女學部御時代陛下がある年の夏、千葉縣の銚子に御旅行遊ばされた時など、わざ〳〵次の如く日記にお書きとめ遊ばされていらせられると漏れ承ります。

「私達が町に入ると、澤山の人達が、あの暑さの中に、出迎へてゐた、中には小學校の小さい生徒もあつた、出迎へはうれしいけれど、あの夏日の照る中に長い間立つて迎へてくれる人達のことを思ふと、氣の毒に堪へられない」

と、この慈悲を垂れ給ふ御心こそ、我々の國母陛下と仰ぎ奉るにあまりに有難き極みではありませんか。

◇…この有難き國母陛下の今日は御誕生日です、われ〳〵は國母陛下の御仁慈に對へ奉ると共になほ國民へ示し給ふ婦道の御手本の數々を實行しなければならぬのであります、これがまたわれ〳〵の國母陛下に對へ奉る道でありませう【御寫眞は皇后陛下】

母性禮讃（一）

日本橋小學校長　越智末一郎

國母陛下の御誕辰を祝し奉る爲に内地では全國的に母の日なるものを催し、母性禮讃の一大運動を擧行するとの事であり當地では滿洲社會事業協會、婦人團體聯合會、滿鐵、市役所などが協同主催で母性禮讃運動の擧があると承はつてゐるが洵に結構な事で、國母陛下の御記念日に母性禮讃運動は實に善い企てであると思ふ、私は過去十年來口を開けば母について語るといふ程に母の問題には寧ろ神經過敏だと言はれる程に關心を持ち來つた譯で此お催しを贊助してゐる次第である

かつて東京兒童學會で集まり各自の記憶の一番古いものは何かといふ事を語りあつたそれによると人間の記憶といふ大體に三四歳位まで溯る事があらしい、そして何れも申合せたやうに母についての思ひ出に關する記憶といふやうなものが多數を占めてゐる、之れは母の偉大性を語る一證である

字源といふ字引を開いて「母」といふ字は女といふ字と兩方から合したもので、其中に點々が二つ書いてある、此・・の二つのポツが甚だ面白い、此二つの點が何を意味するかといふに字引は、それは乳房だと云つてゐる、單に乳と云はないで、乳房と云つた事に深長な意味がある乳なら女ばかりが持つてゐるのでない、男にもついてゐる、然るに乳房と言へば子を產んだ婦人に限られてゐるのである。

凡そ乳房といふものは母親特有の名譽ある表徵である母親が子供に授乳してゐる時、子は一方を口に銜みながら他方の乳房をかへでの樣な手でシカと掴んでゐる光景を見受ます、これは實に子供が其の乳房に對する濃厚な愛着さを示すもので、乳房は實に子供の生命である、子供が母親に對して無限の思慕の情を寄せる所以のものも實に此の乳房に對する愛着の心から來て居るものと言つてよからう、乳房は正に天與の寶冠であつて、世に斯くばかり貴く有難いものはない、然るに近來大都會の婦人などには此の婦人の寶冠たる乳房をなるべく大きくしない樣に、又折角の大きな立派な乳房を成るべく匿す樣な事をして一種特別な婦人美を創造しようと焦つてゐるやうな不心得な者も少からずあるといふ事だが、どうも困つた世の中になつたものだと思ふどうか世の母たる人々が其胸間に懸る乳房の美を誇る樣になつて欲しいものだと思ふ、「子を思ふ母の心はやれごろも身にまとひてもいとはざりけり」と云つた樣な心境を世の若きお母さん達がお失ひにならぬ樣望んで止まぬものである。

日本では昔から女を卑しいものとしてゐた。稲月並武だが「賤きもの よ汝の名は女なり」とか「ナニ女風情が……」とか「葷酒、女人山門に入るを許さず」或は「女人禁制」だといふ宗教から來た女人排斥思想も手傳つて女性を賤しんだ事は事實である然しながら今日では漸次女性を尊重する樣になり、昔の樣に一概に「女、女」とさげすむ事が出來なくなり、女の字の下に子の字をつけて女子とか、女性とかいふ言葉を用ゐる樣になつた

兒童學が最近に至つて進歩した結果、母の價値が著しく高められ「母性」といふ言葉が頻に用ゐられる樣になつた、此言葉は二十世紀の初頭エレンケー女史が「母性の復活」といふ本を書いたのに始まると思ふが、我國女子教育の目標の變遷といふ事から見ても此點が著しく判ると思ふ、

徳川時代から明治の始め頃にかけて所謂良妻賢母主義教育が唱道せられてゐたが、明治三十四、五年頃からは「賢母良妻主義」といふ事になつた樣である、此の言葉は時の文相菊池大麓博士が提唱したものだと聞いてゐる、其後「新しい女」一派の出現があり「人間主義」といふのがむやみに流行して所謂女性の完成といふ事を目的とした樣であるが、昨今では再び母性尊重とか母權の擁護とか言ふ樣に母としての完成に還元せられた樣に思はれる。

キレタパラシユートガ、ニホンゴウノソバヘ、トンデキマシタ。ヤクニタツカモシレナイカラ、ヒロツテオカウト、ポンコハテ手ノバシマシタ。

カゼニ、フカレテ、トンデキタパラシユートニ、ツカマツタノデカラダノ、カルイポンコハ、パラシユートト、イツシヨニ、トバサレテシマヒマシタ。

ダンダン、アガツテ、ユキマス。「ミツタン！ミツタン！」ト、タスケテ、モトメテキマスガ、プロペラーノ、オトデ、キコエナイノデス。

ヤウヤク、カナシイ、ポンコノコエヂ、ミツタンガ、キキツケタトキニハ、モウ、ダイブン、トホクヘ、ポンコハ、フキトバサレテヰマシタ。

家庭顧問

暖い室に入るご顔が眞赤に

【問】私は二十歳のいたつて丈夫な女でございますが、この頃外から急に暖かい室内へ入つたりいたしますと顔がまるでお酒でも澤山頂いた樣に眞赤になります、それだのに平常はまるで顔が紫色をしてゐて白粉をつけましてもいやな色になるのです何とかよい療法はございませんか（旅順さゝ子）

皮膚の過敏症です抵抗を強くなさい

【答】皮膚の過敏症ですから段々年をとつてくれば皮膚の抵抗がましてなほつて來ます、毎日洗面時などに冷水でよく摩擦をするとずつと皮膚の抵抗がつよくなります。夏になつたら續々海水浴でもやつて皮膚をおきたへなさい。（辻慶太郎）

姙娠の兆候か斯んな帶下

【問】昨年四月四度目の出產をした母でございます、十二月はじめ月經を見、それぎりで月經はなくて二月一日から五日間生玉子の白味を水で薄めたやうな無色な下りものが月經の樣に澤山下りました。昨年の夏も一度こんな事がありましたが別に苦痛もなく、只今では下りものはありません。姙娠の兆候でせうか、それとも何處か惡いのでせうか（氣に病む女）

何かほかに病氣があるのでせう

【答】帶下は姙娠の兆候にはならないので恐らく何か他に病氣があるのではないでせうか、勿論姙娠すれば幾分帶下が多くはなりますけれども、帶下が多くなつたことが必ずしも姙娠の兆候とは限りません、何れにしても一度專門醫の診察をお受けになるやうおすゝめ致します（岩男其二郎）

勉强するご眠くなる學生

【問】一學生ですが近頃勉强をはじめさへすると直ぐ欠伸が出て眠くなり勉强の能率が上りません。さいつて遊んでゐる時には別に眠氣も催しません。それで夜も充分睡眠をとる事にしてゐますがどうもねむたくなつて仕樣がありません。神經衰弱なのでせうか、何卒眠くならない法を教へて下さい（一學生）

室溫を高くせず飽食、暖衣を避けよ

【答】嗜眠症は神經衰弱の徵候の一つにもありますが外に記憶力又は理解力などの減退が伴へば…

味の素を使ふとき

◇…味の素を入れて味がよくなるといふのは味の素の原料である小麥中の蛋白質（わけてもグルタミン酸とアミノ酸）の作用なのです。此蛋白質は熱に會ふと變質しますから味の素を入れてから長時間煮ては何の役にも立ちません。必ず下し際か火から下してから入れること。なほ少量の鹽を加へると一層よく味が利きます。あたゝめなほす時は新に加へないとだめです

山葵を利かすには

◇…山葵は葉の附根の際が一番よく利くのですから矢鱈に切捨てたりしないやう、卸す時には葉附の方から卸すやうにします。卸し金はなるべく目の細いのを用ゐ圓を描くやうにまはしながら性急に擦れば粘りが出てよく利きます。これを更にまな板の上にのせて庖丁の背で數回性急に叩くと一層辛くなります。

◇…大根も山葵と同樣に性急に擦れば辛味が出ますから辛いものが欲しい時は性急に、あまりひどく辛い大根はゆつくりと卸すやうにすれば辛味が緩和されます。

豆類を煮る時は

◇…豆類を煮る時は先づ豆をよく洗いで滴水にやはらかになるまで浸して置き、その水で煮ます…

受驗期の頑張りに　ヘーフエ突擊療法
最短期間に最大のエネルギーを充實させる最も賢明な戰術

今までの治療界には一風變つた名の「鐵突擊療法」といふのが貧血症に行はれて來ました。鐵劑は貧血の良藥でありますが、從來の用量の數倍もの服用を試みますとよりよい効果を齎すといふので、この一風變つた突擊療法の火の手が獨乙を中心に現れました。

貧血に對する鐵劑ばかりでなく消化器の故障、特に胃潰瘍の場合などにもアルカリ突擊療法といつて、重曹の大量投與が盛んになつております。この突擊療法といふのは、つまり普通用量を越した大量を用ひるもので、近代治療醫學界の新制軸であります。

化學藥劑の大量投與は、しばしば危險な副作用が伴ふ場合がありますので、必ず醫師の指圖の下に行はなければなりませんが、體質改造に、健腦作用に、エネルギーの資源とうたはれるヘーフエは、突擊療法く行ふに最も理想的な副作用のない生物藥として賞用せられてゐます。特に

最小の期間に最大

ことに歸します。

最小の期間に最大のエネルギーを保つ上に、此ヘーフエ突擊療法は最も有效であります。何となれば、ヘーフエは無限のヴイタミンBを放出してゐるからであります。そしてヘーフエ菌劑として澤村博士の創見に係る『錠劑わかもと』が代表的役割を持つてゐることは識者間の常識になつております。

『錠劑わかもと』は先づその中に溢れるやうにヴイタミンBを含む外、殆ど凡ての榮養素、例へば鐵、燐、カルシウム、アミノ酸、ヌクレイン・グリコゲン等々を不思議と思はれるほど豐富に含んでゐます。

グリコゲンは貝類に多分に含まれる動物性の醱糖體で、人體には主に肝臟に貯へられ、生の最後まで、死と激しく戰ひぬく貴重な物質であり、ヌクレインは神經細胞の構成分子であり、アミノ酸は蛋白質の分解產物として吸收され易い蛋白質であります。これらの

貴重な要素を包含

する『錠劑わかもと』が、目前に展開されようとする激烈な試驗の防塞に頰笑ましくも介在することは、昔の受驗生に比較して天の惠みといふべきでありませう。ヘーフエ突擊療法の實現は『錠劑わかもと』の普通用量を二倍から五倍にすることで充分に發揮されます。

絕對健康に必要な三ッの要素

朗かな、眞の健康支持のためには三つの重大な要素があります。それは、快適な安眠と、規則正しい便通と、愉快な食慾とでありませう。適度の入浴、運動を忘れずに、何時も樂天的態度で一切の憂鬱を拭ひ去るやうに心掛ける必要があります。

昔から長壽を保つ…原因すると説いて、

ゐます。彼の毎日の一つの樂しみは、自分の水々しい瞳を鏡に映して眺め入ることだつたといはれます、

それほどゲーテは、睡眠と便通と食慾に注意を怠らずに、あの偉業を永久に殘しました。それは決して偶然ではなく、八十有四年間の努力だつたのであります。

自重自愛といふ大きな努力の結果を科學的に觀ますと、つまりは體の細胞機能がその個體の生活に一致したことになります。細胞の健全な活動が終始されることになります。細胞の健全な活動は實に生體健康の泉であります。生命は細胞の集りで、細胞なしに生命はありません。睡眠も、食慾も、便通もすべては一にかゝつて細胞の活動程度に…

我らの生命線　滿洲の衞生々活（中）

醫學博士　松浦有志太郎

滿洲の土地風土氣候等の自然は信頼すべき專門家が提唱せらるゝ如く、甚だ勝れたる健康地でありまして、肺結核療養地としては日本内地よりも遙かに好適地である事は疑ひなきところと信じます、この健康地たる恰も恐るべき不健康地であるが如く思はしむるに至りたるはこれ全く從來の在滿同胞の生活振りに衞生上甚だ正しからざるところ多きが爲であらうと思ひます、而してその正しからざる衞生々活は、いつも多くはその正しからざる經濟生活即ちゼイタク混費の生活に原因してゐるのでありますこれは併しながら又正しき衞生々活に關する知識の缺乏からこの如き不經濟なる生活をなすに至るものでありますから正しき衞生々活に關する知識を先づ諒解納得して、これを實行に移しさへすれば正しき道徳正活も、正しき經濟生活も求めず責めずして自から達する事であらうと思ひます…修養と、養生と、儉約、名は三つでありますけれども其實體は一つであつて離れないものであります、故に衞生々活の不合理をさへ先づ正しくするならば、すべての方面が期せずして正しく強くなるのであります

滿洲における室内衞生の不合理

冬期における密閉生活と、高溫生活が衞生上甚だ不良のものである事は、今更申す迄もない事でありますが、遺憾ながら滿洲におきましてはこの衞生知識が甚だ等閑に附せられて、學校、役所、病院、倶樂部、私宅、列車内等において隨分と多くこの高溫及び密閉生活が行はれてゐるのを見るのでありますこれは第一は衞生知識の缺乏から無暗に寒さを恐れる事、第二は石炭の濫費を何んとも思はぬゼイタク心の増長、又は虛榮心からも來てゐるのであらうと思ひます（假くしておきたいが御客樣があつた時ケチだと思はれる）

◇……◇

一體室溫は攝氏十五度（華氏六十度）と規定されてありますが、これは最高限度と認むべきもので、下はまだ下つて攝氏十度に致しましても慣るればそれで十分で氣持ちよく仕事の能率も一番よく擧がるのであります、その他夜間就寢中又は健康增進のため呼吸器病治療の爲にはまだ〳〵室溫は零下何度、何十度と下げても差支なく、却つて歡迎さるゝ所であります

◇……◇

然るに滿洲の上記各所におきましては華氏七十五度位は通例で八十度も珍しからず、甚だしきは八十五度九十度近くに上ぼしてゐる所さへもある位で、おまけに戶や窓は二重で密閉してあり、實に恐るべき不衞生狀態でありまして、滿洲は全く人工的に不健康地を製造されてゐると云ふも過言ではないと信じます、肺結核患者の發生甚だ多いのも主として此の石炭ゼイタクに基因する事と思ひます

◇……◇

これに反して支那人のおんごる住宅はその衣服と共に理想的安價の防寒をなし、通風も十分にして最も衞生に適してゐるのであります若しも日本人が此の支那の防寒原則をよく諒解してこれに學び習ふたならば、我同胞の健康狀態は大に改善される事が出來やうと思ひます

肺尖を征服して普文に合格した　一苦學生の手記

（岡山）早川満馬

私は生れつき弱い身體の田舍に居ても人のする…縁がないので、或人の紹介で都市の某辯護士の書生となの、（中略）書生と云ふ仕事は…私はこの途を選んだのが失敗…それは第一運動が出來ない田舍者が都會生活に馴れて忽ち以前に増して益々…となつてゆく許りでした…

朝は…

（以下判讀困難）

社説
熱河全省平定成る
承德の克復

日滿軍が熱河平定の軍事行動を起してより正に十二日目にして首府承德を克復した。敵軍算を亂して古北口に逃走すさいふから、國境まで一溜りもなく退却す可く、湯玉麟も恐らく既に北平方面に逃亡したであらう。統制なき烏合の衆さ云ひながら、叛軍匪徒學良軍の混合にして僅々十餘日にして全省に充滿せる賊徒を掃蕩し得た事は、皇軍威力の如何に優越せるかを實證して餘りあるものである。但し寒威酷烈、風雪朦々の裡、惡路險要を強行突破したその勞苦は推察するに餘りある。國民は多大の感謝を捧げればならぬ。

熱河全民歡喜

熱河は固より滿洲國の領域であるから、中央政府の制令に服しないものある以上、之れを討伐すべきは當然であるが、他省の政治的形成に稍手間取りたるを奇貨さして、湯玉麟が首鼠兩端を持したのが禍根であつた。爲めに他省の叛軍逃入し、匪賊は反日の口實を得て所在に蜂起し、學良軍までも侵入せしめる機會を與へた。爲めに全省住民は、いやが上に塗炭の苦を重ぬるに至つた。王師一度向つて匪賊潰亂し、住民其德を慕ひ、簞食壺漿して之れを歡迎する有樣は、日々の紙上に現はるゝ所の如くである。軍隊さ共に、宣撫員、政治工作員之れに隨ひ、直ちに窮民を賑恤し、自治を恢復せしめてゐる。治安維持の方法が完成さるゝは時日を費さゞる可く、全民は今日より枕を高くして堵に安んずる事が出來る。卽ち他省さ同樣に王道政治の德澤に浴することを得る。滿洲國全體が此處に平定を告げたわけである。

聯關する問題

滿洲國は之れでかたづいた。あさは荒ごなしの上に研きをかけるだけだ。而して國境に退いた匪軍が今後如何なる態度を執るかゞ一の問題だ。次第によりては更に支那さの問題を生じないさ限らない。又潰走兵並に平津地方駐在支那軍の動搖の爲めに、在留日本臣民が危害を受くるなきや否やの問題もある。支那側にて、よく統制を保つにあらざれば、此處に又難問題を發生しないさは限らない。先年の南京事件には日本が隱忍に過ぎた。滿洲事件の如きも多年隱忍の結果であつた。其後の濟南事件、昨年の上海事件の如き、皆國民政府の計畫的且繼續的侮日政策の結果に外ならぬ。國民政府にして斷然自覺して、翻然として對日政策を改めざる限り、不測の變を生じないさは限らない。日本は始めより、支那の安定改善進歩によりて、共に提携して東洋の和平を希望するものである。吾人は國民政府に對して、此時を機さして對日滿政策を爲さ考量せん事を勸告するものである。

學良自省せよ

熱河省の平定によりて、最も打撃を受くるものは張學良であらねばならぬ。元來張學良は、例の易幟問題の時に、既に深泥に足を踏込んだ。一昨年に至つては、途方もなき迷夢に捉はれて日本勢力に對する實力打倒を企て、甚だしき失敗を招いた。爾來迷夢を醒ますべき機會がいくらでもあつたに拘らず、益々迷夢を追ひて愈々深泥にはまり込んだ。徒らに失地恢復を叫んだ手前、遂に熱河奪取を武力によりて強行せざるを得ざる羽目に陷り、更に癒やすべからざる創痍を被るに至つた。その沒落は愈々時日の問題さなつた。此時に當りて尚迷夢より醒むる能はずんば、張氏一人の得失は必ずしも云はず、北支の安寧は爲めに崩壞す可く、全支四億民の安危に關する。吾人は國民政府の甚深なる考慮を求むるさ同時に、張氏自身の深省を望まざるを得ない。

金禁輸まで行くか 米金融非常時
新舊大統領以下鳩首凝議の 地方銀行動搖防止策

【ニューヨーク三日發】ニューヨーク・デーリーニユウス紙ワシントン特派員の所報によるさ新大統領は就任を前に三日夜ルーズヴエルト、フーヴア新舊大統領、財政長官ミルス氏、聯邦準備局總裁マイヤー氏及びルーズヴエルト氏の財政顧問たるモーレー氏の間に會議が行はれたが右會議において地方銀行動搖防止の對策として兌換停止若しくは金の輸出禁止の可能性について考慮されるところがあつた

銀行救濟策 必要資金の融通

【紐育三日發】現在アメリカに於て何等かの形に於て銀行營業に制限を加へてゐる州は三十州、之にコロンビアを加へて合計三十一州の地方に及んでゐるが政府の救援は愈々具體化する模樣である、卽ち復興金融會社さして支拂制限をなせる地方の金融機關に對し或一定率の預金拂戻しのため必要なる資金の融通をなさしむる旨發表した、但し右融資には充分な擔保を必要さするとさなつてゐる

會議又會議 應急金融策

【ワシントン三日發】上院議員グラス氏は三日夜二十分に自判ルーズヴエルト氏さ協議し次いで新財政長官ウッディン氏、國務長官ハル氏がルーズヴエルト氏を訪問した

【ワシントン四日發】四日午前零時五分財政長官ウッディン氏及び聯邦準備局當局は財政省に參集目下密議中である

【ニューヨーク四日發】ニューヨーク銀行家の一團は三日深更より聯邦準備銀行に參集準備銀行當局さ密議中である

ル氏に御祝電

【東京四日發】米國大統領ルーズヴエルト氏は本四日就任するので天皇陛下には同氏に對し御祝電を御發送遊ばされた

アメリカの金融恐慌擴大す
深井日銀副總裁談

【東京三日發】アメリカ金融恐慌は日を逐つて擴大し地方銀行の休業並に支拂制限は既に十八州に及び益々發展する情勢にあり準備銀行は遂に對策として公定割引歩合を三分に引上げるに至つたがこれに關し深井日銀副總裁の語るさころ大要左の如し

公定歩合引上げは中央銀行さして當然の金利政策をなしたに過ぎぬ卽ち好景氣の後に襲來した金融恐慌の際なれば金利を引上げるとは益々人心を刺戟することになるも今回の如く不景氣のため資金の需要が減り金利が低落した後に來た恐慌であるさ却つて金利を引上げることが人心を安定する所以である、金利を引上げ資金の海外流出を防止し爲替相場の低落を防止することは中央銀行の金本位擁護の決心を示すもので現在の米國においては人心の安定に資するものさ思ふ尚わが國に對しては金利引上げそのものは取立てゝいふ程の影響はあるまいさ考へる

國道局官制 三日附發令

【新京電話】かねて參議府に諮詢中の左記敎令並に訓令は三月三日附をもつて發令公布された

一、訓令第一號　派遣警備司令官及び各省警備司令官の擔任區域並にその指揮に屬する軍隊を定むるの件中改正の件
一、敎令第十二號　國道局官制
一、敎令第十三號　國道會議官制
一、敎令第十四號　ハルビン警察廳官制
一、敎令第十五號　警長警士給與品及び貸與品規定中修正の件
一、敎令第十六號　警察官服制の件中修正の件

各方面に道路開鑿 農村失業者救濟

【奉天電話】于芷山司令は東邊道及び三角地帶から遼西方面における馬匪賊の一掃により地方の治安は現在のさころ維持されてゐるも高粱繁茂期には地方の鼠賊は再び集合し掠奪を行ふ傾向にあるため東邊道における國道建設さ共に三角及び四角の遼西地帶にも縣道及び國道を造り一般地方民衆の交通の便を與へるさ同時に不逞の徒の跳梁を防ぐ方針である、そのため地方農村の貧困失業者を救濟する意味から農村の壯丁を土木事業に使役する方針である

鮮鐵局增收

【京城特電三日發】二月中における朝鮮鐵道局の業績は收入合計二百八十萬九千百九十三圓で前年同月に比し五十四萬七千餘圓の增加を示し、四月以降の累計は二百四十萬四千餘圓の黑字さいふ素晴らしい好成績を擧げてゐる、本月は特に軍隊輸送等があつたゝめ斯く增收を見たのであるが實行豫算に比してはまだ幾分の赤字は免れないのである

熱河形勢惡化に 蔣公使引揚げ
けふ東京を發し歸國

【東京四日發】駐日支那公使蔣作賓は五日東京發六日午後三時神戸出帆のクリーブランド號で歸國に決した、表面は賜暇歸國さあるも熱河形勢惡化せるため事實上の引揚げである

論功行賞 三日 陸軍省發表

【東京三日發】滿洲事變の論功行賞は先般來賞勳局及び陸軍省で銓衡中のさころ三日御裁可を得て左の如く發表された　今次の分は昨年二月より至る間滿洲各地において……

功六級
獨立、歩兵一大隊　歩兵大尉　栗崎　忠正

（以下、關東軍野戰自動車隊、關東軍電信隊、獨立歩兵第一大隊、獨立歩兵第三大隊、獨立歩兵第四大隊、獨立歩兵第五大隊、歩兵第六聯隊 各功級受賞者氏名）

滿洲中央銀行第一期業績
榮厚總裁演說要旨（上）

【新京電話】去月二十八日滿洲中央銀行第一期株主總會における榮厚總裁の演說大要は左の如くである

滿洲中央銀行第一期株主各位に對し經濟金融の狀況及び本行業務の成績に關し御報告申上ぐるは小職の光榮とするところである、我滿洲國は建國初年であり、萬事草創の際で、世界的經濟の大勢に支配せらるゝこと比較的少く、寧ろ經濟機構の建設、國內的經濟の整備に終始し、この間歐米各國においては、滿洲大戰後の創痍なほ癒えず……

滿鐵新社員應募 千五百名を突破
帝大、早大斷然多く二百名

赤峰、朝陽方面の軍事郵便を開始
郵政事務の接收進捗

濱村氏招宴

八田副總裁

星野商工課長上京

人事

洋食の實習
聖德小僧

◇今春卒業される生徒の方々をヤマトホテルに御案内なさるさか聞きましたが眞實でせうか？
◇勿論洋食の食べ方についての實地指導さ巣立ちのお祝ひを兼ねてなさる事さは思つて居ります……

お答へ　お訊れの件は決して卒業祝ではなく、第四學年の第三學期の實習に屬するもので……

市況

株式
當市强保合

特產
大豆强調

錢鈔
日米强保合　當市弱保合

商品
棉絲强保合

奧地市況

市場電報
神戸特產　大阪株式　大阪期米　神戸期米　東京期米　大阪綿糸

公設市場便り

東北震災後報

海岸に漂着してる食物を拾つて喰ふ

生き殘つたものは飢餓に瀕す　悲慘な唐丹村を訪ふ

【釜石四日發】釜石署管内の死者三百五十名を出し罹災者最も多かつた氣仙郡唐丹村を見んと四日朝唐丹村大字本鄉に入ると半倒潰の家屋から老人が身體を起し「よく來て呉れた」と記者に泣き縋る、この老人は娘が津浪に攫はれたのである、約百戸の部落二戸だけ殘し荒野と化した、一家全滅の家が十五戸あり、彼處此處死體が轉がつてゐるのも悲慘だ、約七百の部落民中生存者は二百六十名に過ぎない、死體は大半行方不明だ、更に小白濱部落に入ると信用組合、岩手銀行支店等目屋い建物は跡形も無い、此處は水面と五十尺の大津浪が同部落の三分の二を見舞つたのである、負傷者は釜石病院に收容してゐるが醫療品が缺乏し、食物が配給されぬものは海岸に漂着してゐる食物を拾つてゐると云ふ悲慘な有樣で生き殘つてゐる者は全く飢餓に瀕してゐる

內務省救濟對策

四日の閣議に報告

【東京四日發】內務省は三陸地方の震害救濟對策のため、三日午後八時半飛行機で現地被害狀況の視察を遂げ歸京した石井事務官の報告を得て、警保局を中心に土木、社會、衞生各局において罹災民救助保護並に震災復興對策につき協議の結果、四日の閣議に內務大臣から報告すべき實地調査報告書を警保局で左の通り決定した

一、地方税減免に關する件　國税の納税減免に伴ひ地方税の減免も行ふこと

一、衣食住の物資供給に關する件　被害地關係の地方長官を督勵して救助基金を支出せしむると同時に、全國各府縣公共團體主體に義捐金の募集を行ひ糧食衣服の給與罹災民の救助保護に全力を盡すこと

一、治安維持に關する件　死者の收容、負傷者、病者の保護手當等罹災民の救助は關係縣警察部で軍隊、青年團、醫療班、赤十字社等協力して行ひ又暴利取締流言取締等治安維持に萬遺漏なきを期すること

一、復興復舊工事　家屋倒潰道路河川の災害復舊工事を急速に施行するは勿論、宮古、釜石各港灣の改築工事等についても災害復舊費國庫補助をなすと共に府縣支辨に依り改築を行ふこと

一、防疫に關する件　關係府縣知事の電請あり次第、防疫並に防疫官吏の增員を卽時許可して被害地の防疫衞生萬遺算なきを期すること

兵士家族無事

【盛岡四日發】三陸震災に際し○○兵家族皆無事と岩手縣知事より發表された

救援派遣の艦船配備

【東京四日發】橫須賀及び大湊より三陸地方震災救援のため派遣された驅逐艦その他艦船の配備狀況は左の如し

釜石　野風、波風

鮫角　帆風、沼風

久慈　太刀風

大槌　羽風

宮古　秋風

山田　雷

畏き邊りより御救恤金御下賜

宮內省職員も寄贈

【東京四日發】三陸地方激震被害に對し畏き邊りでは大金侍從を御差遣遊ばされる外特に多額の御救恤金を御下賜になるので宮內省四千の職員一同は他省に率先俸給中より義捐金を集めて贈ると共に衣類も寄贈することになつた、尚畏き邊りでは宮城、岩手、青森三縣下の社會事業團體に對しても救援事業の補助として御賜金の御沙汰ある模樣である

白衣の勇士　四日大連驛着

首相以下義捐金醵出

【東京四日發】政府は四日午後二時院內に臨時次官會議を開催三陸地方に於ける地震救濟對策に就いて租税の減免米穀の無償貸附低資の融通等につき種々協議し更に義捐金物資に就いては同地の慘害に鑑み總理三百圓各閣僚百圓宛を醵金し各省官吏も從來の例に依り俸給月額の五分以下醵金して罹災者救助資金に充てることに決定した

鄭國務總理見舞電

【新京電話】三日釜石を中心に東北地方東海岸に起れる地震及びそれに伴ふ津浪、火災等の慘害に痛く同情せる鄭國務總理は四日午前十時齋藤首相に宛て左記の見舞電報を發した

貴國東北地方大震災の報に接し驚愕す、衷心より御見舞申上ぐ

國務總理　鄭孝胥

大公使見舞

【東京四日發】駐日各國大公使は四日正午內田外相を訪ひ三陸の震災見舞を述べた

成層圏

指紋て親子を鑑別

法醫學上、血液型が遺傳性を持ち親子鑑別の重要な役割を演じてゐることは既に知られてゐるが指紋もまた遺傳性を持つて現れてゐることが金澤醫科大學法醫學教授古畑博士によつて研究發表された、博士は指紋の出現が生物學的法則に從つてゐるとすれば、指紋の地理的分布にも必ず特殊の關係を示さねばならぬとの見解によつて調査研究を重ねた結果、指紋にも明かに地方的差異が認められ、しかも身長、頭型、血液型の各分布とも一致したもの、あることが知られ、人類學上にも興味多い一劃期を作つた、我國法醫學界の大發見でもあり、一劃期を作るものと學界から期待されてゐる

賭博の記錄破り

東京城東區砂町署では數日前から南砂町二の二二五田中淸次(三八)外三百數十名を檢擧取調べを進めてゐるが右は近來まれに見る大規模なチーハー賭博が昨年末から開帳され、一月の如きは數日間晝夜に亙つて開帳したことが發覺したもので、また續々召喚して居り全部取調を受けるのは四百名に上る見込みである、當局では大東京多數賭博の記錄破りであるとて此處數日中に取調完了と共に一件書類を東京地方裁判所へ送るが書類のみでも數萬枚に達する尨大なるものである

貧乏を裝ふ資產家

東京の白木屋大塚分店でアルミニユームの辨當箱、鎌倉ハム、牛罐詰各一個、ズックの運動靴一足、學生帽一個、學生カメンを萬引して捕へた男を巢鴨署員が逮捕、取調べてみると小石川區柳町伊藤方同居人伊藤喜四郎(□)といひ昨年八月以來失業、生活に窮して妻子三名を鄕里に歸し自分は三女くにゑ(某小學校二年生)と親戚の前記伊藤方に厄介になつてゐたが四、五日前からその娘が病氣になり大塚病院に入院施療を受けてゐるので慨れになり病院から藥を貰つての歸途、フラフラと惡氣を出したものと申し立てた、これを聞いて署員も大いに同情し調査して見ると失業などと眞ッ赤な嘘で實はこの男、地所家作を持つてゐる資產家だが非常な守錢奴で金を出すのが惜さに萬引したもので、施療患者になるため着物までボロボロのものを着てゐたといふ飛んだ喰はせ者

北海道に怪猫奇譚

雪の北海道、怪猫奇譚……去る日稚內村に住む瀧口久吉(六七)といふ老獨身者の家が數日前から開かないのでコヂあけて見ると、久吉爺さんは飼つてゐた黑猫に大切な處をはじめ全身を食ひ荒され、紅に染まつて死んでゐる、その側に口のあたりを眞赤にして黑猫が眠んでゐた、怪猫は久吉爺さんが心臟麻痺で頓死後食物を與へるものがないところから飢ゑに狂つて主人を食ひ荒したもの

逃げる敵を追擊し我軍に通信筒投下

降りしきる吹雪に視野を失ひ恨を吞んで小林機歸る

【奉天電話】我が○○飛行隊長として幾多の冒險的爆擊を敢行し我が○團の進路を開いて○○飛行隊の名聲を內外に輝かし殊に二月二十八日以來は茂木、池上各隊と協力して敵の頭上より猛射を浴びせ

陣地の

破壞に匪軍の攪亂に不斷の功績を殘した小林飛行大尉は三日赤峰にある我が地上部隊と聯絡のため生駒中尉と共に○機を連れ早朝○○飛行場を發し降りしきる吹雪を衝いて勇敢なる冒險飛行を敢行し正午頃赤峰附近に到着したが濛々として降りしきる吹雪のため視野を失ひ恨みを吞んで

羅針盤

を頼りに三日午後三時半一先づ○○飛行場へ着陸したが小林大尉を訪へば日燒けした頰に微笑を湛え千キロ以上の飛行を了へた身とも見えず快よく記者を迎へて語る

二日田中中尉、山升少尉等と編隊して早曉○○を發ち烏丹城に飛び次いで遠く赤峰に向つた、僕等が赤峰に着いた時は丁度わが茂木○○隊が赤峰の東方約四キロの西側に旋回しその後方の野砲は盛んに

火蓋を

切つてゐた、グッと枪を下げて七百メートルまで下ると赤峰を南北に流れてゐる河の堤の陰に上空から見ると全く蟻の子のやうに敵が蔭れてゐるどれ位だか判らぬが實に眞黑くかたまつて見えた、これに狙ひをつけて爆彈を投下した、面白いやうに命中して、敵は周章狼狽

蜂の巢

をつゝいたやうに八方に逃げ廻る、逃ぐるを追ふて爆擊すること約一時間、敵の主力は西方に、一部は北に南に敗走した、上空より敵の退却する方向を確め一々地上の我が○○隊に通信筒を投下して報告する、さうかうする中孫殿英、富春山に出て匍ふやうにして錦州にやつて來たよ、部下はこの寒氣に拘らず連日千キロ以上の長距離飛行を續けて皆體は綿のやうに疲れ搭乘してゐるものさへあるが、毎日少しの疲勞の色も現はさず爭つて飛行を申出でゝゐるのは皆熱河討伐の意氣込と重要性を充分にわきまへての國民的熱によつてこそ初めて出來るものだと隊長としての自分は部下のこの氣持を有難く思つてゐる

四洮線

に出て仲々部下を愛しむ武人の眞髓を示し東に出で

日章旗

劉桂堂といふやうな相當聞えた奴等も遂に赤峰に據りきれずどんどん退却する我が先頭の○○隊は北より南よりドッと赤峰に入城した、僕等は城頭に日章旗がバッと飜つたのを見て感激に眼を熱くしながら翼を連ねて○○へ歸還した、當日の行程一千五百キロ、滯空時間六時間半であつた、松本大尉、松竹特務曹長の搭乘した錦州よりの○○機も此の日は多大の損害を與へてゐた、今日は赤峰の池上部隊との聯絡が心配になつたので吹雪を冒して飛んだが奧地に進むに從つて雪は深く赤峰附近は一面の銀世界、視野が通らんので遺憾ながら羅針を便りに

赤峰、凌源攻擊に楢村機の偉功

わが重大使命を達成

【錦州三日發】赤峰、凌源が日を同じうして陷落せる二日、地上部隊と協力して敵に重大なる打擊を與へ、我軍勝利の素因を作つた

我空軍

のこの日の活躍は絕大なるものあり、攻擊に參加せる飛行機○○臺、飛行距離正に一萬キロを突破した、この日凌源以西承德の敵狀搜査の任務を帶びた楢村第○○號機、田村○○號機の兩機は僚機と共に早朝○○根據地を離陸し、悠々二百八十キロを突破し、凌源、承德間の敵狀を隈なく認めて歸途正午すぎ友軍先遣隊と時を同じうして凌源、南北兩門に立籠つた敵の大縱隊が算を亂して西方に退却中、二機相離行して爆擊又爆擊、機關銃の彈丸を打盡し凱歌を揚げ歸途に就いたが、葉柏壽頭、僚機村田機の高度は次第に下る、其後を追つて楢村機が飛行してゐたが、田村機は

大平房

を眞向ふにそのプロペラがはたと止つた、これは一大事と思ふ間もなく巧妙なる空中滑走によつて大平房西南大凌河の東側大凌河の河原に無事着陸したが、不幸地面の凹凸に當つて右の車輪パンクしたことを知れる楢村機は、低空飛行數回無事着陸、僚機に馳せ寄り見れば重要機關部に數發の敵彈を受けたるを發見、兩勇士は手を握り合つて無事なるに感泣した、楢村機は田村機の撮影した赤峰の乾板を受取つて歸還重大なる使命を達成した

聖戰の尊き犧牲默々たる喪の凱旋

野村少佐ら遺骨着連

白雪に覆はれた大連に喪の凱旋――錦州において名譽の戰死を遂げた故野村浩少佐以下八勇士の遺骨は先着の旅順よりの分と加へられ九體、宰領者安部大尉外七名にしつかり護られて三日午後四時四十五分大連驛到着、出迎への市民は折柄降り積つた惡道路も何のその學校團體聯隊軍を始め日頃よりその數がずつと多い、非常時らしい緊張さを感じさせる、遺骨は戰友の手に靜かに抱かれ一先づ祭壇に移される、この時宰領者安部大尉は起つて出迎市民に對し沈痛な面持で「雪の中を態々御苦勞、亡き戰友に代つて御挨拶します」と簡單に謝意を表し直に差廻しの自動車に歸つて市內天神町常安寺に安置、御通夜を行つた、なほ葬儀は四日出帆うすりい丸で故山に歸つた姿で凱旋する、それに先だち午前八時半より市役所主催のもとに慰靈祭を執行

白衣の卅八勇士大連驛到着

六日定期船で歸還

旅順において療養中であつた古く は北滿から近くは熱河における戰鬪に不幸戰傷を負ひたるもの或は從軍中不測の病に冒された勇士等十八名は四日午後三時半大連着列車にて到着、この日は特に學生團體多く一般市民も惡道路にもめげず驛頭に殺到、市民代理國弘助役、森本法院長、石井署長、山西滿鐵理事等多數知名士も顏を見せ、白衣の勇士等が靜かにプラットホームに立つた時、思ひなしか感激の淚が浮ぶ、一行は衞戍病院分院差廻しの自動車を驅つて關東倉庫に收容された、尙五日午前八時四十分着臨時列車で到着する○○名の傷病勇士等と共に六日出帆ばいかる丸で內地に歸還する

陸軍記念日に―

モダン兵器の聯合演習

四日代々木練兵場に於て壯烈な豫行演習

【東京四日發】陸軍では三月十日の陸軍記念日に代々木練兵場で現在陸軍の有する凡ゆる新兵器、飛行機を利用して近代的の聯合演習を行ふことになつたが四日午後二時から同練兵場で豫行演習を行つた、同演習には步兵隊機關銃隊、曲射、平射步兵砲隊、高射機關銃、砲兵隊、戰車隊、野砲隊、飛行隊、無線班、鳩班等で戰鬪は先づ戰鬪機の來襲、高射砲の射擊に依つて火蓋を切られ地上の戰鬪開始となり機關銃、步兵砲野砲の射擊の中に步兵は突擊し次いで兩軍戰鬪機が上空に現れ壯烈なる空中戰を惹起し兩軍衝突の機迫るや工兵は煙幕の下に鐵條網の爆破を敢行、次いで煙火信號、無線電信、鳩を以て砲兵の突擊掩護を要求すれば砲兵は天地も裂けるばかり砲擊を開始し砲彈を集中、又瓦斯彈を射擊し次いで戰車は煙幕の庇護下に突進して縱横に鐵條網を突破、これに次いで步兵が突擊すると云ふ壯烈なものであつた

文子歸京し問題解消か

橘薰の友情で

【東京四日發】結婚解消問題のヒロイン小野文子(二三)は三日午前六時三十分叔父長原武雄氏と共に東京驛着、人目を避けて父純一氏の知人牛込區內某氏宅に身を隱したが文子が父純一氏等に話した家出の眞相は結婚の當夜突然身體に生理的異狀を起したので既に恐怖心に驅られ夫堀口氏に不快の念を抱かしめたところから前後を忘却し無意識に熱海ホテルを飛出してしまつたものである

一方純一氏の知人である某憲兵分隊長の親戚に身を隱してる堀口氏も全く自分が異性に對する無理解から問題を起したことを痛く後悔してゐる、小野家では堀口氏の諒解を求め改めて解消の燃を戻すことになつた

尙文子が無事歸京することが出來たのは寶塚の女優橘薰の友情と要領の宜い手配に依つたもので關係者一同はこれに對し非常な感謝を捧つてゐる

滿洲國歌をレコードに

滿洲建國一周年を記念するため國務總理鄭孝胥氏が作歌し同國文敎部において選曲したる「滿洲國歌」は豫てその普及を圖るためレコード化を計畫して居たが今回東京日本ポリドール・レコード株式會社の手により製作し大々的に賣出される事になつた、同社の製品は總て純國產で而も優秀品として舶來品を凌駕するものといはれて居るだけに一般の好評を博するだらうと見られて居る

田川大吉郎氏憲兵隊に召喚

【東京三日發】東京市長候補者たる田川大吉郎氏は本日午後一時東京憲兵隊に召喚二時釋放された

【東京三日發】東京憲兵隊に召喚された田川大吉郎氏は語る

自分が京都で滿洲放棄の演說をなしたと傳へられてゐるが決してそんなことはない、第一そんな事をいつても聽衆が承知すまい自分が尾崎君の友人であるから誤解されたものと思ふ

安樂椅子

大連の市參事會員には代々頭のさえた人が一人位づゝ現れる、前の仙波君、金井君然りだ、而して今度の志村君である、一寸豫算面を見てもソレを計數から割出して合法的でなければ承服出來ないといふ性質、ソレが揃ひも揃つて滿鐵出身若しくは滿鐵傍系の人々で、さもあらうさといふ氣もする。

……◇……

今度の志村君に至つては全く數字の中から生れて來たやうな人でその綿密なる計算に至つては市理事者達も舌を捲くといつた形、曾ては卸賣市場の世話料問題で市理事者を追窮し目下審議中の八年度豫算に於ても時に肺腑を抉るやうな銳い質問にハラハラさせてゐる。

……◇……

一年生だと高をくゝつてゐた市理事者側は茲に至つて曼如たるを得ず既に緊張するといつた態だが或る理事者の一人嘗めてゐるのかくさしてゐるのか知らないが「ア、いふ風に緻密な頭で選擧に臨んだから最高點で當選したのだ」とつくづく感心。

ボク/クツト/ハイノーハ/オホツカニ

海と空と (129)

高杉晋一郎作
橋本淸史畫

明暗 (十七)

十一時を過ぎてゐたが、まだ客は相當立てこんでゐた。

影山は入つて來ると一通り店中を見渡してから、一番隅のボックスが空いてゐるのを見て、そこへ入り込んだ。

ボールはわざと直ぐ立つて影山の卓子へ行つた。

「いらつしやい。今日はお一人?」

「うん、一人だ」

影山はろく／＼ボールの顔を見もしないで答へた。もう何處かで幾らか飲んで來てゐるらしかつた。一寸顔色が變にも見えたが、それもさう思へばの程度だつた。

「御注文は?」

「ジン」

「ジン?」

矢張一寸いつもと違ふとボールは思つた。影山はいつもウヰスキーで、ジンなど飲むことは滅多になかつた。常客の注文の癖と云ふものは一寸注意の届く女給には直ぐ覺えられるものである。

ジンの盃を運んで、心中で二三度躊躇してから、彼女はそこへ腰を下した。

「何處で飲んで來たの?」

影山はじろつとボールを見た。變な眼だつた。

「飲んで來たやうに見えるか?」

「そりや分るわ」

「…………」

いつものやうに輕口も叩いて來ずむつつりそのまゝ默り込んだ。

「雪、まだ降つてる?」

「止んだ」

「さう」

丁度向ふの先刻の卓子からボーイを呼ぶ聲がしたのを幸ひに彼女は立上つた。矢張變だと思つた。然し亂暴しさうな樣子でもない。

彼女は暫く呼ばれた卓子で相手をしてゐたが、流石に氣にかゝるので、ひよいと何氣なく立つて、今度は影山のボックスから四番目の卓子へ行つて、そこで喋つてゐた八重子の傍にかけた。

「ようよう、マドモアゼルボール」

そんな事を云つてそこの藝術家風の若い男は、早速盃をさしたりした。ボールは機嫌よくそれを受けながら、默つて部屋の中央の柱に眼を遣つた。それは曾て嚢が見つけたあの大きな四角柱の腰全部へ箝めこんである鏡で、そこから丁度、隅のボックスが見える筈であつた事を、ボールは覺えてゐた。

果して影山の姿はそつくりその鏡に寫つてゐた。彼は獨りで、部屋の客の顔を物色しながら、ちびちび盃を舐めてゐた。此方から見えれば向ふからも見える筈なので、ボールは餘り見ないやうにしながら、八重子と青年の話の間へ巧に茶々を入れたりして、時々ちらちらと注意した。

彼女は電話の主を誰だらうと思つて見た。きれぎれではあつたし何にせよ電話の聲は通常の聲と全然違ふ人もある事だし、唯太い聲だけ分つたが……だがその聲の眞劍だつた調子を思ひ出すと、彼女は八重子の卓子からもう離れなかつた。

さうして時間が經つた。

十二時近くなるとぼち／＼客が歸り始めた。それでもまだ殘つてゐる連中は、今度は腰を据ゑて飲む連中で、歸る客の歸つた後、また暫く客出入が絶えて來た。影山の卓子へは他の女給が坐り込んで話してゐた。

何かお冷でも命じたらしい。影山の相手をしてゐた女給が奧へ立つた時だつた。ボールは再び鏡へ視線を送つて、ぎよつと胸を衝かれた。正確に眞横から映つて來る卓子の下で、影山の手が黒いものをまさぐつてゐた。何かそれを手探りで調べて見て一渡り撫で廻してから、安心したやうに再びそれをズボンの後ポケットへ返さうとした時、それが雪燈の影に當つて確かにピストルであるのが見えた。

ボールはさつと立上つた。同時に影山も立上つた。

けふの放送　大連 JQAK　三月五日

▲午前六時　ラヂオ體操第二
▲午前六時卅分　ラヂオ體操第一
▲午前十時　新譜レコード(ビクター)
▲午前十一時五分　熱河戰況實感放送(奉天より中繼)
▲午後零時十分　ニュース
▲午後三時三十分　ニュース
▲午後六時　一、ニュース(以下内地中繼)
▲俚謠(六時三十分)(一)「湯河原小唄」「三味線濱路、唄榮子、同壽惠子、同由良子、同〆奴、同恒吉、小鼓のんき、大鼓おかめ、太鼓小三郎(二)「膝木小唄」唄濱路三味線、恒吉、同由良子、同榮子、同おかめ、同小三郎
▲映畫物語(六時五十分)　中村馨波、伴奏指揮島田晴譽
▲人形淨瑠璃(七時三十五分大阪文樂座より中繼)「壇の浦兜軍記阿古屋琴責の段」畠山重忠竹本文字太夫、遊君阿古屋同南部太夫、岩永澤左衛門同鏡太夫、榛澤六郎同陸路太夫、三味線野澤勝平、ツレ彈鶴澤友二、琴胡弓同綱治
(以下大連放送局より八時三十一分)
▲ニュース
▲氣象通報

第十八回 滿日特選碁戰

先　中村勇太郎(三段)
　　坂口常治郎(初段)

イロハニホヘトチリヌルヲワカヨタレソツ
一二三四五六七八九十十一十二十三十四十五十六十七十八十九

—【3】—

●四一トの九　○四二ホの九
●四三への九　○四四ホの十
●四五ロの十四　○四六ロの十
●四七ホの十六　○四八ニの十六
●四九への十六　○五〇ヨの十八
●五一タの十八　○五二カの十九
●五三レの十四　○五四レの七
●五五レの六　○五六タの七
●五七ヨの六　○五八ヌの十七
●五九ホの十八　○六〇ニの十八

對局者の感想

白曰く　四十六は方向を誤つてます、先に角れの四〇を締込んでみるのでした

黒曰く　黒の四十七、四十九もつまらなかつたやうです、五十六の點に拓いてゐる方が優つてゐました

白曰く　五十、五十二の手でもこの四〇に締込むのでした。如何に變化しても白が惡くなかつたと思ひます、黒に五十五、五十七と闘はしたのは大變な失態でした

二月 衛生ごよみ

かぜ

惡寒は風邪を引く前兆ですから無理をしないようにし、風邪を引いたら大蒜を摺り卸してオブラートに包んで服み一睡みして汗を取る樣にすると治ります

ぜん息

ぜん息や子供の百日咳は灰燒にしたにんにくに味噌をつけて喰べると奇妙に效きます。去年の暮からヂフテリーが非常に流行してゐますから子供の咽喉や鼻に異狀があつたらにんにく療法を施すと共に醫師に診て貰ふ必要があります。

腹痛

普通腹いたは不消化が原因となるものですが冷えて痛む場合もあります。いづれの場合でもにんにくを用ひるとピタリと痛みを止めます。

其他冬の色々な病氣ににんにくの效用はよく知られてゐますが臭いのと辛いので女子供や神經質の人は到底用ひられません併し、文化の今日態々臭いにんにくを喰べるのは野暮な話で完全に無臭で生にんにくより何倍も效くオセロが發明されてゐますから、にんにく療法は至極便利になりました。

寒さに弱い人は 榮養と內分泌が足りない證據・

▽…胃腸の賦活とホルモン
▽…促進が耐寒征病の基礎

何枚重ね着をしても、寒さに慄へ身體の芯が冷たくなる程夜具を重ね、寢臺を暖房に入れても小便ばかり催して、夜分熟睡出來ない人がよくあります。——風邪、喘息など常に病魔から解放される事の出來ないのは斯うした寒がりの人々に多く見受ける所です。嚴冬の頃、暖かいとは云へないまでも普通の防寒衣服で、寒さが凌げない身體には、外部からの防寒では及ばない生理的缺陷があると見なければなりません。

寒さに、甚だしく抵抗力のない人は生理的に調べて見ますと殆んど大部分は榮養の缺乏を來してゐます。

榮養とは、脂肪、蛋白、含水炭素、ビタミン、鹽分、酵素など普通に知られた

★…熱量（カロリー）に變化される物質を初め、色素、有機燐素、アルカロイド、カルシウム等臟や神經系の營養にいたるまで、凡そ人間の生存發育の原動力を釀す爲に必要な一切の要素を指すもので、之は日常食物を胃腸が消化し吸收する事に依つて得られるのです。

ところが、胃腸に故障があると折角食物（榮養素の豐富な）が攝取されても、完全な

★…消化 吸收が出來ず必要とするだけの榮養が取れないから榮養缺乏となるのです。

金に屈托のない富有階級に榮養不良者が却つて多いのは滋養食を喰べないからでなく喰べた滋養食が弱い胃腸を單に通過するだけで、身にも皮にもならない事が原因するのであります。

熱量の缺乏と共に身體を衰頽させるのはホルモン分泌の不振の證據です。ホルモンとは

★…甲狀腺、膵臟、胸腺、松果腺、副腎、脾臟、肝臟、睾丸、卵巢等の內分泌機構から分泌される不可思議な液體で、是が血行に混じ循環することによつて精力が發生するのであります。

若年で早老狀態を呈したり、抵抗、耐寒力が極めて稀薄な人は此のホルモン分泌が意の如くならない人に限られてゐます。

胃腸の賦活とホルモンの促進が耐寒、治病、不老強精の基調となる事は前記の如くでありますが、之を實現するには何が一番適當でせうか？

恐らくそれは一年中で今が最も理想的な快適期と言はれる『にんにく療法』であります。

病體をポカく溫めながら強化する——にんにくの藥

にんにくを一度でも生食した經驗ある人は、腹の中が燒けて終ひそうなあの强烈な保溫力を御存知でせう。あれはにんにくの主成分をなす硫化アルリールといふ揮發油體の殺成分が胃腸で發溫作用を起す爲ですが、臭をつく惡臭で二度と喰べる氣にはなれますまい。

にんにくが燐素、アルカロイド、ビタミン、鹽分、有機燐素酵素など現代醫藥中の有名榮養素を網羅して含有するに拘らず一般から嫌はれてゐたのは一に惡臭の甚だしい爲でした。

×

然るにオセロ榮養化學研究所といふ我國唯一の專門的にんにく研究機關で多年研鑽の結果、人爲的には困難視されて居たにんにくの惡臭抑制處法が發見され、生にんにくより、遙か效目の優れた『オセロ』と稱する無臭にんにく劑が創製され、臭ひの爲輕蔑されて居たにんにく療法は瞭然、醫藥界と云はず、民間と云はず異常なセンセーションを捲起すに到りました。

×

病體をにんにく特有の保溫力でポカく溫め乍ら胃腸を強化しホルモン分泌の激増を促して胃腸疾患、便秘、下痢、感冒、結核咳息、精力缺乏、神經過勞などの病弱症狀を一掃するオセロの藥能は今や風靡的な卓效劑として好評嘖々たるものがあります。

オセロは一二〇粒一圓廿錢、二二五粒二圓、四五〇粒三圓五十錢、徳用五圓、十圓、直送希望者は藥價だけ東京銀座一ノ七オセロ洋行（振替東京七五〇〇三番）へ送金すれば送費無料で送藥されます。

試用藥と說明書贈呈！

全國的に有名なオセロが絕對に惡臭なくしかも效目が生にんにくに遙か勝る點について實際にお試めし願ふ爲オセロ洋行より試用藥と說明書を無料で急送いたします。御希望者は今直ぐ御申込み下さい。

衛生口錠

一金貳拾萬圓也提供

(カオール定價拾錢包 貳百萬個にて)

カオール發賣卅五週年記念事業として愛用者諸君と協力し『一大國民保健運動』用の爲

カオール拾錢包を洩れなく進呈致します

此の運動に御參加の御愛用者は

一、カオールの効能書を御熟讀の上、定價廿錢以上のカオールに添付の効能書を 東京市日本橋區水天宮前本舖 株式會社安藤井筒堂藥品部保健運動係宛お送り下さい(開き封にして二錢切手貼付、住所氏名、明記のこと郵税未納、不足は受付ません)

二、すると本舖は直ちにカオール十錢包をお送り致します

三、其カオールを受取つた方は先づ親しい方々へ數粒づゝ差上げて

イ、病氣にかゝらぬやう

ロ、病氣の主なるものは口より入ること

ハ、口より入る病を防ぐために汽車、電車、その他人込に居る時、外出の時飮食の後にカオールを口中にする事

等、其他保健 衛生に御氣付の點を御說明願ひます

斯く皆様の御盡力に依り一般保健衛生の思想が高まり、人生最大の幸福を得られる譯です是非御協賛を願ひます

カオールの配劑と其効用

製劑顧問 ドクトル 松尾道

一、口中殺菌劑を配合す
從つて空氣又は飮食物と共に口腔より侵入し來る黴菌、例へばチブス、コレラ、流感、結核菌等その他の病菌病毒を口中に於て完全に殺菌し、依つてこれ等傳染病を豫防す。

二、健胃整腸劑を配合す
從つて胃を健全にし、且その消化力を亢進し食慾を增進せしめ下痢、腸カタル等に整腸劑は殺菌劑と相協力してこれを治療す。

三、興奮劑及强壯劑を配合す
從つて心身の疲勞沈衰したる時には各機能を興奮せしめ氣力を回復旺盛にし。健胃劑と相まつて肉體の强壯を計らしむ。

四、清凉劑及美音劑を配合す
從つてその特有の芳香により口中の惡臭、惡感を除き、祛痰劑は咽喉の乾燥を霑し、音聲を美化し從つて精神を爽快ならしむ。

◎故に皆様の保健の爲に

◇惡疫流行の時 ◇飮食の後
◇他人に接する時 ◇汽車電車に乗時
◇執務勉强の時 ◇遠足運動の時
◇口中の臭き時 ◇酒類を召上る時
◇禁煙を望む時 ◇音聲を使ふ時
◇氣分惡しき時 ◇疲勞したる時

カオールの二三粒を口中されたし、本劑を口に含めば、マスク、ウガヒの必要なきと同時に心身を爽快にし、胃腸を健全になすの効あり

◎本日より直ちにカオールの御常用をおすゝめ致します

▶定價と容量◀

品名	定價	容量
袋入	(十錢)	百粒
同	(二十錢)	二百五十粒
ポケット容器付	(三十錢)	三百粒
丁字形容器付	(三十錢)	三百粒
御勾玉容器付	(五十錢)	五百粒
鞄形容器付	(五十錢)	五百粒
徳用瓶入	(五十錢)	八百粒
同	(二圓)	二千二百粒

本舖 東京市日本橋區水天宮前 株式會社 安藤井筒堂 藥品部

新發賣 光輝茶金石製 美術容器 五百粒入 金五十錢

カオール 口中殺菌劑

善鬼惡鬼（5）

平山蘆江作　苅谷深隍繪

血は血を斬る（五）

お濱は夢中でふり亂した髪を衿まきにしてゐた。良人の身に變事があるといはれたので、寢つきの稽衣を、前帶でしめた寢間着のまゝであつた。

かうした姿で、土手の上で重太郎樣、重太郎樣さ、よびつゞけながら、稍しばらくうろついてゐる中に、通り合せたのは紺の尻切袢纏、木刀を背中に打ち込んだ渡り者の、折助だつた。

「よう、これは〳〵」

女の前へ立ちふさがつて

「誰れを探れるんだか知られえが、おいらも手傳つて進ぜやう」と云つた。

折助は、お濱を、近頃この邊に現れる賣女だと思つたのだ。

「御親切にありがたうございます。年の頃三十ぐらゐ、總髪に束ねて、紋付の羽織を着た武家です。土手の下へ落ちたかと思ふのですが、女の身では下りられません、お前樣むかうへ下りて見て下さらぬか」

「はゝゝ、大きく出たな。下りて見て下さらぬか、は面白い。よいわ、一番親切ぶりを見せてやるかな。これ、女中衆、その代り、お禮心は辨へて居るだらうな」

「禮は好きなやうにさらしてやる。早く、下りて下さい」

「はい〳〵、それさへ聞けば、火の中でも飛び込んでやらうといふ親切ものさ」

折助はそろ〳〵と土手を下りた。

お濱は月影にすかしながら、下を見下した。水では流、蘆荻、石ころなどところ〴〵に影をつくつて靜樣してゐる。それが皆お濱の目には良人の屍骸のやうに思はれた。

「姐さん、何もないよ」と、岸から折助がどなる。

それをお濱があつちへ寄れ、こつちへ寄れと、長い間、追ひまはした。折助も面白半分に、お濱のいふなり放題になつたが、程なく刀の鞘と脇差一振を拾ひ上げて土手へ上つて來た。

「これです、これはあの人の腰のものに相違ない。腰のものだけがかうして殘つてゐたからは、重太郎どのは川へ落ちて、その儘、死骸になつて、押し流されたのではあるまいか」

さう云つて、刀を抱きしめながら、女は川面を見わたした。

「落ちたのはお前さんのお客かい、それとも好きな男でゞもあるのですかい」

折助が、ニヤ〳〵笑ひながら聞いた。

女は返事もしないで、どん〳〵土手を下りる。

「おい〳〵、どこへ行くんだ。おいらに骨を折らして、おいてきぼりは酷いぜ。おい姐さんたら」

折助がうしろからついて來る。

お濱はうろ〳〵と我家へ戻つて

「五郎兵衞どの、どうしませう、良人の姿がどこにも見えません。五郎兵衞どの〳〵」と呼びまはつた。

が、家の中は藻ぬけの殼で、五郎兵衞の姿はどこにも見えなかつた。

今日限り、拙者儀、當家を渡辭いたし候

明和乙酉三月十六日

嘉五郎兵衞

濠重太郎殿

同お濱どの

血で書いた文字を、行燈のおもてに、お濱が見つけだしたのは間もなくの事であつた。

土手で良人を見失つたお濱は、家へ戻つて、更に義弟を見失つたのである。

「私はどうすれば好いのだらう」

氣ぬけのしたやうに、上り口へどうとなつて、刀の鞘と脇差を抱いてゐた。

ゴトリ〳〵

表の腰障子がひらく。

お濱は氣がつかなかつた。

「御免なせえ」

目尻の下つた顔でのぞき込んだのは先刻の折助であつた。

「入つてもいゝかい」

きよろ〳〵とあたりを見まはしながら、上り口へ腰を下して

「お前さん、獨りなんだね」と云つた。

「たつたひとり」

女は鸚鵡がへしに獨り言を云ふ。

「さうかい。ぢや、あがらしてもらはう」

のこ〳〵と折助は、遣ひずり上つた。

本社特選 新棋戰（其一）

平香交 七段▲溝呂木光治

平手番 六段△渡邊東一

【圖は四一玉迄の局面】渡邊氏持駒ナシ

△七六歩 ▲六二銀

△二六歩 ▲三二金

△二五歩 ▲四一玉

△四八銀 ▲五四歩

△五六歩 ▲五三銀

△二四歩 ▲同歩

【土居八段講評】溝呂木君の六二銀以下の方針は平手相懸り戰を避け、變化を求めて中央へ模樣を作らうとの心算である、但しその方針なら四一玉は直に五四歩、五六歩、五三銀、四八銀、四四銀、二四歩、同歩、同飛、二三歩、二六飛、三四歩とついて五筋の歩の交換を狙ふべき處である。

【荻原六段解説】溝呂木氏の六二銀は普通三四歩と指すのであるが、それでは常套手段になるので變化を求める意味で六二銀と指したのである、續いて四一玉も何れ指さねばならぬ手なので今此處で四一玉と寄つて置いたのである、此の形では中央より銀を出して中飛車模樣に出る手を決めて變化を求める意味で、かくの如く指してゐるのであらう、渡邊氏の二四歩は五七銀と對抗する手段もあるが飛車先を切つて先手の得を封ずと先づ二四歩と指したのである。

女浪曲華千代

六日から大劇

女流浪曲界の美音家として名聲を謳はれてゐる京山華千代一行は既報の如く大連劇場に來演することゝなり、一行は四日門司出帆のありか丸に乘船、六日來連し同夜初日の蓋をあけるが、一行の顔觸れは左の如くで、華千代は得意の齋藤內藏之助が期待されてゐる

京山久代、京山なゝ子、天中軒月坊、京山華若、津田清大掾、京山メリ子、一條マリ子、廊亭羅松、京山華千代

（寫眞は華千代）

うわさ話

この間の新京城町の火事場の路上で根岸新京一さんが蒲田から來た某妓にバッタリ會つたところ▲「キドさんが遼東ホテルに泊つていらつしやいます、妾もお會ひしましたが部屋は五百二十六番です」と火事場のドサクサでそのまゝ詳しいことも聞かず別れたが▲テッキリ城戸所長がこつそりと來連してゐるものと根岸さんが遼東ホテルを調べさせたところ▲ホテルでは「鬼頭さんならお泊りです」との返辭人違ひの鬼頭氏も時節柄で面識の人で蒲田藝妓が生んだナンセンスである

滿日にちようふろく

あと千年もたてば 北極や南極の氷もとけ 地球はたいへん暖かくなります

もう一千年ほどたてば地球はもつと〳〵よい氣候になつて住みよくなるとアメリカの名高い氣象學者ウヰルソン博士が發表しました、それによりますと地球は何べんも冷たくなつたり溫かくなつたりしてゐる、今は恰度何萬年か前に地上一切のものが凍つてしまつた氷河時代の終らうとする頃でこれからだん〳〵と暖かくなつてくる、もう千年もすれば北極や南極の氷も次第に解けてしまふから氣象を左右する氷河もなくなつて大風なんかは決して吹かなくなるだらうし、お天氣もグッと良くなつて曇日も尠くなるといふのですがもう一千年もたてば人間はうんと賢くなつて、自由にお天氣を變へるような素晴らしい發明をしてゐるかも知れませんね

童話 飯進上と兵隊さん

土川卓郎

李さんのお家は寺兒溝の石油タンクの向ふ側にある穴のやうな小屋でした、病氣のお母さんと今年五つになる妹の梅さんがゐるのです。李さんのお家はもと安東で、お父さんが居た時は少しの畑をたがやして毎日幸福に暮してゐましたが恐ろしい馬賊のためお父さんは殺され、少しあつたお家のお道具もとられてしまひ、親切な日本の兵隊さんのお世話で三人はやっと大連までやって來たのでした、しかしお母さんは心配がもとで病氣になり起きることができなくなりましたが、この可哀さうな李さんに同情する者は一人もなく、たゞ飯進上に出ることだけを近所の人が教へて呉れました、李さんは仲間の飯進上のやうに盗むことはできませんでした。

或る日、李さんがお家に歸らうとして、横町を曲つたとたん大きい籠にたくさんの品物を乘せた雜貨屋の自轉車が勢ひよく走つて來てもう少しで李さんとぶつかるところでした「おい危い！」と荒々しくなつて行つてしまひましたが李さんがそこを歩き出さうとしたとき足もとに玉子が一つ溝に入つて落ちてゐました。

「おーーい」と自轉車の後を追ひましたが自轉車の影は見えませんでした。

李さんはお父さんがよく卵をかへしてゐたのを思ひ出して梅さんと二人で朝と、晩と交替で、一生懸命に溫めました。

すると二十日過ぎ頃それは〳〵可愛らしい黄色い毛色をしたひよこが殻を破つてピヨ〳〵と出て來ました、李さんのお家は急に明るくなりました、李さんは今までより一層飯進上にはげまなければなりませんでした。

或る日、李さんが病院のゴミ箱をあさらうと來た時白い服に赤十字のしるしを入れた兵隊さんが病室にゐるのを見ました。見たやうな兵隊さんだと立ちどまつてよく考へました。

さうだ！私達が安東でおそろしい馬賊にさらへられたとき一番先にかけつけて私たちを助けてくれた勇ましい兵隊さんだ……とやつと李さんは思ひ出しました。

「兵隊さん！」大きい聲でよびましたが兵隊さんは氣がつきません、李さんが右手を振つたので兵隊さんは氣がつきました、暫くして小窓をあけ紙包を投げ、急いで窓を閉めました、李さんは悲しさうにお室を見てゐましたが兵隊さんの投げて呉れた紙包を開けて見ますと食パンの小片が入つてゐました。

李さんにとつては大變な御馳走でした、李さんは歸る途中兵隊さんの事ばかり考へてゐました、馬賊征伐の時彈丸があたつたのではないかと思ふとたまらなく心配になりました。

翌日また病院に來て窓から背のびしてお室を覗いて見ますと兵隊さんはベットに腰かけて煙草をふかしてゐました、李さんは今にも病院の中に駈込んで行きたかつたのですがどうしても中に入れて呉れません、李さんは仕方なく家に歸りました、家の近くまで來ると妹の梅さんが息をはずませながら飛んで來て。

「兄さん玉子を！」

「え？玉子？」

「大きいのよ」

大切にその玉子を抱いて李さんは翌日病院にやつて來ました。

「兵隊さん！」

大きい聲でよびましたが兵隊さんは見えません、仕方がないので病院の廻りをぐるぐると廻りましたそのとき煙草の吸殻を捨てやうと兵隊さんは窓を開けました。

「兵隊さん！」李さんはすべてを忘れて大きな聲で呼びながら窓のところまで立つて行きました、そして何度も何度も助けて貰つたお禮をいつて持つて來た卵を上げました、兵隊さんはキヨトンとした顔をしてゐましたが「有難う」と一寸頭を下げました、李さんは兵隊さんが受取つて呉れた事が何より嬉しく、新らしい卵を毎日々々病院に持つて行きました。

★

それからしばらく日がたつて、李さんがいつものやうに玉子を持つて病院へ來ると兵隊さんたちは軍服を着て列んでゐましたが驛へと行きました。驛には小學校の坊ちやんや中學校の兄さんたちが日の丸の旗や、滿洲國の旗を持つて並んでゐました。

さうだ！僕たちが苦しんだやうに苦しんでゐる正しい人たちを助けるため土匪を征伐に又奥地に行くのだ。

李さんは兵隊さんの乘つた汽車のところに行かうとしましたが「おい、どこにゆくのだ」といかめしい巡査に叱られてどうしてもホームに行けません。

汽車は「バンザイ」の聲に送られて動き出しました、李さんは汽車について赤と青のシグナルのあるところまでどん〳〵走つて來て「兵隊さん萬歳」と叫びました。

兵隊さんもこの李さんに旗を振りました。

「兵隊さん萬歳！」

汽車は白い煙を吐いて消えてしまひました、李さんは大きい聲でもう一度。

「兵隊さん萬歳！」

イタリー皇帝 皇室費をご儉約 國民と苦しみを共に

イタリー皇帝ビトリオ・エマニユエル三世陛下はまことに御質素なお慎み深いお方です、今歐洲ではどの國も何もしないでブラ〳〵してゐる人が非常に多くなつてゐますが、おそれおほくも陛下には眞つ先に皇室の費用を大へんご儉約になつて正式なお出ましは外國のおつきあひのみに止めその上大切なお飼ひ馬まで十頭を殘して他はみなお拂ひ下げになつてしまひました、ムッソリーニ首相は陛下の御不自由な有樣を拜して皇室費をおふやしになるやう申出ましたところ

「人々が不況に苦しんでゐるのだから自分もその苦しみをともにしたい」

と仰せられてお許しになりませんでした、これを傳へきいたイタリー人は涙を流して感激します〳〵力をあはせてお國のために働いてゐるさうです

三千五百年前に齒のお醫者

三千五百年も大昔エヂプトやアッシリアには齒醫者があつた――とハーバード齒科醫學校の教授が面白い新學説を發表して興味を惹いてゐます、そのお話によるとアッシリア國の古都ナインブエーの廢墟から粘土板でつくつたその頃のカルテ（容態書）が發見されて王樣の齒を抜かれればならないと書いてあります、この頃の齒科醫は齒の治療といふよりも裝飾に重きを置いて宮廷の婦人などはダイヤモンドや黄金をつけた美しい齒を自慢にしてゐました

世界一のホテル ロシアにできる

どこの國でも外國人の旅行者を接待するのに頭を痛めるものとみえて、今ロシアのレニングラードでは素晴らしく立派な歐洲一の大ホテルを建築中です、このホテルは客室が千幾つもあつてしかもみんな南向きで陽あたりがよいやうにつくられてゐます、さうしてホテルの玄關からすぐお船にゆけるやう大きなトンネルもつけることになつてゐます、首都のモスクワにもこれと同じ大ホテルをつくる計畫で物資缺乏でなやんでゐるロシアがこんなに大奮發をするのも外國人の旅行者を集めるために一生懸命になつてゐるとがわかります

ヤサシイ マングワノ カキカタ

關セイ坊

セキセンセイ

ケフ カラ ヤサシイ マングワ ノ カキカタ ヲ オシヘテクダサル セキ セイバウセンセイ ハ ミナサン ガ ゴゾンジ ノ ヤウ ニ、ミナサン ノ オトモダチ「マンニチ ニチヨウフロク」ガ デキタ トキ カラ オモシロイ コドモ ノ マングワ ヲ タクサン カイテ クダサイマシタ、コレカラ ミナサン ニ カケル ヤサシイ エ ヲ オシヘテクダサルサウデスカラ、タノシミニマツテヰテクダサイ

（セイ坊自畫像）

ポッチヤン ヤ チヤウチヤン タチ ノ カイテ ミタイ ヤウナ エ ヲ ヤサシク ミナサン ニ カケル ヤウ ニ コレカラ ダンダン ニ カイテ ユキタイト オモヒマス。

ハジメ ニ ウンドウ ヲ シテヰル イロイロ ノ カタチ ヲ カキマシタ。

ツギ ハ ドウブツ デス。

ソレカラ ハ チヤップリン ヤ オサルサン。

ハナ ヤ キシヤ ヤ グンカン ソシテ ヲトコ ノ ヒト ヲンナ ノ ヒト ナド ノ ヤサシイ マングワ ノ カキカタ ヲ ゴラン ニ イレマセウ。

エ ノ ウヘ ノ ハウ ハ ホネ バカリ ノ カンタンナ セン デ カイタノデスガ ナニ ヲ シテヰル カ カカナクテモ オワカリ デセウ。コウイフ カキカタ モ オモシロイ モノ デス。

ウヘ ノ エ ニ ニク ヲ ツケタ ノガ シタ ノ エ デス。

シタ ノ エ ノ ムヅカシイ カタ ハ ウヘ ノ エ ヲ ミテ イロイロ クフウ シテ オモシロイ エ ヲ カイテ ミテ クダサイ。

1　2　3　4　5　6　7　8　9　10

いま日本は大切な時だ お互ひ心を引締めよ

正しい心とたゞしい行ひは必らず最後に勝つ

三月十日はおめでたい陸軍記念日です

三月十日はおめでたい陸軍記念日です、日露戰爭が始まるまへ外國人は「日本がロシアと戰爭するのは大人と子供が角力するやうなものだ」といつて笑ひました、しかし忠君愛國の日本軍は今私達の住んでゐる滿洲の平野を舞臺に大人のロシア軍をみごと打破つて大勝利を博しました

★……★

旅順敗れ、遼陽陷ち、沙河に敗北して散々な目にあひながら北へ北へと逃げ込んだロシア軍は四十萬の大兵を奉天に集めて最後の一戰を試みやうとしました、大山大將を總司令官とする二十七萬の日本軍は五十里の長い〳〵戰陣をしいて二月二十六日から總攻撃令が下りました、敵味方七十萬の大軍が勝敗を決する有史以來の大戰爭です、敵の大將クロパトキンは開戰以來敗つゞけの恥を恢復しやうと必死になつて戰ひましたが忠君愛國の血にもえる日本軍にどうして叶ふことが出來ませう、川村大將の右翼軍と乃木、奥、野津といふ將軍らの左翼軍はぐるりと敵の逃げ道を斷つて完全に袋の中の鼠のやうに取圍んでしまひました、さうして三月九日には奉天の南五マイルの渾河を挾んではなばなしい決戰の末つひに十日の拂曉ロシア軍を散々に叩きつけて芽出たく奉天を占領してしまひました、わが軍の死傷者七萬、敵の死傷九萬、二萬二千人の捕虜と五十門の大砲を分捕つて日本の大勝利となりました

★……★

これは明治三十八年の出來ごとです、かういふ大切な戰爭なので日本軍が奉天を占領した三月十日を陸軍記念日としてお祝することになつてゐます、この大會戰は五月二十七日の日本海會戰とゝもに日本の二大會戰で、もしこの戰爭のどちらか一つ負けでもしてゐたらわが國は今日のやうに盛んな國にはならなかつたでせう、幸ひにも天皇さまの御稜威とわが忠勇義烈な兵士の奮闘によつて美事大敵を屠つて強國日本の礎をつくることが出來たのであります、しかしその時流した尊い勇士の血潮はこの滿洲の土に浸みわたつていつまでも〳〵私達の足のふみしめ方を見守つてゐるやうです

★……★

それから二十九年のながい年月が流れてそこに新しい滿洲國といふ國がうち樹てられました、日本はこの新しい弟の國をどこまでも立派に育てなければならない責任があります、そのために日本はジュネーヴの國際聯盟で四十幾ケ國の勸告書を叩きつけて名譽の孤立國となりました、孤立といふのは一人ぼつちといふことです、然し日本が世界の孤立國とならうとも、經濟封鎖をされようとも、平氣で飽くまでも強くよいと信ずる正義の道に突進すればよいのです、正しい心、正しい行ひはどんなに孤立でも必ず最後の勝利を占めるからです、皆さん、考へて見ると日本は今ほんとうに大切な時です日本は非常な國難に臨んでゐます、併しこれは私達日本の力を試すよい機會だともいへます、私達は擧國一致非常な覺悟と決心を以てこの未曾有の國難をみごとに突破せなければなりません、やがて日本から滿洲國から輝かしい平和の光が世界を照らすことゝなるでせう

これはおもしろい 兵隊さんのうつり變り

さてこれから陸軍記念日に因んで日本武士がこんなに變り變つて今日の兵隊さんになつたか面白いお話をいたしませう、一番上の大きなお寫眞は滿洲事變のとき重機關銃で構へてゐる日本兵の勇ましい姿です、その次の右側に白い着物で弓を持つてゐるのは上古時代の武裝です、神武天皇が御東征になるときの繪をみたことがあるでせう、この頃にはもう鐵の兜や鎧が出來てゐました、弓は丸い木をまげて絲を張り矢先には石や銅や鐵をつけた色々なものがありました、毛皮そのまゝの靴をはいて上着とズボンにわかれてゐるなど一番古い頃の武裝が洋服をつけた今日の兵隊さんに一番よく似てゐるのは面白いではありませんか

その次の寫眞は立派な鎧や兜をつけて弓を射やうとしてゐます、勇ましいでせう神武天皇の御即位から奈良朝、平安朝のはなやかな長い二千年もの年月が流れて源頼朝が一の谷で平家を破り、鎌倉に都をおいて武家政治の基礎をつくつたゞけあつて武士が非常な勢力を現した頃でしたから勇敢で一番よく働いた時代です、だからなか〳〵綺麗な甲冑をつけてゐるでせう、その下に左にナギナタを持つて立つてゐるのは矢張りその時代の兵卒の寫眞です、大將は重い鎧をつけてゐますが、鎧が重くては華々しい戰爭が出來ないので兵卒はこんなに輕さうな武裝をしてゐます、烏帽子の下から鐵板で額を包んでゐるのも珍しいでせう

次はその右側のコワイ顔をした鎧武者をご覧なさい、お化のやうな鐵のお面に眼の穴をあけ、まッ白な髯をつけて見るからに恐ろしいつら構へです應仁の亂で幕をあけて百年もつゞいた戰國時代の大將の服裝です、織田信長と今川義元とが雨のふる夜華々しく戰つた桶狭間の戰ひや川中島で上杉謙信と武田信玄の兩大將が一騎討をやつた戰爭つゞきの世の中でしたから大將の武裝までが顔を包むやうになつてゐますが鎌倉時代と違ひが進つてゐることがハッキリと判りませう

今度は右側の寫眞をみて下さい、上の方の細長い寫眞で鐵砲を持つてゐるのは矢張り戰國時代の兵卒の寫眞です、恰度その頃西洋ではコロンブスのアメリカ發見「四百四十年昔」でどんどん航海熱がさかんとなり、まだ知られなかつた東洋方面にまで出かけてきました、たま〳〵種ケ島に難船したポルトガル人が鐵砲を持つてゐたので、殿さまが澤山のお金を出してそれを買ひとりました、恰度今から三百九十年前のことです、これが初めになつてどし〳〵鐵砲を輸入したので弓や刀でばかり戰つてゐた古い戰術は役にたゝなくなつてしまひました、さうしてお金持で鐵砲を持つた殿さまには叶はなくなつたので、流石に永い戰國の亂も案外はやくかたづいて豐臣が起り、徳川がたつことになりました

今度は丸い繪を見て下さい長い羽織を着て大小を二本さしてふところ手して活動寫眞によく出てくるお武士です、徳川幕府になつて長い間の天下泰平になれて武士は自分の本分を忘れたやうに柔弱に流れてしまひました、元祿時代といつて一番華美な時代をみなさんは知つてゐるでせう、恰度大石良雄らの四十七士が主君の仇を報じた頃です

一番左の下の寫眞は明治維新の官兵さんです、王政復古とゝもに舊來の習慣でも惡いことや不便なことはどん〳〵改めるといふ氣風がさかんだつたので徳川時代の武士とは見違へるやうになりました、まつ黒な三齋羽織をつけて脚絆をつけ、草鞋をはいていかにも身輕な服裝です、鐵砲が一般の武器となつたゝめ重い甲冑はもう役にたゝなくなつてしまひました、その後明治五年十二月、明治天皇の詔があつて國民皆兵となり明治六年から徴兵檢査による新らしい今日の軍隊が日本に出來ました、その頃は鎭臺さんといつてすつかり洋服になり、西洋式な訓練を行ひ遂に世界中どこの國にも敗けない強い陸軍となりました

さて斯うして古い歴史をふり返つてみますと今日の兵隊さんが上古の武士に似てゐたり、或は鐵兜や鎧のやうな防彈具を身につけるやうになつたのも昔に還つてゆくやうで面白いではありませんか

第卅六回 こどもの考へもの

人間を惱ます 夏出るいやなムシ

寫眞をごらんなさい、これはまた人にくらべてなんと大きな蟲でせう、實物はこんなに大きなものではありません、夏になると出て來て人間をこまらせる、いやなものです、サテ何でせう。おわかりになつたら來る三月十二日までにハガキで大連市東公園町滿洲日報社内「滿日日曜附錄係」あてお答へください、二十名に限りご褒美を差上げます

第卅四回の答 ジョウマへ

第三十四回の考へものはジョウマへ（カギでもよし）でした、相變らず當つた方が多いので、いつものやうに籤をひいて左の二十名にご褒美をあげることにいたしました、大連市内の方は當籤通知のハガキが届き次第、本社においでになつてそれと引換へにご褒美をお受けとりください、沿線の方には直接お送りいたします

當籤者

▲大連山崎忠明▲同藤崎淑子▲同千本木芳子▲同石田順子▲同市來勉▲同北治子▲同岡崎繁男▲同荒木正實▲同小泉光次郎▲同寺島アキヨ▲同河口邦雄▲同神上眞逸▲奉天阪本尙生▲大石橋池田ミヨコ▲鐵嶺垣本榮子▲鞍山鈴木秀男▲旅順芦澤高治▲普蘭店八幡清都子▲新京四元フミ子▲新京多田武雄

なほ當籤者の方は是非ご褒美の中にある森永のミルクキヤラメルとチヨコレートの空箱をお菓子やさんの支那事變の「戰傷兵士を勞はりませう」と書いた箱の中にお入れください

熱河の上空征服

わが空軍の活躍目覺し

寫眞の說明

(一)風船を飛ばして上空の風向や風速を測定します
(二)飛行機に油を補給する補給車に揮發油を注入
(三)まさに裝備を終らうとしてゐる八九式機關銃
(四)出動を目前に控へて爆彈裝備中のところ
(五)いよいよ出動も近づき發動機の點檢
(六)重大任務につかんとする重爆擊機陣
(七)〇〇附近敵陣地の垂直寫眞を調製中の寫眞班
(八)〇〇方面における敵陣地に向つて出動したわが重爆擊機
(九)空から見た赤峰市街

落語 牛嫁 月の家圓鏡

さて〜人間はタチが悪い
牛の長便にちり立たす

お話も年々古くなりましてお聞きなさるお客樣方も又あの話か、あの話しに取付かれてゐるのではないかなどゝ申しますが、話に取付かれる譯はありません、然し聞が惡いと一つ話しに出會ひます、先づ何にしても新しい事をお話したいものといろ〜苦勞してゐますが、智慧の無い上に不勉强ですから變つた事を申し上げることが出來ません、然し成るべく新しい味を出したいと小さな頭を痛めて居ります。

獸物の中でも牛は力が强く長い間の勞働に堪へます、昔は高輪の牛町に伽波太郎兵衛さんといふ方が大層牛を飼つて置きまして、これに荷をつけては運搬させましたノソリ〜と歩いてダラ〜〜〜涎を滴し重い荷を曳いて參ります、それにあの又獸物の小便をする間は却々時を要します、あの間飛行機ならば東京から靜岡位は行きます、高輪は十八丁ある、その間小便をしてゐる、風の吹く時なぞはこれがために塵も立ちません。

然し彼奴なか〜利巧で、今日は仕事に出たくないと思ふと、なんにも喰べません、喰べなければ疲れるから牛方も曳出さない、牛の方は謀計成就した、いよ〜仕事に出ぬと決つたならば藁と豆糟を喰べやうと愁う思つてゐる、スルト牛方は牛の心理狀態をよく知つてゐますから、この畜生今日はサボルなと思ひ、バタ〜〜と小屋の戸を閉めて盥を水に浸しそれを戸に注ぎます。

牛「あゝ雨が降つて來たナ、夜上りだから長くは保つまいと思つたがさう〜降つて來たか、雨ならば仕事は出來ない、降れば休むと決つてゐる、それでは藁を食べてもよからう」

と漸く朝飯をすませる、それを見て牛方は戸を開けます、表は日が當つてゐる

牛方「さア畜生出ろ、横着者め」

と叱りつける、牛は案に相違して

牛「これはしまつた、さて〜人間は性質が悪い」

と愚痴を云ひ〜重い荷を搬びます、物を喰べた以上は働くものと覺悟してゐる、シテ見れば人間より責任は重んじます、人間は働かないで食べることを考へてゐます、今の財産家は何もせずに甘い物を喰べて生きてゐる。シテ見ると責任觀念は牛にも劣つて居ります、所であの獸物は又不思議で水にも强い、海の中を渡つて歩きます、東京震災の時には深川糧秣廠に飼つて置いた牛が火に追はれて海へ入り、その底をノソリ〜と歩きながら上總の木更津へ上り四邊をキヨロ〜見廻して

牛「變な所へ出たナ、此處は何處だらう、サア叱られえ、俺のうしは何處だらう」

など探してゐたさうです、ノロ〜してゐるやうですが忍耐力は强い、それに又力もあります、神田明神樣の祭りの時は山車を曳いて九段坂を登ります、紅白の綱を結つて頭つ尖に縛び付け角を振立て下目をつかつて前脚に力を入れるとあの高い目方の重い山車を曳上げます、牛は囃子が好きだから葛西の青年團が太鼓を拍ち笛を吹いて景氣をつける、牛はこれを聞きながら嬉しさうに九段坂を上ります、先年淺草橋を萬世橋まで搬ぶ時にこれを車につけ囃子をして牛十三頭に曳かせた、鐵の橋を牛が搬びました、大した力があるもので、又あの牛ほど無駄の無いものは無い、肉は食料となり乳は飲料となり、皮は武具になり又馬具になり、鞄になる、其他血は肥料になり腸は燒鳥になり、その上角は裝飾品となり爪は櫛などに化けます、骨は箸になつて象牙とごまかす、愁う勘定して來ると牛ほど大した獸物は無い、舌なぞは尤も美味で安い洋食屋では使ひません、タンシチウなぞと云つて贅澤な喰物、

古新聞は喰べにくい物だ 親の乳を呑むに苦情ない

○「オイどうした、大層顔色がよくないれ、病氣かな」

△「ウン、別段病氣といふ譯でもない、病氣ならば三井病院へ出懸けるが、身體には異狀は無いが日増に衰弱してどうも勇氣がなくなつた」

○「ヘエー、病氣でなくどうして衰弱する」

△「食料缺乏の爲、早く云へば滋養が不足した」

△「胃が悪い爲に食べられないのか」

△「イヤさうでは無い、胃は頗る健全、健全だけに一層苦痛を感じる」

○「それは妙だナ、なんで食べずに居るのだ」

△「食べずにゐたくは無いが、據ろなく食べられない」

○「それはどういふ譯だれ」

△「君も知つての通り、會社は鹹になつて一年あまり遊んでゐる、それが爲に貧乏になつて此十日許り水ばかり飲んでゐる、何ぞ食べる物はないかといろ〜探したが古新聞が五六枚あつた、それを食べて見たがあれは食べにくいものだ」

○「さうだらう、新聞は讀むもので食べるものでは無い、然し君も智慧が無いれ、堂々たる男子が食へないとは無氣力だナ、と云つて君を助ける程の僕に餘裕も無い」

△「どうすれば宜からうか、此の儘にもう三週間も過ぎれば命は無い、あゝ何時の世から動物は食物を要するやうになつたかナ、之さへ無くば生存競爭も無からう、もう百年も經つと空氣ばかり吸つて生きてゐるやうになるであらう」

○「君も頭が古いれ、空氣だつて無代價ではないよ、宜い空氣を吸ひに行くには金がかゝる、シテ見ればこの世の中に無代價のものは一つもない、時に君にいゝ事を敎へやう、生きてゐられる手段、これは食物ではない、飲むものだがれ」

△「ヘエー、鹽水かれ、あれはいけない、二三度遣つて見たが甘くないものだ」

○「活洲の魚ではあるまいし鹽水で生きてゐるとは云はない、愁うしたまへ、此後に牧場があるれ」

△「ウン大分牛が居る」

○「彼處へ行つて乳を呑むが宜い、一日に一升も呑んだら生きてゐるだらう」

△「それは生きて居る、然し乳を買つて呑むほどの餘裕があれば米を買つて食べます」

○「錢を出して呑めとは云はない、只呑む工夫がある」

△「ヘエー、それはどうするんだえ」

○「今れ、あの牧場の前を通つてチラリと見たが、彼處の主人は門徒信者であらう、蓮如上人のおふみさまを讀んでゐた」

△「ウンさうだ、あれは眞宗の凝りかたまり、乳で儲けては門跡樣へ皆な上げてしまう」

○「その眞宗の信仰心へ附込むのだ」

△「ヘエーどんな事をするれ」

○「今日にも君があの牧場に行つて主人に會ひ、偖お話し申すことがございます、兩三日續けて母の夢を見ました、處が母が申しますには、世に居つた頃の罪によつて畜生道に落ち、今は裏の牧場で乳を搾られてゐる、どうかお前に會ひたいが訊れて來てくれと云ひました、そこで私が出て來ましたが母に會はして下さいと愁うかふ、先方が佛教の信者だから因果の說を信じて居るだらう、それは氣の毒な事だ、さア〜阿母さんに會ふが宜いと牛の居る處へ伴れて行く、そこで君が澤山乳の出さうな牛を見立て、阿母さんでございますかと愁ういつてそれへ縋り付きさうして乳を呑む、子が親の乳を呑むのだ、苦情を云ふものはなからう」

△「成程、これは名案だ、それではこれから出懸けやう」

醜い奴があるもので、ヒヨロ〜しながら牧場に出て來ました。

定九郎は天城山で猪になり 私の母は此方の牧場で牛に

天氣が好いから牛は外へ出て居ります。

△「大層居るな、一頭千圓づゝとしても一萬五、六千圓臥てゐるぜ」

主人「ヤアこれはデコ山さん、ヘエ今日は……」

デコ山「御主人にお話し申す事があつて出ましたが」

主「それはどんな事です」

デ「どうぞお聞き下さいまし、この兩三日續けて母の夢を見ます」

主「成程」

デ「母は世にありました時に殺生をいたしました、その罪によつて只今は畜生道に落ちて居ります」

主「ヤレ〜それはお氣の毒なことだ、地獄といふ處は事實あります、無いなぞとは生學者の云ふ事だ」

デ「左樣でございます、母は此方の牧場で乳を搾られてゐると申しましたが」

主「ヘエーこの中の牛にあなたの阿母さんが居りますか、然しそいつは詩しいナ、この牛は外國種で皆ゼルシーですが」

デ「それはなんでございます、母は日本、父は唐土」

主「國性爺のやうですナ」

デ「日本人ではございますが、畜生道に落ちることになるとそれは外國にも參ります、母の話によりますと、燕尾服を着てシルクハットを冠つた者は畜生道に落ちるとペンニンテーになるさうでございます、定九郎なぞも天城山で猪になつてゐるさうで」

主「ヘエーそんなものですかれ」

デ「さういふ譯ですから私の母も此方の牛の中に入つて居ります、是非會はして頂きたいもので」

主「さうですか、これが阿母さんといふことが判るかれ」

デ「それは判ります、大分出て居ります、これは皆畜生道に落ちた人達、赤い牛は以前は皆娼妓、赤い襦衣を被て多くの男を騙しましたから赤牛になつて居ります、白い牛は以前は神官、神樣をだしに使つて金儲けをして贅澤をしたその罰で、黑い牛は皆警察官でございます、彼奴等は年中黑い羽織を被て居ります、エートどれが母親か皆顔が一つで、それに一つ處へ角が生えてゐる、あゝあれだ〜」

ヒヨロ〜と赤牛の側に行き

デ「阿母さん、暫くお目にかゝりました、人と畜生と品は異れどお達者で結構でございます、ヘエ、ハヽ、左樣でございますか、御主人、母が乳が張つて困るから呑めと申しますが呑んでも宜しうございますか」

主「あゝ宜いとも、何も功德の爲だ、呑むでお遣んなさい」

デ「それでは阿母さん乳を呑みますよ」

縋り付いてデコ山がチウ〜乳を呑みました牛は吃驚してゐます

デ「もう宜うございませう、エッ又明日來てくれ、御主人、明日も來てくれと申しますが……」

主「あゝ來て遣つて下さい、嘸阿母さんは喜ぶだらう」

デ「有難うございます、左樣なら又明日參ります……有難い〜、齋藤は智者だナ、乳を呑む手段を敎へてくれた、先づ之で當分命を繋ぐことも出來る、然し流動物ばかりでは腹がダブ〜する、これは恐れ入つたナ、とは云へ呑まずに居れば死んでしまう、當分乳の御厄介になるか」

ひどい奴があるもので、又翌日出て來まして

デ「阿母さん、御機嫌宜しく、草を食べてお在なさるナ、鼻へ輪を通されてお辛いことでございませう、ヘエ、又乳が張つたから呑んでくれと、左樣ならば頂戴いたします、今日は大分乳が濃いやうでございます、ヘエー芋を食べたせゐだと、有難うございます、私もあなたの乳を呑む爲に大分肥つて來たやうでございます有難い〜快い心地だ、どうも御主人、毎度御厄介になりまして濟みません、あなたが大事にして下さるので阿母さんも喜んで居ります、今度の世には人になつてお禮に上るさうでございます」

主「お前さんの阿母さんが牛になつて、しかもわたしの牧場に居やうとは思はなかつた」

デ「不思議でございますなア、又夕方に上ります、デハ阿母さん、後程參つて又乳を呑んで上げますよ」

牛「モー」

デ「左樣ですか、モー一度參れと、當分毎日上ります、左樣なら」

デコ山は喜んでゐます、夕方に又やつて來た、牛は殘らず小屋の中に入つてゐます

デ「もうお部屋に引取りましたか オヤ〜阿母さんが見えなくなつたナ、御主人、母が此處に居りませんが、部屋を變へましたかナ」

主「イヤ、阿母さんはもうこの牧場に居ない、買手が付いてれ、是非讓つてくれと云はれてわたしも考へた、何にしろ阿母さんはもう年も老つてゐるし、大分近頃乳の出も惡くなつた、それで他家へ讓りましたよ」

デ「それは困つたナ、何處へ參りましたナ」

主「先は長野縣だがれ、上田の在ですよ」

デ「それは大變だ、信州まで毎日乳を呑みに行くことは出來ない、何とか言ひ置いて參りましたか」

主「何も云はなかつた」

「ヘエーお前さんの親類が まだ、こゝにをりますか……」

デ「年を老つたゝめに養緣しましたれ、何にしてもこれは困つたナ、モシ御主人、いよ〜不思議です、此方の牧場にもう一頭私の緣者が居ります、それは先達母から話しがございました」

主「ヘエー、お前さんの親類がまだ此處に居りますか」

デ「居りますよ、あの黑牛が私と切つても切れない緣のあるもので、どういふ譯か私の親類は畜生道に落ちて苦勞をして居ります」

主「奇態だれえ、あの黑牛もお前さんの親類かえ」

デ「左樣でございます」

主「あれも年寄だぜ」

デ「左樣でございます、亡なつた時が六十三でございましたが、牛になつても年を老つて居ります……どうも暫くお目にかゝりません、イエ、あなたが此處に居ることは存じて居りましたが、牛になつてお在なすつた爲に心付きませんでした、ヘエ、あなたも乳が張りましたか、頂戴いたしませう」

デコ山は黑牛に寄りましたが

デ「これは妙だ、あなたには乳がございませんナ、どうなさいました、どこへ乳を落しました、御主人、この牛には乳がございませんよ」

主「それは乳は出ませんよ、だから牡だ」

デ「ヘエー牡でございますか、成程牡では乳が出ない」

主「それはお前さんの何だれ」

デ「親父でございます」

主「阿父さんかえ」

デ「情ない姿になりましたが、然し考へて見ると人間より安樂でございます、草や藁を食べて生きてゐまして、それに衣類なぞは貰ひません、年中一つ衣類、夏になれば毛が薄くなつて暑さを凌ぐやうになり、冬になると濃まかくなつて綿の入つた衣類を着けてゐると同じこと、第一毛の物を着てゐますから衛生に宜しい、今度は關稅が高くなつたに就て洋服屋は甚で儲ける處と高くいたしましたが、毛織物なぞは買ふ者が無い、毛織物を身に着けずとも生きてゐることは出來ます、處が牛は關稅が高くなつてもビクともしません、さは云へ阿父さんでは乳は出ますまい、他にまだ親類が居ますがれ、アあれだ〜、あの赤い毛の牛は切つても切れぬ私には緣がある」

主「さうかれ、あれはまだ若いよ、神戸から曳いて來たものだ、性質は宜いナ」

デ「左樣でございますか、柔順しさうな面をしてゐます、それに私を見ると羞づかしさうに頭を俛げてゐます」

主「又乳を呑むかれ」

デ「是非頂戴いたします」

デコ山が側へ寄るとこの牛は頭を振りました。

デ「柔順しくなさい、牛になつたを羞しがつてゐるナ」

主「それはお前さんの何だえ」

デ「許嫁の花嫁でございます」(終)

家庭マンガ 親ゴコロ

非常時日本 一年までの回顧

團琢磨氏暗殺さる
(三月五日)

三井財閥の大黒柱團琢磨氏は五日朝東京三井銀行正門から出るところを白色テロ菱沼五郎のために暗殺された、さきに井上藏相の遭難あり時局重大の秋に臨んで世相の惡化を極度に憂慮させる

皇軍寧古塔入城
(同 六日)

叛將丁超、王德林一味を掃蕩中の天野○團主力は威容堂々正義の戈をかざして長驅し六日午後寧古塔に入城し滿露住民から非常な感謝をうけた

永久抗日に決す
(同 七日)

洛陽において瀕開中であつた支那側の第二次全體會議は七日滿場一致で長期抗日の宣言を通過した即ち

全國軍隊は對日長期抵抗の決心をもつて軍令を統一指揮の迅速を期すべし、今日は國民の生存を爭ふ秋にして國內相爭ふ時にあらず、上海における一時的總退却あるも抗日は永久に絶つべからず

溥儀氏新京に入る
(同 八日)

榮光に輝く新滿洲國の元首として三千萬民衆に迎へられた溥儀氏は八日午後首都新京に到着、舊臣、滿蒙民族の感激あふるゝ歡迎のうちに參議府に入つた、かつて全支に君臨した宣統帝が二十幾年の今日清朝發祥の地に還つたのである

晴れの建國式擧行
(同 九日)

東洋の樂土、新しい滿洲國の建國式は九日首都新京において嚴かに擧行された、日本側からは本庄關東軍司令官、內田滿鐵總裁を初め內外顯官多數列席のうへ國璽捧呈式を行ひ、ついで民族協和を祝福する新五色旗の掲揚をなしたのち、張景惠氏の發聲で萬歲を三唱して盛大な祝宴に移つた

緊張の陸軍記念日
(同 十日)

めでたき陸軍記念日は國家非常時の折柄とて全國民に多大の感銘を與へた、戸山學校において聖上陛下の臨幸を仰いで各宮殿下以下犬養首相各閣僚三千名の參列あり、鹵獲武器、勇士の遺品など親く天覽あらせられた、また奉天、遼陽を始め各地の邦人も事變に刺戟され緊張の氣が全滿洲にみなぎつた

新國家法令發布
(同十一日)

新國家の基礎となるべき政府組織法、人權保障法、國務院、參議府兩官制の諸法制が十一日發布されてこれと同時に大赦と貧民急賑の二敕令が發せられた、王道政治を國是とする滿洲國の基礎はこゝに磐石の如く定められたのである

今週の獻立 中村迪子

	朝	晝	晩
日	パン、半熟卵、紅茶、林檎	稻荷すし、とろゝ昆布清汁、奈良漬	卵豆腐と芹の吸物、比目魚の刺身、卸し芋とかにの三杯酢
月	切干のみそ汁、あさり佃煮	がんもどきのうま煮、海苔のつくだ煮	ローストビーフ(キャベツ、馬鈴薯附合せ)、椎茸と三つ葉清汁、うどと若布のぬた
火	キャベツのみそ汁、ざぜん豆	玉子燒、福神漬	チャップスイ、シューマイ、ほうれん草したし
水	若布の味噌汁、明太魚卵	豆腐の田樂、もやし胡麻よごし	ほうれん草スープ、まぐろ山かけ、鶏卵の花和へ
木	豆腐の味噌汁、燒海苔	昆布巻、さつま芋うま煮	茶碗蒸し(かしわ、百合根、銀杏、椎茸、かまぼこ、芹)、ぶりの照燒、大根膾
金	大根の味噌汁、納豆	燒いか、うづら豆	ビフテキ、蛤の潮汁、野菜サラダ
土	さつま汁、鹽昆布	五目すし、牛片と三葉の清汁	ちり鍋(鯛、三つ葉、[illegible]、白たき、銀杏)、ゆばと野菜のうま煮